Dell™ OptiPlex™ 170L ユーザーズガイド

お使いのコンピュータのマニュアル

アドバンス機能

スモールデスクトップコンピュータ

コンピュータについて

部品の取り付けと取り外し

ミニタワーコンピュータ

コンピュータについて

部品の取り付けと取り外し

コンピュータおよびソフトウェアの問題

追加情報

メモ、注意、および警告

メモ：操作上、知っておくと便利な情報が記載されています。

注意：ハードウェアの破損またはデータの損失の可能性があることを示します。また、その問題を回避するための方法も記載されています。

警告：物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示します。

略語について

略語については、「用語集」を参照してください。

Dell™ n シリーズコンピュータをご購入された場合、このマニュアル内の Microsoft® Windows® オペレーティングシステムに関する記述は適用されません。

『Drivers and Utilities CD (ResourceCD) 』、オペレーティングシステムのメディア、および『セットアップおよびクイックリファレンスガイド』はオプションであり、すべてのコンピュータに付属しているものではありません。

モデル：MTC2 および DHS

2005 年 3 月　P/N G3015　Rev. A04

目次ページに戻る

アドバンストラブルシューティング

Dell™ OptiPlex™ 170L ユーザーズガイド

Dell Diagnostics（診断）プログラム

Dell Diagnostics（診断）プログラムを使用する場合

コンピュータに問題が発生した場合、デルテクニカルサポートにお問い合わせになる前に、「問題の解決」のチェック事項を実行してから、Dell Diagnostics（診断）を実行してください。Dell Diagnostics（診断）プログラムを実行すると、デルにお問い合わせにならなくても、ご自分で問題を解決することができます。デルにお問い合わせになる際に、そのテスト結果がデルのテクニカルサポート担当者に重要な情報を提供します。

Dell Diagnostics（診断）では、以下のことが可能です。

- 1 つまたはすべてのデバイステストの実行
- 起きている問題の症状に基づいたテストの選択
- テストが実行される回数の選択
- エラーが検出された場合のテストの中断
- テストとデバイスについて説明したヘルプ情報へのアクセス
- テストが正常に終了したかどうかを知らせるステータスメッセージの受信
- 問題が検出された場合のエラーメッセージの受信

Dell Diagnostics（診断）プログラムの起動

作業を始める前に、これらの手順を印刷しておくことをお勧めします。

注意：Dell 診断プログラムは、Dell™ コンピュータ専用です。その他のコンピュータでこのプログラムを使用すると、エラーメッセージが表示されます。

セットアップユーティリティを起動し、コンピュータの設定情報を閲覧して、テストするデバイスがセットアップユーティリティに表示され、アクティブであることを確認します。

ハードドライブまたはオプションの『Drivers and Utilities CD』から Dell Diagnostics（診断）を起動します。

ハードドライブからの Dell Diagnostics（診断）プログラムの起動

1. コンピュータをシャットダウンして、再起動します。

メモ：DELL™ ロゴが表示されたら、すぐに <F12> を押します。Diagnostics（診断）ユーティリティパーティションが検出されなかったというメッセージが表示される場合、オプションの『Drivers and Utilities CD』から Dell Diagnostics（診断）プログラムを実行します。

ここで時間をおきすぎて Microsoft® Windows® ロゴが表示された場合、Windows デスクトップが表示されるまで待ちます。次に、**スタート** メニューからコンピュータをシャットダウンして、再度試みます。

2. 起動デバイスの一覧が表示されたら、**Boot to Utility Partition**をハイライト表示して、<Enter> を押します。

3. Dell Diagnostics（診断）プログラムの **Main Menu** が表示されたら、実行するテストを選びます。

オプションの『Drivers and Utilities CD』からの Dell Diagnostics（診断）プログラムの起動

1. 『Drivers and Utilities CD』を挿入します。
2. コンピュータをシャットダウンして、再起動します。

   DELL ロゴが表示されたら、すぐに <F12> を押します。

   ここで時間をおきすぎて Windows ロゴが表示された場合、Windows デスクトップが表示されるまで待ちます。次に、**スタート** メニューからコンピュータをシャットダウンして、再度試みます。

メモ: この機能は、起動順序を 1 回だけ変更します。次回の起動時には、コンピュータはセットアップユーティリティで指定したデバイスから起動します。

3. 起動デバイスの一覧が表示されたら、**IDE CD-ROM Device**をハイライト表示して、<Enter> を押します。
4. CD の起動メニューから **IDE CD-ROM Device** オプションを選びます。
5. 表示されたメニューから **Boot from CD-ROM** オプションを選びます。
6. 1 と入力して『Drivers and Utilities CD』メニューを起動します。
7. 2 と入力して、Dell Diagnostics（診断）プログラムを起動します。
8. 番号の付いた一覧から **Run the 32 Bit Dell Diagnostics** を選びます。複数のバージョンが表示されている場合、お使いのコンピュータに適切なバージョンを選びます。
9. Dell Diagnostics（診断）プログラムの **Main Menu** が表示されたら、実行するテストを選びます。

Dell Diagnostics（診断）プログラムのメインメニュー

1. Dell Diagnostics（診断）プログラムがロードされ **Main Menu** 画面が表示されたら、希望のオプションのボタンをクリックします。

オプション	機能
Express Test	デバイスのクイックテストを実行します。通常、このテストは 10 ～ 20 分かかり、お客様の操作は必要ありません。最初に **Express Test** を実行すると、問題をすばやく特定することができます。
Extended Test	デバイスの全体チェックを実行します。通常このテストには 1 時間以上かかり、質問に定期的に応答する必要があります。
Custom Test	特定のデバイスをテストします。実行するテストをカスタマイズできます。
Symptom Tree	最も一般的な症状を一覧表示し、問題の症状に基づいたテストを選択できます。

2. テスト中に問題を検出すると、エラーコードと問題の説明を示すメッセージが表示されます。エラーコードと問題の説明を記録し、画面の指示に従います。

   エラーが解決できない場合、デルにお問い合わせください。

メモ: お使いのコンピュータのサービスタグは、各テスト画面の上部にあります。デルにお問い合わせになる場合、テクニカルサポート担当者がサービスタグナンバーをお尋ねします。

3. **Custom Test** または **Symptom Tree** オプションからテストを実行する場合、該当するタブをクリックします（詳細については、以下の表を参照）。

タブ	機能
結果	テストの結果、および発生したすべてのエラーの状態を表示します。
Errors	発生したエラーの状態、エラーコード、および問題の説明を表示します。
Help	テストについて説明します。また、テストを実行するための要件を示す場合もあります。
Configuration	選択したデバイスのハードウェア構成を表示します。 Dell Diagnostics（診断）プログラムは、セットアップユーティリティ、メモリ、および様々な内部テストからすべてのデバイスの設定情報を入手して、画面の左側ペインのデバイス一覧に表示します。デバイス一覧には、コンピュータに取り付けられたすべてのコンポーネント名、またはコンピュータに接続されたすべてのデバイス名が表示されるとは限りません。
Parameters	テストの設定を変更して、テストをカスタマイズすることができます。

4. 『Drivers and Utilities CD』から Dell Diagnostics（診断）プログラムを実行している場合、テストが終了したら CD を取り出します。
5. テスト画面を閉じて、**Main Menu** 画面に戻ります。Dell Diagnostics（診断）プログラムを終了して、コンピュータを再起動するには、**Main Menu** 画面を閉じます。

ドライバ

ドライバとは？

ドライバは、プリンタ、マウス、またはキーボードなどのデバイスを制御するプログラムです。すべてのデバイスにドライバプログラムが必要です。

ドライバは、デバイスとそのデバイスを使用するプログラム間の通訳のような役目をします。各デバイスは、そのデバイスのドライバだけが認識する専用のコマンドセットを持っています。

お使いのコンピュータには、出荷時に必要なドライバがプリインストールされているので、新たにインストールしたり設定する必要はありません。

注意：『Drivers and Utilities CD』には、お使いのコンピュータに搭載されていないオペレーティングシステムのドライバも収録されている場合もあります。インストールするソフトウェアがお使いのオペレーティングシステムに対応していることを確認してください。

キーボードドライバなど、ドライバの多くは Microsoft® Windows® オペレーティングシステムに付属しています。以下の場合にドライバをインストールする必要があります。

- オペレーティングシステムのアップグレード
- オペレーティングシステムの再インストール
- 新しいデバイスの接続または取り付け

ドライバの確認

デバイスで問題が発生した場合、ドライバが問題の原因でないか識別して、必要に応じてドライバをアップデートします。

Windows XP

1. **スタート** ボタンをクリックして、**コントロール パネル** をクリックします。
2. **作業する分野を選びます** で、**パフォーマンス と メンテナンス** をクリックします。
3. **システム** をクリックします。
4. **システムのプロパティ** ウィンドウで、**ハードウェア** タブをクリックします。
5. **デバイスマネージャ** をクリックします。
6. 一覧をスクロールダウンし、デバイスアイコン上の感嘆符（[!]の付いた黄色の円）の付いたデバイスを探します。

   デバイス名の横に感嘆符がある場合、ドライバの再インストールまたは新しいドライバのインストールが必要な場合があります。

Windows 2000

1. **スタート** ボタンをクリックし、**設定** をポイントして、**コントロール パネル** をクリックします。
2. **システム** をダブルクリックします。
3. **システムのプロパティ** ウィンドウで、**ハードウェア** タブをクリックします。
4. **デバイスマネージャ** をクリックします。
5. 一覧をスクロールダウンし、デバイスアイコン上の感嘆符（[!]の付いた黄色の円）の付いたデバイスを探します。

   デバイス名の横に感嘆符がある場合、ドライバの再インストールまたは新しいドライバのインストールが必要な場合があります。

ドライバおよびユーティリティの再インストール

注意：デルサポートウェブサイト **support.dell.com** および『Drivers and Utilities CD』では、Dell™ コンピュータ用に承認されているドライバを提供しています。その他の媒体からドライバをインストールする場合、お使いのコンピュータが適切に動作しない恐れがあります。

Windows XP デバイスドライバのロールバックの使い方

ドライバをインストールまたはアップデートした後にコンピュータに問題が発生する場合、Windows XP デバイスドライバのロールバックを使ってドライバを以前のバージョンに戻します。

1. **スタート** ボタンをクリックして、**コントロール パネル** をクリックします。
2. **作業する分野を選びます** で、**パフォーマンス と メンテナンス** をクリックします。
3. **システム** をクリックします。
4. **システムのプロパティ** ウィンドウで、**ハードウェア** タブをクリックします。
5. **デバイスマネージャ** をクリックします。
6. 新しいドライバをインストールしたデバイスを右クリックして、**プロパティ** をクリックします。
7. **ドライバ** タブをクリックします。
8. **ドライバのロールバック** をクリックします。

デバイスドライバのロールバックを使っても問題が解決しない場合、システムの復元の使い方を使って、オペレーティングシステムを新しいドライバがインストールされる前の動作状態に戻します。

オプションの『Drivers and Utilities CD』の使い方

デバイスドライバのロールバックまたはシステム復元で問題を解決できない場合、『Drivers and Utilities CD』からドライバを再インストールします。

メモ：デバイスドライバとユーザーマニュアルにアクセスするには、Windows を実行中に『Drivers and Utilities CD』を使用する必要があります。

1. 『Drivers and Utilities CD』を挿入します。

   初めて『Drivers and Utilities CD』をご使用になる場合、**Dell ResourceCD 用の InstallShield ウィザードへようこそ** ウィンドウが開き CD がインストールを開始することを知らせます。**OK** をクリックし、インストールプログラムプロンプトに従って、インストールを完了します。

2. **Dell ResourceCD 用の InstallShield ウィザードへようこそ** 画面で、**次へ** をクリックします。
3. **システムモデル**、**オペレーティングシステム**、**デバイスの種類**、および**トピック**の適切な選択をおこないます。
4. **トピック** ドロップダウンメニューで、**マイドライバ** をクリックします。

   『Drivers and Utilities CD』はコンピュータのハードウェアとオペレーティングシステムをスキャンし、次にシステム設定用のデバイスドライバの一覧を表示します。

5. 該当するドライバをクリックし、画面の指示に従ってお使いのコンピュータ用のドライバをダウンロードします。

お使いのコンピュータに利用できるすべてのドライバの一覧を表示させるには、**トピック** ドロップダウンメニューの **ドライバ** をクリックします。

『Drivers and Utilities CD』のヘルプファイルにアクセスするには、疑問符（?）ボタンまたは画面上部の **ヘルプ** リンクをクリックします。

Microsoft® Windows® XP システムの復元の使い方

ハードウェア、ソフトウェア、またはその他のシステム設定を変更したために、コンピュータが正常に動作しなくなってしまった場合は、Microsoft Windows XP オペレーティングシステムのシステムの復元を使用して、コンピュータを以前の動作状態に復元することができます（データファイルへの影響はありません）。システムの復元の使い方については、Windows ヘルプとサポートセンターを参照してください。

注意：データファイルのバックアップを定期的に作成してください。システムの復元は、データファイルの変更を監視したり、データファイルを復元することはできません。

復元ポイントの作成

1. **スタート** ボタンをクリックして、**ヘルプとサポート** をクリックします。
2. **システムの復元** をクリックします。
3. 画面の指示に従います。

コンピュータを以前の動作状態に復元する

注意 :コンピュータを以前の動作状態に復元する前に、開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。システムの復元が完了するまで、いかなるファイルまたはプログラムも変更したり、開いたり、削除しないでください。

1. **スタート** ボタンをクリックし、**すべてのプログラム** → **アクセサリ** → **システムツール** とポイントしてから、**システムの復元** をクリックします。
2. **コンピュータを以前の状態に復元する** が選択されていることを確認して、**次へ** をクリックします。
3. コンピュータを以前の状態に復元する時点の日付をクリックします。

   復元ポイントの選択 画面に、復元ポイントが選べるカレンダーが表示されます。復元ポイントが利用できる日付は太字で表示されます。

4. 復元ポイントを選んで、**次へ** をクリックします。

   日付に復元ポイントが 1 つしか表示されない場合、その復元ポイントが自動的に選ばれます。複数の復元ポイントが利用できる場合、使用する復元ポイントをクリックします。

5. **次へ** をクリックします。

   システムの復元がデータの収集を完了した後、**復元は完了しました** 画面が表示され、コンピュータは再起動します。

6. コンピュータが再起動したら、**OK** をクリックします。

復元ポイントを変更するには、別の復元ポイントを使って手順を繰り返すか、または復元を取り消すことができます。

最後のシステムの復元を元に戻す

注意 :最後のシステムの復元を元に戻す前に、開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。システムの復元が完了するまで、いかなるファイルまたはプログラムも変更したり、開いたり、削除しないでください。

1. **スタート** ボタンをクリックし、**すべてのプログラム** → **アクセサリ** → **システムツール** とポイントしてから、**システムの復元** をクリックします。
2. **以前の復元を取り消す** をクリックして、**次へ** をクリックします。
3. **次へ** をクリックします。

   システムの復元画面が表示されて、コンピュータが再起動します。

4. コンピュータが再起動したら、**OK** をクリックします。

システムの復元を有効にする

空き容量が 200 MB 以下のハードディスクに Windows XP を再インストールした場合、システムの復元は自動的に無効に設定されています。システムの復元が有効になっているか確認するには、次の手順を実行します。

1. **スタート** ボタンをクリックして、**コントロール パネル** をクリックします。
2. **パフォーマンスとメンテナンス** をクリックします。
3. **システム** をクリックします。
4. **システムの復元** タブをクリックします。

すべてのドライブでシステムの復元を無効にする にチェックマークが外されているか確認します。

Microsoft® Windows® XP の再インストール

再インストールする前に

新しくインストールしたドライバの問題を解消するために Windows XP オペレーティングシステムを再インストールする場合、Windows XP のデバイスドライバのロールバックを試してみます。デバイスドライバのロールバックを実行しても問題が解決されない場合、システムの復元を使ってオペレーティングシステムを新しいデバイスドライバがインストールされる前の動作状態に戻します。

注意:この手順を実行する前に、お使いのプライマリハードドライブのすべてのデータファイルをバックアップします。ハードドライブ構成において、プライマリハードドライブはコンピュータによって 1 番目のドライブとして認識されます。

Windows XP を再インストールするには、以下のアイテムが必要です。

- Dell™ 『オペレーティングシステム CD』
- Dell 『Drivers and Utilities CD』

メモ:『Drivers and Utilities CD』には、コンピュータの製造工程でプリインストールされたドライバが収録されています。『Drivers and Utilities CD』を使って、必要なすべてのドライバをロードします。お使いのコンピュータに RAID コントローラがある場合は、そのドライバもロードします。

- Product Key(Product ID ナンバー)

メモ: Product Key(プロダクトキー)とは、お使いのコンピュータの外側のカバーにあるステッカーのバーコードナンバーです。正常な状態で『オペレーティングシステム CD』をご使用の際に、Product Key(プロダクトキー)を入力するよう指示される場合があります。

Windows XP の再インストール

Windows XP を再インストールするには、次項にあるすべての手順を記載されている順番に実行します。

再インストール処理を完了するには、1 ～ 2 時間かかることがあります。オペレーティングシステムを再インストールした後、デバイスドライバ、アンチウイルスプログラム、およびその他のソフトウェアを再インストールする必要があります。

注意:『オペレーティングシステム CD』は、Windows XP の再インストール用のオプションを提供します。オプションはファイルを上書きして、ハードドライブにインストールされているプログラムに影響を与える可能性があります。このような理由から、デルのテクニカルサポート担当者の指示がない限り Windows XP を再インストールしないでください。

注意:Windows XP とのコンフリクトを防ぐため、システムにインストールされているアンチウイルスソフトを無効にしてから Windows XP を再インストールしてください。手順については、ソフトウェアに付属しているマニュアルを参照してください。

オペレーティングシステム CD からの起動

1. 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。
2. 『オペレーティングシステム CD』を挿入します。CD を挿入した後、自動的に起動したプログラムをすべて終了してから続行します。
3. **スタート** メニューからコンピュータをシャットダウンして、コンピュータを再起動します。DELL™ ロゴが表示されたら、すぐに <F12> を押します。

   オペレーティングシステムのロゴが表示された場合、Windows のデスクトップが表示されるのを待って、コンピュータをシャットダウンして、再度試みます。
4. 矢印キーを押して **CD-ROM** を選んでから、<Enter> を押します。
5. 画面に `Press any key to boot from CD` というメッセージが表示されたら、任意のキーを押します。

Windows XP のセットアップ

1. **セットアップの開始** 画面が表示されたら、<Enter> を押して続行します。
2. **Microsoft Windows ライセンス契約** 画面の内容を読み、キーボードの <F8> を押して、使用許諾契約書に同意します。
3. お使いのコンピュータに Windows XP がインストールされていて、現在の Windows XP データを復元したい場合、r と入力して修復オプションを選び、CD を取り出します。
4. 新たに Windows XP をインストールする場合、<ESC> を押して、オプションを選択します。

5. <Enter> を押してハイライト表示されたパーティション（推奨）を選び、画面の指示に従います。

Windows XP セットアップ 画面が表示され、オペレーティングシステムは、ファイルのコピーおよびデバイスのインストールを開始します。コンピュータは自動的に数回再起動します。

メモ: ハードドライブの容量やコンピュータの速度によって、セットアップに要する時間は変わります。

注意：次のメッセージが表示された場合、どのキーも押さないでください。Press any key to boot from the CD というメッセージが表示されます。このメッセージが表示された場合、キーは押さないでください。

6. **地域と言語のオプション** 画面が表示されたら、お住まいの地域の設定を選び、**次へ** をクリックします。
7. >**ソフトウェアの個人用設定** 画面で、お名前と会社名（オプション）を入力して、**次へ** をクリックします。
8. **コンピュータ名と Administrator** ウィンドウでコンピュータ名（または記載の名前を承認）およびパスワードを入力して、**次へ** をクリックします。
9. **モデムのダイヤル情報** 画面が表示された場合、必要な情報を入力して、**次へ** をクリックします。
10. **日付と時間の設定** ウィンドウに日付と時間を入力して、**次へ** をクリックします。
11. **ネットワークの設定** 画面が表示された場合、**標準設定** をクリックして、**次へ** をクリックします。
12. Windows XP Professional を再インストールしている場合、ネットワーク設定に関する情報が求められることがあります。該当するものを選びます。設定がわからない場合、デフォルトの選択肢を選びます。

Windows XP は、オペレーティングシステムのコンポーネントをインストールして、コンピュータを設定します。コンピュータは自動的に再起動します。

注意：次のメッセージが表示された場合、どのキーも押さないでください。Press any key to boot from the CD.

13. **Microsoft Windows へようこそ** 画面が表示されたら、**次へ** をクリックします。
14. インターネットに接続する方法を指定してください というメッセージが表示されたら、**省略** をクリックします。
15. **Microsoft にユーザー登録する準備はできましたか?** の画面が表示されたら、**いいえ、今回はユーザー登録しません** を選び、**次へ** をクリックします。
16. **このコンピュータを使うユーザーを指定してください** の画面が表示されたら、5 名までユーザーを入力できます。**次へ** をクリックします。
17. **完了** をクリックしてセットアップを完了し、CD を取り出します。
18. 『Drivers and Utilities CD』を使用して、適切なドライバを再インストールします。
19. アンチウイルスソフトウェアを再インストールします。

ソフトウェアとハードウェアの非互換性の解決

Microsoft® Windows® XP

オペレーティングシステムのセットアップ中にデバイスが検出されないか、検出されても間違って設定されている場合、Windows XP の IRQ コンフリクトが発生しています。

Windows XP を実行しているコンピュータでコンフリクトを調べるには、次の手順を実行します。

1. **スタート** ボタンをクリックして、**コントロール パネル** をクリックします。
2. **パフォーマンスとメンテナンス** をクリックして、**システム** をクリックします。
3. **ハードウェア** タブをクリックして、**デバイスマネージャ** をクリックします。
4. **デバイスマネージャ** 一覧で、その他のデバイスとのコンフリクトを調べます。

コンフリクトの起こっているデバイスの横には黄色の感嘆符（!）が付いていますので、コンフリクトが確認できます。赤色の X 印が付いている場合、デバイスが無効になっています。

5. コンフリクトの起こっているデバイスのいずれかをダブルクリックして、**プロパティ** ウィンドウを表示します。

IRQ コンフリクトが起こっている場合、**プロパティ** ウィンドウの **デバイスの状態** 領域に、デバイスの IRQ を共有するカードまたはデバイスが表示されます。

6. デバイスを再設定するか、デバイスを **デバイスマネージャ** から削除してコンフリクトを解消します。

Windows XP のハードウェアに関するトラブルシューティングを使用するには、次の手順を実行します。

1. **スタート** ボタンをクリックして、**ヘルプとサポート** をクリックします。
2. **検索** 領域で、ハードウェアに関するトラブルシューティング と入力し、矢印をクリックして検索を開始します。
3. **検索結果** 一覧で、**ハードウェアに関するトラブルシューティング** をクリックします。
4. **ハードウェアに関するトラブルシューティング** 一覧で、**コンピュータにあるハードウェアの競合を解決する必要があります** をクリックして、**次へ** をクリックします。

Windows 2000

Windows 2000 を実行しているコンピュータでコンフリクトを調べるには、次の手順を実行します。

1. **スタート** ボタンをクリックし、**設定** をポイントして、**コントロール パネル** をクリックします。
2. **コントロール パネル** ウィンドウで、**システム** をダブルクリックします。
3. **ハードウェア** タブをクリックします。
4. **デバイスマネージャ** をクリックします。
5. **表示** をクリックして、**リソース（接続別）** をクリックします。
6. **割り込み信号（IRQ）** をダブルクリックして、IRQ の割り当てを表示します。

   コンフリクトの起こっているデバイスの横には黄色の感嘆符（!）が付いていますので、コンフリクトが確認できます。赤色の X 印が付いている場合、デバイスが無効になっています。

7. コンフリクトの起こっているデバイスのいずれかをダブルクリックして、**プロパティ** ウィンドウを表示します。

   IRQ コンフリクトが起こっている場合、**プロパティ** ウィンドウの **デバイスの状態** 領域に、デバイスの IRQ を共有するカードまたはデバイスが表示されます。

8. デバイスを再設定するか、デバイスをデバイスマネージャから削除して、コンフリクトを解消します。

Windows 2000 のハードウェアに関するトラブルシューティングを使用するには、次の手順を実行します。

1. **スタート** ボタンをクリックして、**ヘルプ** をクリックします。
2. **目次** タブで **トラブルシューティングと保守** をクリックし、**Windows 2000 に関するトラブルシューティング** をクリックして、**ハードウェア** をクリックします。
3. **ハードウェアに関するトラブルシューティング** 一覧で、**コンピュータにあるハードウェアの競合を解決する必要があります** をクリックして、**次へ** をクリックします。

目次ページに戻る

[目次ページに戻る]

アドバンス機能

Dell™ OptiPlex™ 170L ユーザーズガイド

LegacySelect テクノロジコントロール

LegacySelect テクノロジコントロールは、共通プラットフォーム、ハードドライブイメージ、およびヘルプデスク手続きを基本としたレガシーフル、レガシー限定、またはレガシーフリーソリューションを提供します。管理者は、セットアップユーティリティ、Dell OpenManage™ IT Assistant、または Dell™ カスタムファクトリー統合を介してコントロールを利用できます。

LegacySelect を使うことによって、管理者はシリアル / USB コネクタ、パラレルコネクタ、フロッピードライブ、PCI スロット、PS/2 マウスなどのコネクタおよびメディアデバイスを電子的に活動化または非活動化することができます。非活動化されたコネクタおよびメディアデバイスによって、リソースが使用可能になります。変更を有効にするには、コンピュータを再起動する必要があります。

管理機能

Dell OpenManage™ IT Assistant

IT Assistant は、企業のネットワーク上のコンピュータやその他のデバイスを設定、管理、監視します。IT Assistant は、業界標準の管理ソフトウェアを装備したコンピュータの資産、設定、イベント（警告）、セキュリティを管理します。また、SNMP、DMI、および CIM の業界標準に準拠する計装をサポートします。

DMI と CIM を基本にした Dell OpenManage Client / クライアント用ソフトウェアは、お使いのコンピュータで使用できます。IT Assistant の情報は、Dell サポートウェブサイト **support.dell.com** で入手できる『Dell OpenManage IT Assistant ユーザーズガイド』を参照してください。

Dell OpenManage Client / クライアント用ソフトウェア

Dell OpenManage Client / クライアント用ソフトウェアは、IT Assistant などのリモート管理プログラムが、以下を実行することを可能にするソフトウェアです。

- お使いのコンピュータについての情報へのアクセス（搭載されているプロセッサの数や実行されているオペレーティングシステムの種類など）
- コンピュータのステータスの監視（温度プローブからの熱警告やストレージデバイスからのハードドライブ障害警告を受信することなど）
- お使いのコンピュータのステータスの変更（BIOS のアップデートまたはリモートでのシャットダウンなど）

Dell OpenManage Client / クライアント用ソフトウェアについては、デルサポートウェブサイト **support.dell.com** で入手できる『Dell OpenManage Client / クライアント用ソフトウェア ユーザーズガイド』を参照してください。

セキュリティ機能

セキュリティケーブルスロット

コンピュータ背面のセキュリティケーブルスロットに市販の盗難防止デバイスを取り付けます。

メモ: 盗難防止デバイスを購入する前に、お使いのコンピュータのセキュリティケーブルスロットに対応するかを確認してください。

通常、盗難防止デバイスに、金属ケーブルにロック装置とキーが付いています。デバイスに付属しているマニュアルに取り付け方法が記載されています。

パドロックリング

スモールデスクトップコンピュータにはパドロックリングが付いています。次の方法の 1 つを使って、コンピュータのセキュリティを強化します。

- パドロックリングはパドロックのみ、またはパドロックとループ型セキュリティケーブルをパドロックリングと一緒に使用します。

  パドロックだけでコンピュータが開けられることを防ぐことができます。

- 固定されたものにセキュリティケーブルを通し、パドロックを取り付けることで、コンピュータが無断で移動されることを防ぐことができます。

パスワードによる保護

注意: パスワードはコンピュータ内のデータに対してセキュリティを提供しますが、絶対に安全であるというわけではありません。より強固なセキュリティが必要なデータについては、データ暗号化プログラムなどの保護機能をご自身でご用意ください。

システムパスワード

注意: システムパスワードを設定せずに操作中のコンピュータから離れたり、コンピュータをロックせずに放置した場合、第三者がジャンパ設定を変更して、パスワードを解除することができます。その結果、誰でもハードドライブ内のデータにアクセスすることができるようになります。

オプション設定

次の 2 つのオプションのいずれかが表示されている場合、システムパスワードの変更や新しいパスワードの入力はできません。

- **Enabled** — システムパスワードが設定されています。
- **Disabled** — システム基板のジャンパ設定によって、システムパスワードが無効になっています。

次のオプションが表示されている場合のみシステムパスワードを設定できます。

- **Not Enabled** — システムパスワードが設定されていない状態で、システム基板のパスワードジャンパが有効設定（デフォルト）になっています。

システムパスワードの設定

システムパスワードの入力を途中で中止したい場合、<Tab> または <Shift><Tab> を押して別のフィールドに移動するか、手順 5 を終了する前に <Esc> を押します。

1. セットアップユーティリティを起動して、**Password Status** が **Unlocked** に設定されているか確認します。
2. **System Password** をハイライト表示して、<Enter> を押します。

   オプション名が **Enter Password** に変わり、その後ろに 32 文字分の空のフィールドが現れます。

3. 新しいシステムパスワードを入力します。

   32 文字まで入力できます。入力した文字を訂正する場合、<Backspace> または左矢印キーを押します。パスワードは、大文字と小文字は区別されません。

   無効なキーの組み合わせもあります。そのような組み合わせで入力すると、スピーカーからビープ音が鳴ります。

それぞれの文字キー（または空白としてのスペースバー）を押すごとに「*」が表示されます。

4. <Enter> を押します。

新しいシステムパスワードが 32 文字未満の場合、フィールド全部に「*」が挿入されます。次に、オプション名が **Verify Password** に変わり、その後ろに 32 文字分の別の空のフィールドが現れます。

5. パスワードを確認するために、再度パスワードを入力して <Enter> を押します。

パスワード設定は、**Enabled** に変わります。

6. セットアップユーティリティを終了します。

コンピュータを再起動すると、パスワード保護機能は有効になります。

システムパスワードの入力

コンピュータを起動または再起動すると、以下のプロンプトの 1 つが画面に表示されます。

Password Status が **Unlocked** に設定されている場合

```
Type in the password and
- press <ENTER> to leave password security enabled.
- press <CTRL><ENTER> to disable password security.
Enter password:
```

Password Status が **Locked** に設定されている場合

```
Type the password and press <Enter>.
```

セットアップパスワードが設定されている場合、コンピュータはセットアップパスワードをシステムパスワードの代用として受け付けます。

入力したシステムパスワードが間違っていると、次のメッセージが表示されます。

```
** Incorrect password. **
```

再び誤ったパスワードまたは不完全なパスワードを入力すると、同じメッセージが表示されます。システムパスワードを 3 回間違えると、それ以降は以下のメッセージが表示されます。

```
** Incorrect password.**
Number of unsuccessful password attempts:3
System halted!Must power down.
```

コンピュータの電源を入れなおした後でも、再び誤ったシステムパスワード、または不完全なシステムパスワードを入力するたびに、上記のメッセージが表示されます。

メモ：System Password および **Setup Password** と一緒に **Password Status** を使用すると、無許可の変更に対してコンピュータの保護を強化できます。

既存のシステムパスワードの取り消しと変更

1. セットアップユーティリティを起動して、**Password Status** が **Unlocked** に設定されているか確認します。
2. コンピュータを再起動します。
3. プロンプトが表示されたら、システムパスワードを入力します。

4. <Ctrl><Enter> を押して、既存のシステムパスワードを無効にします。

5. **System Password** オプションに **Not Enabled** と表示されているか確認します。

Not Enabled と表示されたら、システムパスワードは削除されています。**Not Enabled** と表示されていない場合、<Alt><b> を押してコンピュータを再起動して、手順 3 〜 手順 5 を繰り返します。

新しいパスワードを設定する場合、「システムパスワードの設定」の手順に従います。

6. セットアップユーティリティを終了します。

セットアップパスワード

オプション設定

- **Enabled** — セットアップパスワードの設定ができません。セットアップユーティリティを変更するには、セットアップパスワードを入力する必要があります。
- **Not Enabled** — セットアップパスワードの設定ができます。パスワード機能は有効ですがパスワードが設定されていません。

セットアップパスワードの設定

セットアップパスワードとシステムパスワードは同じでもかまいません。

メモ: これらのパスワードが異なる場合でも、セットアップパスワードをシステムパスワードの代わりに入力することができます。ただし、システムパスワードは、セットアップパスワードの代わりに使用することはできません。

1. セットアップユーティリティを起動して、**Setup Password** が **Not Enabled** に設定されているか確認します。

2. **Setup Password** をハイライト表示し、左または右の矢印キーを押します。

パスワードの入力と確認のプロンプトが表示されます。パスワードに使用できない文字の場合、ビープ音が鳴ります。

3. パスワードを入力して確認します。

パスワードの確認が終わると、**Setup Password** の設定は、**Enabled** に変わります。これ以降は、セットアップユーティリティを起動する際に、セットアップパスワードの入力を求められます。

4. セットアップユーティリティを終了します。

Setup Password への変更はただちに有効になります（コンピュータを再起動する必要ありません）。

セットアップパスワードが有効な場合のコンピュータの操作

セットアップユーティリティを起動すると、**Setup Password** オプションがハイライト表示され、パスワードの入力を求められます。

正しいパスワードを入力しないと、セットアップユーティリティ画面は表示されますが、セットアップユーティリティのオプションを変更することはできません。

メモ: **Setup Password** と一緒に **Password Status** を使用すると、無許可の変更に対してシステムパスワードを保護できます。

既存のセットアップパスワードの取り消しと変更

既存のセットアップパスワードを変更するには、そのパスワードを知っている必要があります。

1. セットアップユーティリティを起動します。

2. プロンプトでセットアップパスワードを入力します。
3. **Setup Password** をハイライト表示し、左右矢印キーを押して、既存のセットアップパスワードを取り消します。

設定は **Not Enabled** に変わります。

「システムパスワードの設定」の手順を実行し、新しいセットアップパスワードを設定します。

4. セットアップユーティリティを終了します。

忘れたパスワードの取り消しと新しいパスワードの設定

注意：この手順をおこなうと、システムパスワードとセットアップパスワードの両方が消去されます。

警告：『製品情報ガイド』に記載されている「安全にお使いいただくために」の注意事項に従い、この項の作業を始めてください。

1. コンピュータカバーを取り外します。

注意：コンピュータ内部に触れる前に、コンピュータ背面の金属部など塗装されていない金属面に触れて、身体の静電気を逃がしてください。作業中も、定期的に塗装されていない金属面に触れて、内蔵コンポーネントを損傷する恐れのある静電気を逃がしてください。

2. 「CLEAR PASSWORD」とラベルの付いたジャンパをコネクタから取り外します。

パスワードジャンパの位置は、「ジャンパ設定」を参照してください。

3. コンピュータカバーを取り付けます。
4. コンピュータとデバイスをコンセントに接続して、電源を入れます。

これで、既存のパスワードが取り消されます。

5. セットアップユーティリティを起動して、**Setup Password** が **Disabled** に設定されているか確認します。
6. セットアップユーティリティを終了します。
7. コンピュータカバーを取り外します。

注意：コンピュータ内部に触れる前に、コンピュータ背面の金属部など塗装されていない金属面に触れて、身体の静電気を逃がしてください。作業中も、定期的に塗装されていない金属面に触れて、内蔵コンポーネントを損傷する恐れのある静電気を逃がしてください。

8. CLEAR PASSWORD ジャンパプラグを取り付けます。
9. コンピュータカバーを取り付け、コンピュータとデバイスをコンセントに接続して、電源を入れます。

これで、パスワード機能は有効になります。セットアップユーティリティを起動すると、どちらのパスワードオプションも **Not Enabled** と表示されます（パスワード機能は有効ですが、パスワードは設定されていません）。

10. 新しいシステムパスワード、またはセットアップパスワードを設定します。

セットアップユーティリティ

セットアップユーティリティは次の場合に使用します。

- ユーザ選択可能オプション（たとえば、日時またはシステムパスワード）を設定する場合
- 現在のメモリの容量を調べたり、取り付けたハードドライブの種類を設定する場合

<Print Screen> を押してセットアップユーティリティ画面を印刷したり、後で参照できるように設定内容を記録しておきます。

セットアップユーティリティを起動する前に、コンピュータに取り付けられているフロッピードライブとハードドライブの種類を確認する必要があります。この情報を確認するには、コンピュータに付属の製造テストレポートを参照するか、オンラインの **Dell アクセサリ** フォルダにあるこの情報を検索してください。

セットアップユーティリティの起動

1. コンピュータの電源を入れます（または再起動します）。
2. 画面の右上角に Press <F2> to Enter Setup と表示されたら、すぐに <F2> を押します。
3. ここで時間をおきすぎて Microsoft® Windows® ロゴが表示された場合、Windows デスクトップが表示されるまで待ちます。デスクトップが表示されたら、コンピュータをシャットダウンして、操作をやり直してください。

セットアップユーティリティ画面

セットアップユーティリティ画面には、お使いのコンピュータの現在の設定情報が表示されます。画面の情報は、以下の 4 つの領域から構成されています。

- Title は、すべての画面の一番上のボックスにあり、コンピュータ名を表示します。
- Computer data は、Title ボックスの下にある 2 つのボックスで、コンピュータプロセッサ、L2 キャッシュ、サービスタグ、および BIOS のバージョン番号を表示します。
- Option は、スクロール付きのボックスで、お使いのコンピュータの設定（搭載しているハードウェア、省電力、およびセキュリティ機能など）を示すオプションを一覧表示します。

  オプションタイトルの右側のフィールドには、設定状態または値が表示されます。ご自身で変更できるフィールドは、画面上で明るく表示されます。ご自身で変更できないフィールド（コンピュータによって設定されているため）は、暗く表示されます。<Enter> がオプションタイトルの右側に表示されたら、<Enter> を押して追加オプションのあるポップアップメニューにアクセスします。

- Key function は、画面の一番下にある 1 列に並んだボックスで、セットアップユーティリティでのキーとキーの機能を表示します。

セットアップユーティリティナビゲーションキー

キー	処置
Tab または ↓	次のフィールドに移動します。
Shift Tab または ↑	前のフィールドに移動します。
← または →	フィールド内のオプションを移動します。多くのフィールドで、数値キーを使用して値を入力することもできます。
Page Down または Page Up	ヘルプ情報をスクロール表示します。
Enter	選択したフィールドのポップアップオプションメニューを起動します。
スペースバー または +/= または −	選択したフィールドのポップアップオプションメニューでフィールド内のオプションを移動します。

Alt X	コンピュータを再起動せずにセットアップユーティリティを終了して、起動ルーチンに戻ります。
Alt B	セットアップユーティリティを終了し、コンピュータを再起動して、変更した設定を有効にします。
Alt D	選択したオプションをデフォルトにリセットします。
Alt F	すべてのシステム設定をデフォルトに戻します。

Boot Sequence（起動順序）

この機能を使って、どのデバイスからコンピュータを起動するか、その順番を変更します。

オプション設定

- **Normal** —（現在の起動プロセスのみで使用可能）コンピュータはセットアップユーティリティで指定したデバイスの順番で起動を試みます。
- **Diskette Drive** — コンピュータはフロッピードライブからの起動を試みます。ドライブ内のフロッピーディスクが起動用でない場合、またはフロッピーディスクがドライブにない場合、コンピュータはエラーメッセージを生成します。
- **Hard Drive** — コンピュータはプライマリハードドライブからの起動を試みます。オペレーティングシステムがドライブにない場合、コンピュータはエラーメッセージを生成します。
- **CD Drive** — コンピュータは CD ドライブからの起動を試みます。CD がドライブにない場合、あるいは CD にオペレーティングシステムがない場合、コンピュータはエラーメッセージを生成します。
- **PXE** —（将来の起動プロセスでのみ使用可能）コンピュータが起動する際に、<Ctrl><Alt><b> を押すように指示されます。このキーの組み合わせを押すと、ネットワークサーバからの起動方法を選択できるメニューが表示されます。起動ルーチンがネットワークサーバーから使用できない場合、システムは起動順序リスト内の次のデバイスからの起動を試みます。
- **USB Flash Device** — USB ポートにメモリデバイスを挿入し、コンピュータを再起動します。画面の右上角に `F12 = Boot Menu` と表示されたら、<F12> を押します。BIOS がデバイスを認識し、USB フラッシュオプションを起動メニューに追加します。

メモ: USB デバイスから起動するには、そのデバイスが起動可能デバイスである必要があります。デバイスのマニュアルを参照して、デバイスが起動可能であるか確認してください。

現在の起動用の起動順序の変更

たとえば、この機能を使って、Dell Diagnostics（診断）を実行するために CD ドライブからコンピュータを起動するように設定できます。しかし、診断テストが完了したら、コンピュータがハードドライブから起動するよう指定します。

1. コンピュータの電源を入れます（または再起動します）。
2. 画面の右上角に `F2 = Setup, F12 = Boot Menu` と表示されたら、<F12> を押します。

ここで時間をおきすぎて Windows ロゴが表示された場合、Windows デスクトップが表示されるまで待ちます。デスクトップが表示されたら、コンピュータをシャットダウンして、操作をやり直してください。

使用可能な起動デバイスをすべて一覧表示した **Boot Device Menu** が表示されます。各デバイスには、横に番号が付いています。メニューの一番下で、現在の起動のみに使用されているデバイスの番号を入力します。

将来の起動用の起動順序の変更

1. セットアップユーティリティを起動します。
2. 矢印キーを使って **Boot Sequence** メニューオプションをハイライト表示し、<Enter> を押してポップアップメニューにアクセスします。

メモ: 後で元に戻すこともできるよう、現在の起動順序を控えておきます。

3. デバイスの一覧内を移動するには、上下矢印キーを押します。
4. デバイスを有効または無効にするには、スペースバーを押します（有効にしたデバイスにはチェックマークが付いています）。
5. 選択したデバイスをリストの上または下に移動するには、プラス（+）またはマイナス（－）を押します。

セットアップオプション

メモ: お使いのコンピュータおよび取り付けられているデバイスに応じて、この項に一覧表示された項目とは異なる場合があります。

<table>
<tr><td>

Drive Configuration

- **Diskette Drive A** — システム基板の DSKT コネクタに取り付けられたフロッピードライブを識別します。2 つのオプションは、**3.5 Inch, 1.44 MB** および **Not Installed** です。

  テープドライブは **Diskette Drive A** オプションには反映されません。たとえば、1 つのフロッピードライブと 1 つのテープドライブをフロッピードライブインタフェースケーブルに接続している場合、**Diskette Drive A** は **3.5 Inch, 1.44 MB** に設定します。

- **SATA Primary Drive** — システム基板の SATA コネクタに取り付けられたシリアル ATA ドライブを識別します。
- **Primary Master Drive** — システム基板の IDE1 コネクタに取り付けられた IDE ハードドライブを識別します。
- **Primary Slave Drive** — システム基板の IDE2 コネクタに取り付けられた IDE デバイスを識別します。
- **Secondary Master Drive** — IDE1 データケーブルのドライブに配線されているデバイスを識別します。
- **Secondary Slave Drive** — IDE2 データケーブルのデバイスに配線されているデバイスを識別します。
- **IDE Drive UDMA** — 取り付けられているすべてのハードドライブのモードを設定します。

メモ: IDE デバイスをセカンド IDE インタフェースに接続する場合、プライマリ IDE インタフェースに IDE デバイスが接続されている必要があります。

問題がある場合 —「ハードドライブの問題」を参照してください。

</td></tr>
<tr><td>

Hard-Disk Drive Sequence — 起動デバイスを挿入して再起動した場合、このオプションはセットアップユーティリティのメニューを表示します。

- **System BIOS boot device**
- **USB Device**

メモ: USB メモリデバイスから起動するには、USB デバイスを選んで、一覧にある最初のデバイスに移動します。

</td></tr>
<tr><td>

Boot Sequence — このオプションの詳細は、「Boot Sequence（起動順序）」を参照してください。

</td></tr>
<tr><td>

Memory Information — 取り付けられたメモリの容量、コンピュータメモリの速度、ビデオメモリの容量、およびディスプレイキャッシュのサイズを示します。

</td></tr>
<tr><td>

CPU Information

- **Hyper-Threading** — オペレーティングシステムの**ハイパースレッディング**テクノロジを有効または無効にして、**ハイパースレッディング**をサポートします。デフォルト設定は **Disabled** です。他の 2 つの設定は、**Enabled** と **Default** です。
- **CPU Speed** — コンピュータが起動する際のプロセッサ速度です。

  左右矢印キーを押して、搭載されているプロセッサの定格速度（デフォルト）とより遅い互換速度の間で、**CPU Speed** オプションを切り換えます。このオプションへの変更はただちに有効になります（再起動の必要はありません）。

  コンピュータがリアルモードで実行中に定格速度と互換速度の間で切り換えをおこなうには、<Ctrl><Alt><\\> を押します。（アメリカで英語を使用していないキーボードの場合、<Ctrl><Alt><#> を押します。）

- **Bus Speed** — プロセッサのシステムバスの速度です。
- **Processor ID** — 取り付けられているプロセッサの製造元識別コードを示します。
  - **Clock Speed** — プロセッサが動作するコア速度です。
  - **Cache Size** — プロセッサの L2 キャッシュのサイズです。

</td></tr>
<tr><td>

Integrated Devices (Legacy Select Options) — システム基板に取り付けられた次のデバイスを設定します。

- **Sound** — 設定は、**On**（デフォルト）または **Off** です。
- **Network Interface Controller** — 設定は、**On**（デフォルト）、**Off**、または **On w/ PXE** です。
- **Sound** — 設定は、**On**（デフォルト）または **Off** です。
- **USB Emulation** — 設定は、**On**（デフォルト）または **Off** です。
- **USB Controller** — 設定は、**On**（デフォルト）または **Off** です。
- **Serial Port 1** — 設定は、**Auto**（デフォルト）、**COM1**、**COM3**、および **Off** です。**Auto** は、コネクタを自動的に特定のポート（COM1 または COM3）に設定します。
- **Parallel Port** — 設定は、**Mode**、**I/O Address** です。
  - **Mode** の設定は、**PS/2**（デフォルト）、**EPP**、**ECP**、**AT**、または **Off** です。**Mode** オプションは、パラレルコネクタに接続されているデバイスのタイプに合わせて設定します。使用する正しいモードを確認するには、デバイスに付属しているマニュアルを参照してください。

メモ: **Mode** が **ECP** に設定されている場合、DMA Channel がオプションとして表示されます。設定は、**DMA 1**、**DMA 3**、または **Off** です。

  - **I/O Address** の設定は、**378h**（デフォルト）、**278h**、または **3BCh** です。**Mode** が **Off** に設定されていると、これらの設定は使用できません。

メモ: **Mode** が **EPP** に設定されている場合、パラレルコネクタを **3BCh** に設定することはできません。

- **Diskette Interface** — 設定は、**Auto**（デフォルト）、**Read Only**、および **Off** です。
  - **Auto** は、拡張スロットに取り付けられたコントローラカードに適合するために、必要に応じて内蔵フロッピードライブをオフにします。
  - **Read Only** は、内蔵フロッピードライブコントローラがフロッピードライブへの書き込みを禁止し、**Auto** をアクティブにします。
- **PC Speaker** — 設定は、**On**（デフォルト）または **Off** です。
- **Primary Video Controller** — 設定は、**Auto**（デフォルト）および **Onboard** です。

</td></tr>
</table>

- **Onboard Video Buffer** — 設定は、**1 MB**（デフォルト）および **8 MB** です。

Power Management — 詳細については、「電力の管理」を参照してください。

- **Suspend Mode** — オプションは、**S1** または **S3** です。
- **AC Power Recovery** — コンピュータに AC 電源が回復した場合にどうするかを設定します。
  - **Off**（デフォルト）— AC 電源が回復してもコンピュータの電源は切れたままです。
  - **On** — AC 電源が回復するとコンピュータは起動します。
  - **Last** — コンピュータは AC 電源が切れたときの AC 電源の状態に戻ります。
- **Low Power Mode** — 設定は、**Enabled** および **Disabled** です。

System Security — 詳細については、「セキュリティ機能」を参照してください。

Keyboard NumLock — 設定は **On** および **Off** です（84 キーのキーボードには適用されません）。

- **On**（デフォルト）— キーの最も右のバンクがアクティブになり、各キーの上部に表示された数値機能が使用できるようになります。
- **Off** — キーの最も右のバンクがアクティブになり、各キーの下部に表示されたカーソルコントロール機能が使用できるようになります。

Report Keyboard Errors — 設定は、**Report**（デフォルト）および **Do Not Report** です。

Auto Power On —

時間と曜日を設定し、コンピュータに自動的に電源を入れることができます。時間は 24 時間形式（時間：分）で表示されます。

- **Mode** — 設定は、**Disabled**（デフォルト）、**Weekdays**、または **Everyday** です。
- **Auto Power On Time** — 左右の矢印キーを押して、数値を増減するか、日付と時間のフィールドの両方に数値を入力して、起動する時間を変更します。

この機能は、電源タップやサージプロテクタでコンピュータをシャットダウンした場合は動作しません。

Remote Wake Up — コンピュータを低電源スリープ状態からリモートで起動したり、電源は切れているが電源と接続されているコンピュータをリモートで起動することができます。

- **On** — ネットワークアダプタやモデムから適切な信号を受け取ると、コンピュータは起動します。
- **Off** — コンピュータはリモートで起動しません。
- **On w/Boot to NIC** — ネットワークアダプタまたはモデムが適切な信号を受け取ると、コンピュータはネットワークサーバーから起動を試みます。起動ルーチンがネットワークサーバーから使用できない場合、コンピュータは起動順序で指定されたデバイスからの起動を試みます。

Fastboot

- **On**（デフォルト）— コンピュータは、特定の設定およびテストを省略して、10 秒以内で起動します。
- **Off** — コンピュータは、起動プロセス中に特定の設定およびテストを省略しません。

OS Install Mode

設定は、**Off** および **On** です。

- **On** — オペレーティングシステムが利用できるシステムのメモリ量は、システム内のメモリ量とは関係なく常に 256 MB です。
- **Off** — オペレーティングシステムはすべてのシステムメモリを利用できます。

Hard Drive Acoustics Mode

アコースティックモードフィールドには、以下のオプションが含まれます。

- **Quiet**（デフォルト）— ハードドライブは最も静かな設定で動作します。
- **Performance** — ハードドライブは最大速度で動作します。

メモ：Performance モードへ切り替えると、ドライブはより大きなノイズを発生する場合がありますが、動作に影響はありません。

- **Bypass** — お使いのコンピュータは、現在のアコースティックモードの設定をテストまたは変更しません。
- **Suggested** — ハードドライブは、ハードドライブ製造元が推奨する速度レベルで動作します。

メモ：アコースティック設定を変更しても、ハードドライブイメージは変わりません。

System Event Log — システムイベントログを表示またはクリアします。

Asset Tag — 管理タグ番号が割り当てられている場合、ユーザーがコンピュータに対して指定可能な管理タグ番号を表示します。

USB デバイスからの起動

メモ：USB デバイスから起動するには、そのデバイスが起動可能デバイスである必要があります。お使いのデバイスが起動可能デバイスか確認するには、デバイスに付属のマニュアルを参照してください。

メモリキー

1. USB ポートにメモリキーを挿入して、コンピュータを再起動します。
2. 画面の右上角に `F12 = Boot Menu` と表示されたら、<F12> を押します。

BIOS がデバイスを認識し、USB flash オプションを起動メニューに追加します。

3. 起動メニューから、USB デバイスの横に表示されている数字を選びます。

コンピュータは USB デバイスから起動します。

フロッピードライブ

1. セットアップユーティリティを起動し、**integrated devices** に入り **diskette interface** を **Off** に設定して、内蔵フロッピードライブを無効にします。
2. **Drive Configuration** で、**Diskette Drive A** が**3.5 inch, 1.44 MB** に設定されているか確認します。
3. USB フロッピードライブを接続し、起動ディスケットを挿入して、システムを再起動します。

電源ボタン

注意：コンピュータの電源を切る際は、できるだけ正常なコンピュータのシャットダウンを実行してください。

ACPI 機能を使って、Windows 2000 および Windows XP オペレーティングシステムの機能を設定できます。

ACPI 機能が有効な場合の電源ボタンの機能

処置	結果		
	コンピュータがオンで ACPI が有効	**コンピュータがスタンバイモード**	**コンピュータがオフ**
電源ボタンを押す	コンピュータはスタンバイモードに入るか、オフになります（オペレーティングシステムのセットアップに応じて）	コンピュータがオンになります	コンピュータが起動してオンになります
電源ボタンを 6 秒以上押し続ける	コンピュータがオフになります	コンピュータがオフになります	コンピュータが起動してオンになります
メモ：電源ボタンを押したり、押し続けてコンピュータをシャットダウンするとデータが失われる恐れがあります。オペレーティングシステムが応答しない場合にのみ、電源ボタンを使ってコンピュータをシャットダウンしてください。			

ACPI 機能が無効な場合の電源ボタンの機能

処置	結果		
	コンピュータがオンで ACPI が無効	**コンピュータがサスペンドモード**	**コンピュータがオフ**
電源ボタンを押す	コンピュータはすぐにオフになります	コンピュータはすぐにオフになります	コンピュータが起動してオンになります
電源ボタンを 6 秒以上押し続ける	コンピュータがオフになります	コンピュータはすぐにオフになります	コンピュータが起動してオンになります
メモ：電源ボタンを押したり、押し続けてコンピュータをシャットダウンするとデータが失われる恐れがあります。オペレーティングシステムが応答しない場合にのみ、電源ボタンを使ってコンピュータをシャットダウンしてください。			

電力の管理

お使いのコンピュータは、作業しない場合に少ない電力で動作するよう設定できます。コンピュータにインストールされたオペレーティングシステムおよびセットアップユーティリティの特定のオプション設定を使って、電力使用を制御します。電力が減少されている以下の期間を「スリープ状態」と呼びます。

- **スタンバイ** — このスリープ状態では、ほとんどのコンポーネント（冷却ファンを含む）への電力は減少されるか、切られています。ただし、システムメモリは活動状態にあります。

メモ: スタンバイ状態になるには、コンピュータに取り付けられたすべてのコンポーネントがこの機能をサポートし、また適切なドライバがロードされている必要があります。詳細については、各コンポーネントの製造元のマニュアルを参照してください。

- **休止状態** — このスリープ状態は、システムメモリのすべてのデータをハードドライブに書き込み、次に、システム電源を切ることによって、電力消費を最小にします。この状態からウェイクアップするとコンピュータが再起動し、メモリの内容が回復されます。その後、コンピュータは休止状態に入った時の状態から動作を開始します。

メモ: 休止状態になるには、コンピュータに取り付けられたすべてのコンポーネントがこの機能をサポートし、また適切なドライバがロードされている必要があります。詳細については、各コンポーネントの製造元のマニュアルを参照してください。

- **シャットダウン** — このスリープ状態では、補助用のわずかな量を除いてコンピュータからすべての電源を切ります。コンピュータがコンセントに接続されている限り、自動的にまたはリモートで起動することができます。たとえば、セットアップユーティリティの **Auto Power On** オプションを使うと、コンピュータを特定の時間に自動的に起動することができます。また、ネットワーク管理者は Remote Wake Up などの電源管理イベントを使って、コンピュータをリモートで起動することができます。

次の表に、スリープ状態と各状態から復帰させるために使用する方法を一覧表示します。

スリープの状態	復帰方法（Windows 2000 および XP）
スタンバイ	• 電源ボタンを押す • オートパワーオン • マウスを動かすかクリックする • キーを押す • USB デバイスアクティビティ • 電源管理イベント
休止状態	• 電源ボタンを押す • オートパワーオン • 電源管理イベント
シャットダウン	• 電源ボタンを押す • オートパワーオン • 電源管理イベント

メモ: 電源管理の詳細については、オペレーティングシステムのマニュアルを参照してください。

ハイパースレッディング

ハイパースレッディングは、Intel® のテクノロジで、1 つの物理プロセッサを 2 つの論理プロセッサとして機能させることによってパフォーマンスを全体的に向上させて、複数の特定のタスクを同時に処理することを可能にします。Windows XP オペレーティングシステムは、ハイパースレッディングテクノロジを利用するために最適化されているので、Microsoft® Windows® XP Service Pack 1（SP1）以降のオペレーティングシステムを使用することをお勧めします。多くのプログラムは、ハイパースレッディングの恩恵を受けることになりますが、ハイパースレッディング用に最適化されていないプログラムもあります。それらのプログラムは、ソフトウェアの製造元によるアップデートが必要な場合もあります。ソフトウェアの製造元に、アップデートやハイパースレッディングでソフトウェアを使用する方法についてお問い合わせください。

お使いのコンピュータがハイパースレッディングテクノロジを使用しているか確認するには、次の手順を実行します。

1. **スタート** ボタンをクリックし、**マイコンピュータ** を右クリックして、**プロパティ** をクリックします。
2. **ハードウェア** をクリックして、**デバイスマネージャ** をクリックします。
3. **デバイスマネージャ** ウィンドウで、プロセッサタイプの横の（＋）サインをクリックします。ハイパースレッディングが有効な場合、プロセッサは 2 つ表示されています。

セットアップユーティリティを使って、ハイパースレッディングを有効または無効にすることができます。

目次ページに戻る

目次ページに戻る

バッテリー

Dell™ OptiPlex™ 170L ユーザーズガイド

警告：『製品情報ガイド』に記載されている「安全にお使いいただくために」の注意事項に従い、この項の作業を始めてください。

警告：感電防止のため、カバーを開く前に必ず、コンピュータの電源プラグをコンセントから抜いてください。

コイン型バッテリーは、コンピュータの設定、日付、時間の情報を保持します。バッテリの寿命は数年です。

コンピュータを起動したときに日付や時刻が間違っていて、次のメッセージが表示される場合、バッテリーを交換する必要があります。

Time-of-day not set - please run SETUP program（日時が設定されていません。セットアップユーティリティを実行してください）

または

Invalid configuration information -
please run SETUP program
（無効な設定情報 — セットアップユーティリティを実行してください）

または

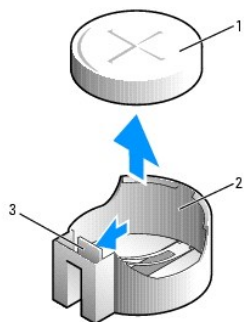
Strike the F1 key to continue,
F2 to run the setup utility
（続行するには F1 キーを、セットアップユーティリティを実行するには F2 を押してください）

バッテリーの交換が必要かどうか確認するには、セットアップユーティリティで日付と時刻を再入力し、プログラムを終了してその情報を保存します。コンピュータの電源を切り、コンセントから 2 ～ 3 時間外しておきます。次に、コンピュータをコンセントに接続しなおし、電源を入れてセットアップユーティリティを起動します。セットアップユーティリティに表示される日付と時刻が間違っている場合、バッテリーを交換します。

バッテリーがなくてもコンピュータは動作しますが、電源をオフにしたり、コンセントから電源プラグを抜いた場合、コンピュータ設定情報は消去されます。その場合、セットアップユーティリティを起動して、設定オプションを再設定しなければなりません。

警告：新しいバッテリーは、正しく装着しないと破裂する恐れがあります。バッテリーは、必ず同一または同等の、製造元が推奨するタイプのものと交換してください。使用済みのバッテリーは、製造元の指示に従って廃棄してください。

バッテリーを交換するには、次の手順を実行します。

1. セットアップユーティリティにある設定情報のコピーを取っていない場合、コピーを取ります。「セットアップユーティリティ」を参照してください。
2. 「はじめに」の手順に従います。
3. タブを押すと、バッテリーがバッテリーソケットから外れるので、バッテリーを取り外すことができます。
4. バッテリーの「＋」側を上に向けて新しいバッテリーをソケットに挿入し、バッテリーを所定の位置にカチッとはめ込みます。

1	バッテリー
2	バッテリーソケット
3	タブ

5. コンピュータカバーを取り付けます。

注意：ネットワークケーブルを接続するには、まずケーブルを壁のネットワークジャックに差し込み、次に、コンピュータに差し込みます。

6. コンピュータおよびデバイスをコンセントに接続して、電源を入れます。
7. セットアップユーティリティを起動して、手順 1 で記録した設定に戻します。
8. 古いバッテリーは適切に廃棄します。

目次ページに戻る

目次ページに戻る

はじめに

Dell™ OptiPlex™ 170L ユーザーズガイド

ここでは、お使いのコンピュータの部品の取り外しと取り付けの手順について説明します。特に指示がない限り、それぞれの手順では以下の条件を満たしていることを前提とします。

- 「コンピュータの電源を切る」と「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順をすでに完了していること。
- Dell™ の『製品情報ガイド』の安全に関する情報をすでに読んでいること。
- 取り外しの手順を逆の順序で実行することで部品の取り付けができること。

推奨ツール

このマニュアルで説明する操作には、以下のようなツールが必要です。

- 小型のマイナスドライバ
- プラスドライバ
- フラッシュ BIOS アップデートプログラムのフロッピーディスクまたは CD

コンピュータの電源を切る

注意：データの損失を防ぐため、開いているすべてのファイルを保存してから閉じ、実行中のすべてのプログラムを終了してから、コンピュータの電源を切ります。

1. オペレーティングシステムをシャットダウンするには、次の手順を実行します。
   a. 開いているすべてのファイルを保存してから閉じ、実行中のすべてのプログラムを終了します。次に、**スタート** ボタンをクリックして、**終了オプション** をクリックします。
   b. **コンピュータの電源を切る** ウィンドウで、**電源を切る** をクリックします。

   オペレーティングシステムのシャットダウン処理が完了すると、コンピュータの電源が切れます。
2. コンピュータおよび取り付けられているデバイスの電源が切れていることを確認します。オペレーティングシステムをシャットダウンした際に、コンピュータおよび取り付けられているデバイスの電源が自動的に切れなかった場合、ここでそれらの電源を切ります。

コンピュータ内部の作業を始める前に

身体の安全を守り、コンピュータを損傷から保護するために、次の安全に関する注意事項に従ってください。

警告：『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の手順を開始してください。

警告：部品やカードは丁寧に取り扱ってください。コンポーネントに接触したり、カードの接点に触れないでください。カードを持つときは、縁の部分か金属製カード取り付けブラケットを持ってください。プロセッサチップなどの部品を持つ際は、ピンではなく縁を持ってください。

注意：コンピュータの修理は、認可された技術者のみがおこなってください。デルで認められていない修理による損傷は、保証の対象となりません。

注意：ケーブルを抜く際は、コネクタまたはストレインリリーフループの部分を持ち、ケーブルそのものを引っ張らないでください。ケーブルによっては、ロックタブ付きのコネクタがあるケーブルもあります。このタイプのケーブルを取り外すときは、ロックタブを押し入れてからケーブルを抜きます。コネクタを外すときは、コネクタピンを曲げないようにまっすぐに引き抜きます。また、ケーブルを接続するときは、両方のコネクタがまっすぐに向き合っていることを確認してください。

注意：コンピュータの損傷を防ぐため、コンピュータ内部の作業を始める前に、次の手順を実行します。

1. コンピュータの電源を切ります。

注意：ネットワークケーブルを取り外すには、まずコンピュータからケーブルを外し、次に、壁のネットワークジャックから外します。

2. 電話回線や通信回線のケーブルをコンピュータから外します。
3. コンピュータと取り付けられているすべてのデバイスをコンセントから取り外し、電源ボタンを押してシステム基板の静電気を逃がします。

4. コンピュータスタンドが取り付けられている場合、コンピュータスタンドを取り外します。

警告：感電防止のため、カバーを開く前に必ず、コンピュータの電源プラグをコンセントから抜いてください。

5. コンピュータカバーを開きます。

注意：コンピュータ内部に触れる前に、コンピュータ背面の金属部など塗装されていない金属面に触れて、身体の静電気を逃がしてください。作業中も、定期的に塗装されていない金属面に触れて、内蔵コンポーネントを損傷する恐れのある静電気を逃がしてください。

目次ページに戻る

[目次ページに戻る]

コンピュータのクリーニング

Dell™ OptiPlex™ 170L ユーザーズガイド

警告 :『製品情報ガイド』に記載されている「安全にお使いいただくために」の注意事項に従い、この項の作業を始めてください。

コンピュータ、キーボード、およびモニター

警告 : コンピュータをクリーニングする前に、コンピュータの電源ケーブルをコンセントから抜きます。コンピュータのクリーニングには、水で湿らせた柔らかい布をお使いください。液体クリーナーやエアゾールクリーナーは使用しないでください。可燃性物質を含んでいる場合があります。

- ブラシの付いた掃除機を使って、コンピュータのスロット部分や開口部、およびキーとキーボードの間から慎重にほこりを取り除きます。

注意 :モニター画面を石鹸またはアルコール溶液で拭かないでください。反射防止コーティングが損傷する恐れがあります。

- モニター画面をクリーニングするには、水で軽く湿らした柔らかくて清潔な布を使います。可能であれば、画面クリーニング専用ティッシュまたはモニターの静電気防止コーティング用の溶液をお使いください。
- キーボード、コンピュータ、およびモニターのプラスチック部分は、水と中性液体洗剤を 3 対 1 で混ぜ合わせた溶液で湿らした柔らかくて清潔なクリーニング布を使って拭きます。

クリーニング布を浸さないでください。またコンピュータやキーボードの内部に水が入らないようにしてください。

マウス

画面のカーソルが飛んだり、異常な動きをする場合、マウスをクリーニングします。光学式でないマウスをクリーニングするには、次の手順を実行します。

1. マウスの底の保持リングを反時計回りに回して、ボールを取り外します。
2. 清潔で糸くずのでない布でボールを拭きます。
3. ボールケージを軽く吹いて、ほこりや糸くずを取り除きます。
4. ボールケージ内側のローラーに汚れが堆積している場合、イソプロピルアルコールを軽く含ませた綿棒で取り除きます。
5. ローラーが溝からずれてしまった場合、中央になおします。綿棒の綿毛がローラーに残っていないか確認します。
6. ボールと保持リングを取り付けます。カチッと所定の位置に収まるまで、保持リングを時計回りに回します。

フロッピードライブ

注意 :綿棒でドライブヘッドを拭かないでください。誤ってヘッドがずれてしまい、ドライブが動作しなくなる場合があります。

市販のクリーニングキットを使ってフロッピードライブをきれいにします。市販のキットには通常の動作中に付着した汚れを取り除くよう前処理されたフロッピーディスクが入っています。

CD および DVD

注意 :CD/DVD ドライブのレンズの手入れには、必ず圧縮空気を使用して、圧縮空気に付属しているマニュアルの手順に従ってください。ドライブのレンズには絶対に触れないでください。

CD や DVD がスキップしたり、音質や画質の低下がみられる場合、ディスクを掃除してみます。

1. ディスクの外側の縁を持ちます。中央の穴の縁に触れることもできます。

注意：円を描くようにディスクを拭くと、ディスク表面に傷をつける恐れがあります。

2. 糸くずのでない柔らかな布で、ディスクの裏面（ラベルのない面）を中央から縁に向けて放射状にそっと拭きます。

頑固な汚れには、水、または石鹸を薄めた水を使用します。ディスクの汚れを落とし、ほこりや指紋、ひっかき傷などからディスクを保護する市販のディスククリーナーもあります。CD 用のクリーニング製品は、DVD にも使用できます。

目次ページに戻る

[目次ページに戻る]

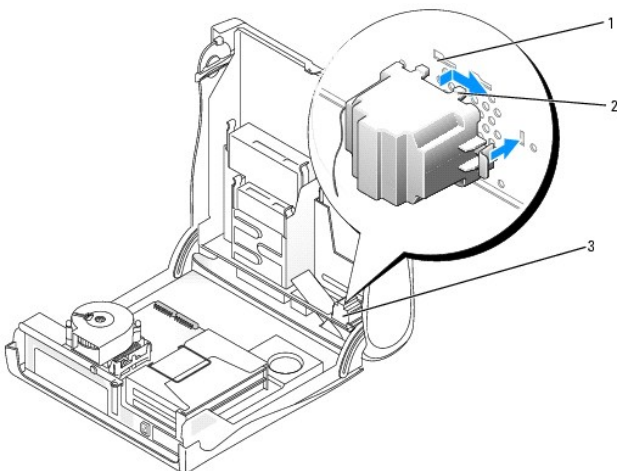
シャーシスピーカー

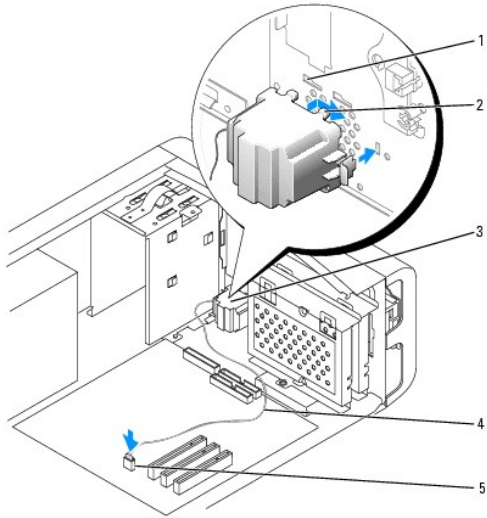
Dell™ OptiPlex™ 170L ユーザーズガイド

オプションのシャーシスピーカーの取り付け

警告：『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の手順を開始してください。

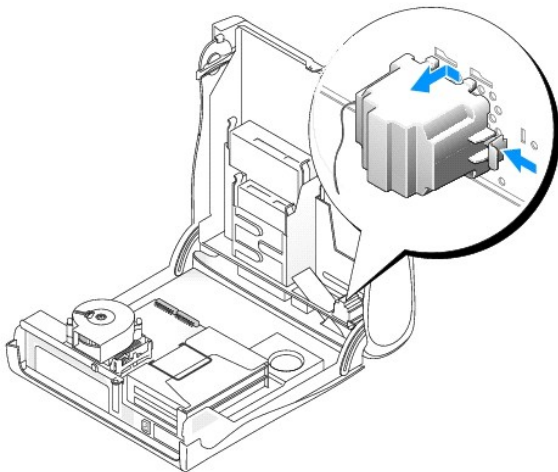
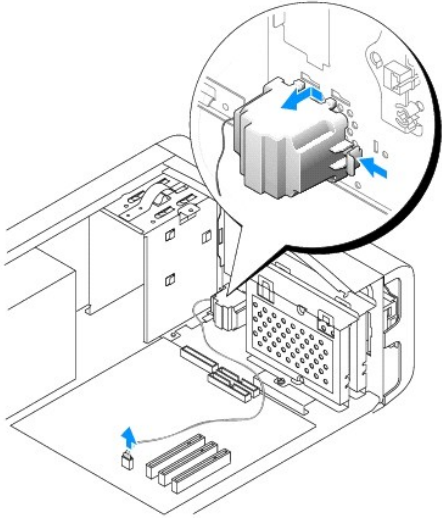
1. 「はじめに」の手順に従います。
2. コンピュータ内でシステム基板が下になるように、コンピュータを横に倒します。
3. スピーカーの 4 つのタブをシャーシの 4 つのスロットに挿入します。
4. スピーカーがしっかりと装着されるまでハードドライブの方にスライドします。
5. ケーブルを I/O パネルのコネクタに接続します。

デスクトップコンピュータ

1	シャーシスロット（4）
2	スピーカータブ（4）
3	シャーシスピーカー

ミニタワーコンピュータ

1	シャーシスロット（4）
2	スピーカータブ（4）
3	シャーシスピーカー
4	シャーシスピーカーケーブル
5	シャーシスピーカーコネクタ

シャーシスピーカーの取り外し

1. システム基板からケーブルを取り外します。
2. レバーを押してスピーカーを外したら、スピーカーを CD ドライブの方にスライドして取り外します。

デスクトップコンピュータ

ミニタワーコンピュータ

目次ページに戻る

コンピュータカバーの取り付け

Dell™ OptiPlex™ 170L ユーザーズガイド

警告:『製品情報ガイド』に記載されている「安全にお使いいただくために」の注意事項に従い、この項の作業を始めてください。

1. すべてのケーブルがしっかりと接続され、ケーブルが邪魔にならない場所に束ねられているか確認します。
2. コンピュータの内部に工具や余った部品が残っていないか確認します。
3. スモールデスクトップコンピュータの場合、次の手順を実行します。
   a. カバーを下に回します。
   b. カバーの右側が閉じるまで下に押します。
   c. カバーの左側が閉じるまで下に押します。
   d. カバーの両側が閉じていることを確認します。閉じていない場合は、手順 b.を繰り返します。
4. ミニタワーコンピュータの場合、カバーをコンピュータの上に置き、カバーが完全に所定の位置に収まるまで、コンピュータの前面方向にスライドさせます。

注意:ネットワークケーブルを接続するには、まずケーブルを壁のネットワークジャックに差し込み、次に、コンピュータに差し込みます。

5. コンピュータおよびデバイスをコンセントに接続して、電源を入れます。

目次ページに戻る

目次ページに戻る

お使いのコンピュータに関する情報の検索

Dell™ OptiPlex™ 170L ユーザーズガイド

何をお探しですか ?	こちらをご覧ください
コンピュータの診断プログラム コンピュータのドライバ コンピュータのマニュアル デバイスのマニュアル Desktop System Software（DSS）（デスクトップシステムソフトウェア）	**『Drivers and Utilities CD』（『ResourceCD』とも呼ばれます）** マニュアルおよびドライバは、出荷時に、コンピュータにプリインストールされています。この CD は、ドライバの再インストール、Dell Diagnostics（診断）の実行、またはマニュアルにアクセスします。詳細については、「ドライバおよびユーティリティの再インストール」および「Dell Diagnostics（診断）プログラム」を参照してください。 CD に収録されている Readme ファイルは、マニュアルの作成後にシステムに追加された変更や、技術者や専門知識をお持ちのユーザーを対象とするテクニカルリファレンスなどが記載されています。 **メモ：**最新のドライバとマニュアルのアップデートに関しては、**support.dell.com** をご覧ください。 **メモ：**『Drivers and Utilities CD』はオプションなので、同梱されていないコンピュータもあります。
コンピュータのセットアップ方法 トラブルシューティングの情報 Dell Diagnostics（診断）プログラムの実行方法 エラーコードと診断ライト ツールとユーティリティ	**『Quick Reference Guide』（クイックリファレンスガイド）** **メモ：**『Quick Reference Guide』（クイックリファレンスガイド）はオプションなので、同梱されていないコンピュータもあります。
保証に関する情報 安全にお使いいただくために 認可機関の情報 快適な使い方 エンドユーザーライセンス契約	**Dell™『製品情報ガイド』**
オペレーティングシステムのアップデートとパッチ	**Desktop System Software（DSS）（デスクトップシステムソフトウェア）** DSS は、『Drivers and Utilities CD』内およびデルサポートウェブサイト上にあります。
エクスプレスサービスコードとサービスタグ Microsoft® Windows® ライセンスラベル	**サービスタグと Microsoft Windows ライセンス** ラベルはお使いのコンピュータの底部に貼られています。 ・**support.dell.com** をご利用の場合や、テクニカルサポートにお問い合わせになる場合には、サービスタグを使用してお使いのコンピュータを識別します。 ・テクニカルサポートに連絡する際にエクスプレスサービスコードを入力すると、通話が直接接続されます。
コンピュータ用のドライバ テクニカルサービスおよびサポートに関する質問の回答 コンピュータのマニュアル	**デルサポートウェブサイト — support.dell.com** デルサポートウェブサイトでは、以下のようなオンラインツールを提供しています。 ・技術情報 — トラブル解消ナビ、Q&A ・ダウンロード — ファイルライブラリ（ドライバ、ソフトウェアのアップデート） ・アップグレード — メモリ、ハードドライブ、オペレーティングシステムなどのコンポーネントのアップグレード情報 ・各種サービスのご案内 — サービスプラン、登録内容変更申込、リサイクル・買取サービス、引き取り修理状況確認など ・ダウンロード — ファイルライブラリ ・テクニカルサポートへのお問い合わせ — コンピュータのマニュアル、製品仕様、ホワイトペーパー
サービスコール状況とサポート履歴 コンピュータの重要テクニカル事項 お問い合わせの多い質問 ファイルのダウンロード コンピュータの詳細設定 コンピュータのサービス規約	**Dell Premier サポートウェブサイト — premiersupport.dell.com** Dell Premier サポートウェブサイトは、企業、政府および教育カスタマ用にカスタマイズされています。このサイトは一部の地域ではご利用できない場合があります。

• Windows XP の使い方 • コンピュータのマニュアル • モデムなどのデバイスのマニュアル	**Windows ヘルプとサポートセンター** 1. **スタート** ボタンをクリックして、**ヘルプとサポート** をクリックします。 2. 問題に関連する用語やフレーズを **検索** ボックスに入力して、矢印アイコンをクリックします。 3. 問題に関連するトピックをクリックします。 4. 画面の指示に従います。
• オペレーティングシステムの再インストール方法	**『オペレーティングシステム CD』** オペレーティングシステムは、コンピュータにプリインストールされています。オペレーティングシステムを再インストールする場合は、『オペレーティングシステム CD』を使用します。 オペレーティングシステムを再インストールした後、『Drivers and Utilities CD』を使用して、コンピュータに付属しているデバイス用のドライバを再インストールします。 オペレーティングシステムの Product Key(プロダクトキー)ラベルはコンピュータに貼られています。 **メモ:** CD の色はご注文になったオペレーティングシステムによって異なります。 **メモ:** オペレーティングシステムのメディアはオプションであり、同梱されていないコンピュータもあります。

目次ページに戻る

目次ページに戻る

用語集

Dell™ OptiPlex™ 170L システムユーザーズガイド

A B C D E F G H I K L M N P R S T U V W X Z あ か さ た な は ま や ら

この用語集に収録されている用語は、情報の目的として提供されています。お使いのコンピュータに搭載されている機能についての記載がない場合もあります。

A

AC — alternating current（交流）— コンピュータの AC アダプタ電源ケーブルをコンセントに差し込むと供給される電気の様式です。

ACPI — advanced configuration and power interface — Microsoft® Windows® オペレーティングシステムがコンピュータをスタンバイモードや休止状態モードにして、コンピュータに接続されているそれぞれのデバイスに供給される電力量を節約できる電源管理規格です。

AGP — accelerated graphics port — システムメモリをビデオ関連の処理に使用できるようにする専用のグラフィックスポートです。AGP を使うとビデオ回路とコンピュータメモリ間のインタフェースが高速化され、True-Color のスムーズなビデオイメージを伝送できます。

APR — advanced port replicator — ノートブックコンピュータでモニター、キーボード、マウス、およびその他のデバイスが使えるようになるドッキングデバイスです。

ASF — alert standards format — ハードウェアとソフトウェアの警告を報告する方式を管理コンソールに定義する標準です。ASF は、どのプラットフォームやオペレーティングシステムにも対応できるよう設計されています。

B

BIOS — basic input/output system（基本入出力システム）— コンピュータのハードウェアとオペレーティングシステム間のインタフェース機能を持つプログラム（またはユーティリティ）です。設定がコンピュータにどのような影響を与えるのか理解できていない場合、このプログラムの設定を変更しないでください。セットアップユーティリティとも呼ばれます。

Bluetooth™ — 短距離内（9 メートル）にある複数のネットワークデバイスが、お互いを自動的に認識できるようにするワイヤレステクノロジ標準です。

bps — ビット / 秒 — データの転送速度を計測する単位です。

BTU — British thermal unit（英国熱量単位）— 熱量の単位です。

C

C — セルシウス（摂氏）— 温度の単位で、水の氷点を 0 度、沸点を 100 度としています。

CD — compact disc（コンパクトディスク）— 光学形式のストレージメディアです。通常、音楽やソフトウェアプログラムに使用されます。

CD ドライブ — CD から、光学技術を使用してデータを読み取るドライブです。

CD プレーヤー — 音楽 CD を再生するソフトウェアです。CD プレーヤーのウィンドウに表示されるボタンを使用して CD を再生することができます。

CD-R — CD recordable — 書き込み可能な CD です。データは CD-R に 1 回のみ記録できます。一度記録されたデータは削除したり上書きできません。

CD-RW — CD rewritable — 書き換え可能な CD です。データを CD-RW ディスクに書き込んだ後、削除したり上書きできます（再書き込み）。

CD-RW ドライブ — CD のデータを読み取ったり、CD-RW（書き換え可能な CD）ディスクや CD-R（書き込み可能な CD）ディスクにデータを書き込むことができるドライブです。CD-RW ディスクには、繰り返し書き込むことが可能ですが、CD-R ディスクには一度しか書き込むことができません。

CD-RW / DVD ドライブ — 「コンボドライブ」とも呼ばれます。CD および DVD のデータを読み取ったり、CD-RW（書き換え可能な CD）ディスクや CD-R（書き込み可能な CD）ディスクにデータを書き込むことができるドライブです。CD-RW ディスクには、繰り返し書き込むことが可能ですが、CD-R ディスクには一度しか書き込むことができません。

COA — Certificate of Authenticity（実物証明書）— お使いのコンピュータのラベルに記載されている Windows の英数文字のコードです。オペレーティングシステムのセットアップや再インストールをおこなうのに COA が必要な場合があります。プロダクトキーやプロダクト IDとも呼ばれます。

CRIMM — continuity rambus in-line memory module（連続式 RIMM）— メモリチップの搭載されていない特殊なモジュールで、使用されていない RIMM スロットに装着するために使用されます。

D

DDR SDRAM — double-data-rate SDRAM（ダブルデータ速度 SDRAM）— データのバーストサイクルを 2 倍にする SDRAM の一種です。システム性能が向上します。

DIN コネクタ — 丸い、6 ピンのコネクタで、DIN（ドイツ工業規格）に準拠しています。通常は PS/2 キーボードやマウスケーブルのコネクタに使用されます。

DMA — direct memory access（ダイレクトメモリアクセス）— DMA チャネルを使うと、RAM とデバイス間でのデータ転送がプロセッサを介さずにおこなえるようになります。

DMTF — Distributed Management Task Force — 分散型デスクトップ、ネットワーク、企業、およびインターネット環境における管理基準を開発するハードウェアおよびソフトウェア会社の団体です。

DRAM — dynamic random-access memory（ダイナミックアクセスメモリ）— コンデンサを含む集積回路内に情報を保存するメモリです。

DSL — Digital Subscriber Line — アナログ電話回線を介して高速常時インターネット接続を提供するテクノロジです。

DVD — digital versatile disc — 通常は、映画を録画するために使われるディスクです。CD の場合は片面のみを使用しますが、DVD は両面を使用します。DVD ドライブはほとんどの CD を読み取ることができます。

DVD ドライブ — DVD および CD から、光学技術を使用してデータを読み取るドライブです。

DVD プレーヤー — DVD 映画を鑑賞するときに使用するソフトウェアです。DVD プレーヤーのウィンドウに表示されるボタンを使用して映画を鑑賞することができます。

DVD+RW — DVD rewritable — DVD の再書き込み可能なバージョンです。データを DVD+RW ディスクに書き込んだ後、削除したり上書きできます（再書き込み）。（DVD+RW テクノロジは DVD-RW テクノロジとは異なります。）

DVD+RW ドライブ — DVD とほとんどの CD メディアを読み取ることができるドライブです。DVD+RW（書き換え可能な DVD）ディスクに書き込むこともできます。

DVI — digital video interface（デジタルビデオインタフェース）— コンピュータとデジタルビデオディスプレイ間のデジタル転送用の標準です。DVI アダプタはコンピュータの内蔵グラフィックを利用して動作します。

E

ECC — error checking and correction（エラーチェックおよび訂正）— メモリにデータを書き込んだり、メモリからデータを読み取ったりするときに、データの正確さを検査する特別な回路を搭載しているメモリです。

ECP — extended capabilities port — 向上した双方向のデータ送信を提供するパラレルコネクタの仕様です。EPP に似ていて、ECPはデータ転送にダイレクトメモリアクセスを使用して性能を向上させます。

EIDE — enhanced integrated device electronics — ハードドライブと CD ドライブ用の IDE インタフェースの向上したバージョンです。

EMI — electromagnetic interference（電磁波障害）— 電磁放射線が原因でおこる電気障害です。

ENERGY STAR — Environmental Protection Agency（米国環境保護局）が規定する、総合的な省電力化を図るための基準です。

EPP — enhanced parallel port — 双方向のデータ送信を提供するパラレルコネクタの仕様です。

ESD — electrostatic discharge（静電気放電）— 静電気の急速な放電のことです。ESD は、コンピュータや通信機器に使われている集積回路を損傷することがあります。

F

Fahrenheit — ファーレンハイト（華氏）— 温度の単位で、水の氷点を 32 度、沸点を 212 度としています。

FCC — Federal Communications Commission（米国連邦通信委員会）— コンピュータやその他の電子機器が放出する放射線の量を規制する通信関連の条例を執行するアメリカの機関です。

FSB — front side bus（フロントサイドバス）— プロセッサと RAM 間のデータ経路と物理的なインタフェースです。

FTP — file transfer protocol（ファイル転送プロトコル）— インターネットに接続されているコンピュータ間でのファイルの交換に利用される標準のインターネットプロトコルです。

G

G — グラビティ — 重力の計測単位です。

GB — ギガバイト — データの単位です。1 GB は 1024 MB（1,073,741,824 バイト）です。ハードドライブの記憶領域容量を示す場合に、1,000,000,000 バイトに切り捨てられることもあります。

GHz — ギガヘルツ — 1 GHz は、1,000,000,000 Hz または 1,000 MHz です。通常、コンピュータのプロセッサ、バス、インタフェースの処理速度は GHz 単位で計測されます。

GUI — graphical user interface — メニュー、ウィンドウ、およびアイコンでユーザーとやり取りする対話型ソフトウェアです。Windows オペレーティングシステムで動作するほとんどのプログラムは GUI です。

H

HTML — hypertext markup language — インターネットブラウザ上で表示できるよう、インターネットのウェブページに挿入されるコードセットです。

HTTP — hypertext transfer protocol — インターネットに接続されているコンピュータ間でのファイル交換用プロトコルです。

Hz — ヘルツ — 周波数の単位です。1 秒間 1 サイクルで周波数 1 Hz です。コンピュータや電気デバイスでは、キロヘルツ（kHz）、メガヘルツ（MHz）、ギガヘルツ（GHz）、またはテラヘルツ（THz）単位で計測される場合もあります。

I

I/O — input/output(入出力)— コンピュータにデータを入力したり、コンピュータからデータを出力したりする動作、またはデバイスです。キーボードや、プリンタは I/O デバイスです。

I/O アドレス — 特定のデバイス(シリアルコネクタ、パラレルコネクタ、または拡張スロットなど)に関連付けられた RAM のアドレスで、プロセッサがデバイスと通信できるようにします。

IC — Industry Canada — 米国の FCC と同様、電子装置からの放射を規制するカナダの規制団体です。

IC — integrated circuit(集積回路)— コンピュータ、オーディオ、およびビデオ装置用に製造された、何百万もの極小電子コンポーネントが組み込まれている半導体ウェーハ、またはチップです。

IDE — integrated device electronics — ハードドライブまたは CD ドライブにコントローラが内蔵されている大容量ストレージデバイス用のインタフェースです。

IrDA — Infrared Data Association(赤外線通信協会)— 赤外線通信の国際規格を標準化する団体です。

IRQ — interrupt request(割り込み要求)— デバイスがプロセッサと通信できるように、特定のデバイスに割り当てられた電子的経路です。すべてのデバイス接続に IRQ を割り当てる必要があります。2 つのデバイスに同じ IRQ を割り当てることはできますが、両方のデバイスを同時に動作させることはできません。

ISP — Internet service provider(インターネットサービスプロバイダ)— ホストサーバーへのアクセスを可能にし、インターネットへの直接接続、E メールの送受信、およびウェブサイトへのアクセスなどのサービスを提供する会社です。ISP はソフトウェアのパッケージ、ユーザー名、およびアクセス用の電話番号を有料(月払い)で提供します。

K

Kb — キロビット — データの単位です。1 Kbは、1024 ビットです。メモリ集積回路の容量の単位です。

KB — キロバイト — データの単位です。1 KB は、1,024 バイトです。または、1,000 バイトとすることもあります。

kHz — キロヘルツ — 周波数の単位です。1 kHz は、1,000 Hz です。

L

LAN — local area network(ローカルエリアネットワーク)— 比較的狭い地域を対象とするコンピュータネットワークです。LAN は通常、1 棟の建物内や隣接する 2、3 棟の建物内に限定されます。LAN は電話回線や電波を使って他の離れた LAN と接続し、WAN(ワイドエリアネットワーク)を構成できます。

LCD — liquid crystal display(液晶ディスプレイ)— ノートブックコンピュータのディスプレイやフラットパネルのディスプレイに用いられる技術です。

LED — light-emitting diode(発光ダイオード)— コンピュータのステータスを示す光を発する電子コンポーネントです。

LPT — line print terminal — プリンタや他のパラレルデバイスへのパラレル接続をおこなうポートの名称です。

M

Mb — メガビット — メモリチップ容量の単位です。1 Mb は 1,024 Kb です。

MB — メガバイト — データストレージの単位です。1 MB は 1,048,576 バイトです。1 MB は 1,024 KB です。ハードドライブの記憶領域容量を示す場合に、1,000,000 バイトに切り捨てられることもあります。

MB/sec — メガバイト / 秒 — 1,000,000 バイト / 秒です。通常、データの転送速度の計測単位に使用します。

Mbps — メガビット / 秒 — 1,000,000 ビット / 秒です。通常、ネットワークやモデムなどのデータ転送速度の計測単位に使用します。

MHz — メガヘルツ — 周波数の単位です。1,000,000 サイクル / 秒です。通常、コンピュータのプロセッサ、バス、インタフェースの処理速度は MHz 単位で計測されます。

ms — ミリ秒 — 1,000 分の 1 秒に相当する時間の単位です。ストレージデバイスなどのアクセス速度の計測に使用します。

N

NIC — 「ネットワークアダプタ」を参照してください。

ns — ナノ秒 — 10 億分の 1 秒に相当する時間の単位です。

NVRAM — nonvolatile random access memory(不揮発性ランダムアクセスメモリ)— コンピュータの電源が切られたり、外部電源が停止した場合にデータを保存するメモリの一種です。NVRAM は、日付、時刻、およびお客様が設定できるその他のセットアップオプションなどのコンピュータ設定情報を保持するのに利用されます。

P

PC カード — PCMCIA 規格に準拠している取り外し可能な I/O カードです。PC カードの一般的なものに、モデムやネットワークアダプタがあります。

PCI — peripheral component interconnect — PCI は、32 ビットおよび 64 ビットのデータパスをサポートするローカルバスで、プロセッサとビデオ、各種ドライブ、ネットワークなどのデバイス

間に高速データ経路を提供します。

PCMCIA — Personal Computer Memory Card International Association — PC カードの規格を協議している国際的組織です。

PIN — personal identification number（個人識別番号）— コンピュータネットワークやその他の安全が保護されているシステムへの不正なアクセスを防ぐために使用される一連の数字や文字です。

PIO — programmed input/output（プログラム入出力）— データパスの一部にプロセッサを経由した 2 つのデバイス間のデータ転送方法です。

POST — power-on self-test（電源投入時の自己テスト）— BIOS が自動的にロードする診断プログラムです。メモリ、ハードドライブ、およびビデオなどのコンピュータの主要コンポーネントに基本的なテストを実行します。POST で問題が検出されなかった場合、コンピュータは起動を続行します。

PS/2 — personal system/2 — PS/2 互換キーボード、マウス、またはキーパッドを接続するコネクタの一種です。

PXE — pre-boot execution environment — WfM（Wired for Management）標準で、オペレーティングシステムがないネットワークコンピュータを設定し、リモートで起動できるようにします。

R

RAID — redundant array of independent disks — データの冗長性を提供する方式です。RAID の実装レベルには、RAID 0、RAID 1、RAID 5、RAID 10、および RAID 50 などがあります。

RAM — random-access memory（ランダムアクセスメモリ）— プログラムの命令やデータを保存するコンピュータの主要な一時記憶領域です。RAM に保存されている情報は、コンピュータをシャットダウンすると失われます。

readme ファイル — ソフトウェアのパッケージまたはハードウェア製品に添付されているテキストファイルです。通常、readme ファイルには、インストール手順、新しく付け加えられた機能の説明、マニュアルに記載されていない修正などが記載されています。

RFI — radio frequency interference（無線電波障害）— 10 kHz から 100,000 MHz までの範囲の通常の無線周波数で発生する障害です。無線周波は電磁周波数帯域の低域に属し、赤外線や光などの高周波よりも障害を起こしやすい傾向があります。

ROM — read-only memory（読み取り専用メモリ）— コンピュータが削除したり書き込みできないデータやプログラムを保存するメモリです。RAM と異なり、ROM はコンピュータの電源が切れても内容を保持します。コンピュータの動作に不可欠のプログラムで ROM に常駐しているものがいくつかあります。

RPM — revolutions per minute — 1 分間に発生する回転数です。ハードドライブ速度の計測に使用します。

RTC — real time clock（リアルタイムクロック）— システム基板上にあるバッテリーで動く時計で、コンピュータの電源を切った後も、日付と時刻を保持します。

RTCRST — real-time clock reset（リアルタイムクロックリセット）— 一部のコンピュータにあるシステム基板上のジャンパで、トラブルシューティングに利用できます。

S

S ビデオ TV 出力 — テレビまたはデジタルオーディオデバイスをコンピュータに接続するために使われるコネクタです。

S/PDIF — Sony/Philips Digital Interface — ファイルの質が低下する可能性があるアナログ形式に変換せずに、1 つのファイルから別のファイルにオーディオを転送できるオーディオ転送用ファイルフォーマットです。

SDRAM — synchronous dynamic random-access memory（同期ダイナミックランダムアクセスメモリ）— DRAM の一種で、プロセッサの最適クロック速度と同期化されています。

SVGA — super-video graphics array — ビデオカードとコントローラ用のビデオ標準規格です。SVGA の通常の解像度は 800 × 600 および 1024 × 768 です。プログラムが表示する色数と解像度は、モニター、ビデオコントローラとドライバ、およびコンピュータに取り付けられているビデオメモリの容量によって異なります。

SXGA — super-extended graphics array — 1280 × 1024 までの解像度をサポートするビデオカードやコントローラのビデオ標準です。

SXGA+ — super-extended graphics array plus — 1400 × 1050 までの解像度をサポートするビデオカードやコントローラのビデオ標準です。

T

TAPI — telephony application programming interface — 音声、データ、ファックス、ビデオなどの各種テレフォニーデバイスが Windows のプログラムで使用できるようになります。

U

UPS — uninterruptible power supply（無停電電源装置）— 電気的な障害が起きた場合や、電圧レベルが低下した場合に使用されるバックアップ電源です。UPS を設置すると、電源が切れた場合でも限られた時間はコンピュータが稼動します。通常、UPS システムは、過電流を抑え電圧を調整します。小型の UPS システムで数分間バッテリー電力を供給しますので、コンピュータを正しくシャットダウンすることが可能です。

USB — universal serial bus（ユニバーサルシリアルバス）— USB 互換キーボード、マウス、ジョイスティック、スキャナー、スピーカー、プリンタ、ブロードバンドデバイス（DSL およびケーブルモデム）、撮像装置、またはストレージデバイスなどの低速デバイス用ハードウェアインタフェースです。コンピュータの 4 ピンソケットかコンピュータに接続されたマルチポートハブに直接デバイスを接続します。USB デバイスは、コンピュータの電源が入っていても接続したり取り外すことができます。また、デージーチェーン型に接続することもできます。

UTP — unshielded twisted pair（シールドなしツイストペア）— 大半の電話回線利用のネットワークやその他の一部のネットワークで利用されているケーブルの種類です。電磁波障害から保護するためにワイヤのペアに金属製の被覆をほどこす代わりに、シールドなしのワイヤのペアがよられています。

UXGA — ultra extended graphics array — 1600 × 1200 までの解像度をサポートするビデオカードやコントローラのビデオ標準です。

V

V — ボルト — 電位または起電力の計測単位です。1 ボルトは、1 アンペアの電流を通ずる抵抗 1 オームの導線の両端の電位の差です。

W

W — ワット — 電力の計測単位です。1 ワットは 1 ボルトで流れる 1 アンペアの電流を指します。

WHr — watt-hour（ワット時）— おおよそのバッテリー容量を示すのに通常利用される計測単位。たとえば、66 WHr のバッテリーは 66 W の電力を 1 時間、33 W を 2 時間供給できます。

X

XGA — extended graphics array — 1024 × 768 までの解像度をサポートするビデオカードやコントローラのビデオ標準です。

Z

ZIF — zero insertion force — コンピュータチップ、またはソケットのどちらにもまったく力を加えないで、チップを取り付けまたは取り外しできるソケットやコネクタの一種です。

Zip — 一般的なデータの圧縮フォーマットです。Zip フォーマットで圧縮されているファイルを Zip ファイルといい、通常、ファイル名の拡張子は **.zip** となります。特別な Zip ファイルに自己解凍型ファイルがあり、ファイル名の拡張子は **.exe** となります。自己解凍型ファイルは、ファイルをダブルクリックするだけで自動的に解凍できます。

Zip ドライブ — Iomega Corporation によって開発された大容量のフロッピードライブで、「Zip ディスク」と呼ばれる 3.5 インチのリムーバブルディスクを使用します。Zip ディスクは標準のフロッピーディスクよりもやや大きく約二倍の厚みがあり、100 MB のデータを保持できます。

あ

アンチウイルスソフトウェア — お使いのコンピュータからウイルスを見つけ出して隔離し、検疫して、除去するように設計されたプログラムです。

ウイルス — 嫌がらせ、またはコンピュータのデータを破壊する目的で作られたプログラムです。ウイルスプログラムは、ウイルス感染したディスク、インターネットからダウンロードしたソフトウェア、または E メールの添付ファイルを経由してコンピュータからまた別のコンピュータへ感染します。ウイルス感染したプログラムを起動すると、プログラムに潜伏したウイルスも起動します。

一般的なウイルスに、フロッピーディスクのブートセクターに潜伏するブートウイルスがあります。フロッピーディスクを挿入したままコンピュータをシャットダウンすると、次回の起動時に、コンピュータはオペレーティングシステムを探すためフロッピーディスクのブートセクタにアクセスします。このアクセスでコンピュータがウイルスに感染します。一度コンピュータがウイルスに感染すると、ブートウイルスは除去されるまで、読み書きされるすべてのフロッピーディスクにウイルスをコピーします。

エクスプレスサービスコード — Dell™ コンピュータのラベルに付いている数字のコードです。デルテクニカルサポートにお問い合わせになる際に、エクスプレスサービスコードを使用します。エクスプレスサービスコードが利用できない国もあります。

オプティカルドライブ — CD、DVD または DVD+RW から、光学技術を使用してデータを読み書きするドライブです。オプティカルドライブには、CD ドライブ、DVD ドライブ、CD-RW ドライブ、および CD-RW/DVD コンボドライブが含まれます。

か

カーソル — キーボード、タッチパッドまたはマウスが次にどこで動作するかを示すディスプレイや画面上の目印です。通常は点滅する棒線かアンダーライン、または小さな矢印で表示されます。

解像度 — プリンタに印刷される、またはモニターに表示される画像がどのくらい鮮明かという度合いです。解像度が高いほど、画像は鮮明になります。

書き込み保護 — ファイルやメディアに、データの内容を変更不可に設定することです。書き込み保護を設定してデータを変更、または破壊されることのないようにデータを保護します。3.5 インチのフロッピーディスクに書き込み保護を設定するには、書き込み保護設定タブをスライドさせて書き込み不可の位置にします。

拡張カード — コンピュータのシステム基板上の拡張スロットに装着する電子回路基板で、コンピュータの性能を向上します。拡張カードの例には、ビデオ、モデム、およびサウンドカードなどがあります。

拡張型 PC カード — 拡張型 PC カードは、取り付けた時に PC カードスロットからカードの端が突き出しています。

拡張スロット — 拡張カードを挿入して、システムに接続するシステム基板上のコネクタです。

拡張ディスプレイモード — お使いのディスプレイの拡張として、2 台目のモニターを使えるようにするディスプレイの設定です。デュアルディスプレイモードとも呼ばれます。

壁紙 — Windows デスクトップの背景となる模様や絵柄です。壁紙を変更するには Windows コントロールパネルから変更します。また、気に入った絵柄を読み込んで壁紙を作成することもできます。

キーの組み合わせ — 同時に複数のキーを押してコンピュータを操作します。

起動 CD — コンピュータを起動するのに使用する CD です。ハードドライブが損傷した場合や、コンピュータがウイルスに感染した場合など、起動 CD または起動ディスクが必要になりますので、常備しておきます。『Drivers and Utilities CD』または『ResourceCD』が起動 CD です。

起動順序 — コンピュータが起動を試みるデバイスの順序を指定します。

起動ディスク — コンピュータを起動するのに使用するディスクです。ハードドライブが損傷した場合や、コンピュータがウイルスに感染した場合など、起動 CD または起動ディスクが必要になりますので、常備しておきます。

キャッシュ — 特殊な高速ストレージ機構で、メインメモリの予約領域、または独立した高速ストレージデバイスです。キャッシュは、プロセッサのオペレーションスピードを向上させます。

L1 キャッシュ — プロセッサ内に搭載されているプライマリキャッシュ。

L2 キャッシュ — プロセッサの外部にあるか、またはプロセッサアーキテクチャに統合されているセカンドキャッシュ。

休止状態モード — メモリ内のすべてをハードドライブ上の予約領域に保存してからコンピュータの電源を切る省電力モードです。コンピュータを再起動すると、ハードドライブに保存されているメモリ情報が自動的に復元されます。

グラフィックモード — *x* 水平ピクセル数 × *y* 垂直ピクセル数 × *z* 色数で表されるビデオモードです。グラフィックモードはどんな形やフォントも表現できます。

クロック速度 — システムバスに接続されているコンピュータコンポーネントがどのくらいの速さで動作するかを示す、MHz で示される速度です。

国際通行許可書 — 物品を外国に一時的に持ち込むことを許可する国際通関用文書です。商品パスポートとも呼ばれます。

コントローラ — プロセッサとメモリ間、またはプロセッサとデバイス間のデータ転送を制御するチップです。

コントロールパネル — 画面設定などのオペレーティングシステムやハードウェアの設定を変更するための Windows ユーティリティです。

さ

サージプロテクタ — 雷雨時に発生する電圧スパイクがコンセントを介してコンピュータに侵入するのを防ぎます。サージプロテクタは、落雷や通常の AC ライン電圧レベルが 20 % 以上低下する電圧変動で起こる停電からはコンピュータを保護することはできません。

ネットワーク接続はサージプロテクタでは保護されません。雷雨時は、必ずネットワークケーブルをネットワークコネクタから外してください。

サービスタグ — コンピュータに貼ってあるバーコードラベルのことです。デルサポートの **support.dell.com** にアクセスしたり、デルのカスタマーサービスやテクニカルサポートに電話でお問い合わせになる場合に必要な識別番号が書いてあります。

システム基板 — コンピュータに搭載されている主要回路基板です。マザーボードとも呼ばれます。

システムトレイ —「通知領域」を参照してください。

シャットダウン — ウィンドウを閉じてプログラムを終了し、オペレーティングシステムを終了して、コンピュータの電源を切るプロセスです。シャットダウンが完了する前にコンピュータの電源を切ると、データを損失する恐れがあります。

ショートカット — 頻繁に使用するプログラム、ファイル、フォルダ、およびドライブにすばやくアクセスできるようにするアイコンです。ショートカットを Windows デスクトップ上に作成し、ショートカットアイコンをダブルクリックすると、それに対応するフォルダやファイルを検索せずに開くことができます。ショートカットアイコンは、ファイルが置かれている場所を変更するわけではありません。ショートカットを削除しても、元のファイルには何の影響もありません。また、ショートカットのアイコン名を変更することもできます。

シリアルコネクタ — I/O ポートは、ハンドヘルドデジタルデバイスやデジタルカメラなどのデバイスをコンピュータに接続するためによく使用されます。

スキャンディスク — ファイル、フォルダ、およびハードドライブのエラーをチェックする Microsoft のユーティリティです。コンピュータの反応が止まって、コンピュータを再起動したときにスキャンディスクが実行されることがあります。

スタンバイモード — コンピュータの不必要な動作をシャットダウンして節電する省電力モードです。

スマートカード — プロセッサとメモリチップに内蔵されているカードです。スマートカードは、スマートカード搭載のコンピュータでのユーザー認証に利用できます。

赤外線センサー — ケーブルを接続しなくても、コンピュータと IR 互換デバイス間のデータ転送ができるポートです。

セットアッププログラム — ハードウェアやソフトウェアをインストールしたり設定するのに使うプログラムです。**setup.exe** または **install.exe** プログラムが Windows 用ソフトウェアに付属しています。セットアッププログラムはセットアップユーティリティとは異なります。

セットアップユーティリティ — コンピュータのハードウェアとオペレーティングシステム間のインタフェース機能を持つユーティリティです。セットアップユーティリティは BIOS で日時やシステムパスワードなどのようなユーザーが選択可能なオプションの設定ができます。設定がコンピュータにどのような影響を与えるのか理解できていない場合、このプログラムの設定を変更しないでください。

ソフトウェア — コンピュータファイルやプログラムなど、電子的に保存できるものすべてを指します。

た

通知領域 — コンピュータの時計、音量調節、およびプリンタの状況など、プログラムやコンピュータの機能にすばやくアクセスできるアイコンが表示されている Windows タスクバーの領域です。システムトレイとも呼ばれます。

ディスクストライピング — 複数のディスクドライブにまたがってデータを分散させる技術です。ディスクストライピングは、ディスクストレージからデータを取り出す動作を高速化します。通常、ディスクストライピングを利用しているコンピュータではユーザーがデータユニットサイズまたはストライプ幅を選ぶことができます。

テキストエディタ — たとえば、Windows のメモ帳など、テキストファイルを作成、および編集するためのアプリケーションプログラムです。テキストエディタには通常、ワードラップやフォーマット（アンダーラインのオプションやフォントの変換など）の機能はありません。

デバイス — コンピュータ内部に取り付けられているか、またはコンピュータに接続されているディスクドライブ、プリンタ、キーボードなどのハードウェアです。

デバイスドライバ —「ドライバ」を参照してください。

デュアルディスプレイモード — お使いのディスプレイの拡張として、2 台目のモニターを使えるようにするディスプレイの設定です。拡張ディスプレイモードとも呼ばれます。

ドッキングデバイス —「APR」を参照してください。

ドメイン — ネットワーク上のコンピュータ、プログラム、およびデバイスのグループで、特定のユーザーグループによって使用される共通のルールと手順のある単位として管理されます。ユーザーは、ドメインにログオンしてリソースへのアクセスを取得します。

ドライバ — プリンタなどのデバイスが、オペレーティングシステムに制御されるようにするためのソフトウェアです。多くのデバイスは、コンピュータに正しいドライバがインストールされてないと、正常に動作しません。

トラベルモジュール — ノートブックコンピュータの重量を減らすために、モジュールベイの中に設置できるよう設計されているプラスチック製のデバイスです。

な

内蔵 — 通常、コンピュータのシステム基板上に物理的に搭載されているコンポーネントを指します。ビルトインとも呼ばれます。

ネットワークアダプタ — ネットワーク機能を提供するチップです。コンピュータのシステム基板にネットワークアダプタが内蔵されていたり、アダプタが内蔵されている PC カードもあります。ネットワークアダプタは、NIC（ネットワークインタフェースコントローラ）とも呼ばれます。

は

パーティション — ハードドライブ上の物理ストレージ領域です。1 つ以上の論理ストレージ領域（論理ドライブ）に割り当てられます。各パーティションは複数の論理ドライブを持つことができます。

ハードドライブ — ハードディスクのデータを読み書きするドライブです。ハードドライブとハードディスクは同じ意味としてどちらかが使われています。

バイト — コンピュータで使われる基本的なデータ単位です。1 バイトは 8 ビットです。

バス — コンピュータのコンポーネント間で情報を通信する経路です。

バス速度 — バスがどのくらいの速さで情報を転送できるかを示す、MHz で示される速度です。

バックアップ — フロッピーディスク、CD、またはハードドライブなどにプログラムやデータをコピーすることをバックアップといいます。不測の事態に備えて、定期的にハードドライブをバックアップすることをお勧めします。

バッテリー — ノートブックコンピュータが AC アダプタおよびコンセントに接続されていない場合に、コンピュータを動作させるために使われる内蔵の電源です。

バッテリー動作時間 — ノートブックコンピュータのバッテリーがコンピュータに電源を供給する間、充電量を維持できる時間（分または時間数）です。

バッテリーの寿命 — ノートブックコンピュータのバッテリーが、消耗と再充電を繰り返すことのできる期間（年数）です。

パラレルコネクタ — I/O ポートは、コンピュータにパラレルプリンタを接続する場合などに使用されます。LPT ポートとも呼ばれます。

ヒートシンク — 放熱の役目をするプロセッサに付属する金属板です。

ピクセル — ディスプレイ画面の各点を表す要素です。ピクセルが縦と横に並び、イメージを作ります。ビデオの解像度（800 × 600 など）は、上下左右に並ぶピクセルの数で表します。

ビット — コンピュータが認識するデータの最小単位です。

ビデオ解像度 —「解像度」を参照してください。

ビデオコントローラ — お使いのコンピュータに（モニターとの組み合わせにおいて）ビデオ機能を提供する、ビデオカードまたは（内蔵ビデオコントローラ搭載のコンピュータの）システム基板の回路です。

ビデオメモリ — ビデオ機能専用のメモリチップで構成されるメモリです。通常、ビデオメモリはシステムメモリよりも高速です。取り付けられているビデオメモリの量は、主にプログラムが表示できる色数に影響を与えます。

ビデオモード — テキストやグラフィックをモニターに表示する際のモードです。グラフィックをベースにしたソフトウェア（Windows オペレーティングシステムなど）は、*x* 水平ピクセル数 × *y* 垂直ピクセル数 × *z* 色数で表されるビデオモードで表示されます。文字をベースにしたソフトウェア（テキストエディタなど）は、*x* 列 × *y* 行の文字数で表されるビデオモードで表示されます。

フォーマット — ファイルを保存するためにドライブやディスクを準備することです。ドライブまたはディスクをフォーマットするとデータはすべて消失します。

フォルダ — ディスクやドライブ上のファイルを整頓したりグループ化する入れ物です。フォルダ中のファイルは、名前や日付やサイズなどの順番で表示できます。

プラグアンドプレイ — コンピュータがデバイスを自動的に設定できる機能です。BIOS、オペレーティングシステム、およびすべてのデバイスがプラグアンドプレイ対応の場合、プラグアンドプレイは、自動インストール、設定、既存のハードウェアとの互換性を提供します。

プログラム — 表計算ソフト、ワープロソフト、データベースソフト、ゲームソフトなどデータ処理をするソフトウェアです。これらのプログラムは、オペレーティングシステムの実行を必要とします。

プロセッサ — コンピュータ内部で中心的に演算をおこなうチップです。プロセッサは、「CPU」（中央演算処理装置）とも呼ばれます。

フロッピードライブ — フロッピーディスクにデータを読み書きできるディスクドライブです。

ヘルプファイル — 製品の説明や各種手順を記したファイルです。ヘルプファイルの中には、Microsoft Word のヘルプのように特定のプログラムに適用されるものがあります。他にも単独で参照できるヘルプファイルもあります。通常、ヘルプファイルの拡張子は、**.hlp** または **.chm** です。

ま

マウス — 画面上のカーソルを移動させるポインティングデバイスです。通常は、マウスを硬くて平らな面で動かし、画面上のカーソルやポインタを移動します。

メモリ — コンピュータ内部にある、一時的にデータを保存する領域です。メモリにあるデータは一時的に格納されているだけですので、作業中は時々ファイルを保存するようお勧めします。また、コンピュータをシャットダウンする時もファイルを保存してください。コンピュータのメモリには、RAM、ROM およびビデオメモリなど何種類かあります。通常、メモリというと RAM メモリを指します。

メモリアドレス — データを一時的に RAM に保存する特定の場所です。

メモリマッピング — スタートアップ時に、コンピュータが物理的な場所にメモリアドレスを割り当てる処理です。デバイスとソフトウェアが、プロセッサがアクセスできる情報を識別できるようになります。

メモリモジュール — システム基板に接続されている、メモリチップを搭載した小型回路基板です。

モジュールベイ — オプティカルドライブ、セカンドバッテリー、または Dell TravelLite™ モジュールなどのようなデバイスをサポートするベイです。

モデム — アナログ電話回線を介して他のコンピュータと通信するためのデバイスです。モデムには、外付けモデム、PC カード、および内蔵モデムの 3 種類があります。通常、モデムはインターネットへの接続や E メールの送受信に使用されます。

モニター — 高解像度のテレビのようなデバイスで、コンピュータの出力を表示します。

や

読み取り専用 — 表示することはできますが、編集したり削除したりすることができないデータやファイルです。次のような場合にファイルを読み取り専用に設定できます。

- フロッピーディスク、CD、または DVD を書き込み保護にしている場合
- ファイルがネットワーク上のディレクトリにあり、システム管理者がアクセス権限に特定の個人だけを許可している場合

ら

リフレッシュレート — 画面上のビデオイメージが再描画される周波数です。単位は Hz で、この周波数で画面の水平走査線が再描画されます（垂直周波数とも呼ばれます）。人の目には、リフレッシュレートが高いほど、ビデオのちらつきが少なくなります。

ローカルバス — デバイスにプロセッサへの高速スループットを提供するデータバスです。

目次ページに戻る

[目次ページに戻る]

困ったときは

Dell™ OptiPlex™ 170L ユーザーズガイド

テクニカルサポート

技術上の問題のサポートを受けなければならないときは、次の手順に従ってください。

警告：コンピュータカバーを取り外す必要がある場合、まずすべてのコンセントからコンピュータの電源ケーブルとモデムケーブルを取り外します。

1. 「問題の解決」の手順を完了します。
2. Dell Diagnostics（診断）プログラムを実行します。
3. Diagnostics（診断）チェックリストを印刷して、それに記入します。
4. インストールとトラブルシューティングの手順に関しては、デルサポート（**support.dell.com**）をご覧ください。
5. これまでの手順で問題が解決されない場合は、デルテクニカルサポートにお問い合わせください。

メモ：デルへお問い合わせになるときは、できればコンピュータの電源を入れて、コンピュータの近くから電話をおかけください。テクニカルサポート担当者がコンピュータでの操作をお願いすることがあります。

メモ：デルエクスプレスサービスコードシステムをご利用できない国もあります。

デルのオートテレフォンシステムの指示に従って、エクスプレスサービスコードを入力すると、電話は適切なサポート担当者に転送されます。エクスプレスサービスコード（8 桁から 11 桁までの全桁数字のみの番号）は、コンピュータの前面、背面、または側面に貼られているシールに、サービスタグナンバー（5 桁もしくは 7 桁までの英数字混合の番号）と共に記載されています（コンピュータの正面パネルの内側に貼られている機種もあります）。

テクニカルサポートサービスの利用方法については、「テクニカルサポートサービス」を参照してください。

メモ：これらのサービスは必ずしもアメリカ本土以外でご利用できるとは限りません。サービスに関する情報は、お近くのデル担当者へお問い合わせください。

オンラインサービス

デルサポートへは、**support.dell.com** でアクセスすることができます。**サポートサイトへようこそ** ページから、サポートツール、情報などをお選びください。

インターネット上でのデルへのアクセスは、次のアドレスをご利用ください。

- World Wide Web

  www.dell.com

  www.dell.com/ap/（アジア / 太平洋諸国のみ）

  www.dell.com/jp（日本）

www.euro.dell.com.（ヨーロッパのみ）

www.dell.com / la /（ラテンアメリカ諸国のみ）

www.dell.ca（カナダのみ）

- Anonymous FTP

ftp.dell.com /

匿名ユーザーとしてログインしてください。パスワードには E メールアドレスを入力してください。

- 電子サポートサービス

mobile_support@us.dell.com

support@us.dell.com

apsupport@dell.com（アジア / 太平洋諸国のみ）

support.jp.dell.com（日本）

www.euro.dell.com（ヨーロッパのみ）

- 電子見積もりサービス

sales@dell.com

apmarketing@dell.com（アジア / 太平洋諸国のみ）

sales_canada@dell.com（カナダのみ）

- 電子情報サービス

info@dell.com

ファックス情報サービス

ファックス情報サービスは、フリーダイヤルでファクシミリを使用して技術情報を提供するサービスです。

プッシュホン式の電話から必要なトピックを選択します。

テクニカル情報が指定したファックス番号宛に送信されます。ファックス情報サービスは、テクニカルサポートサービスからもご利用いただけます。ファックス情報サービスの電話番号については、「デルへのお問い合わせ」を参照してください。

24 時間納期案内電話サービス

注文したデル製品の状況を確認するには、**support.dell.com** にアクセスするか、または、24 時間納期案内電話サービスにお問い合わせください。注文したデル製品の状況を確認することができます。24 時間納期案内電話サービスの電話番号については、「デルへのお問い合わせ」を参照してください。

テクニカルサポートサービス

デル製品に関するお問い合わせは、デルテクニカルサポートをご利用ください。テクニカルサポートに電話をおかけになると、サポートスタッフがお問い合わせ内容の確認のために、ご使用のシステムの詳細をお聞きすることがあります。サポートスタッフはその情報を元に、正確な回答を迅速に提供します。

デルテクニカルサポートサービスにお問い合わせになるには、「テクニカルサポート」を参照し、「デルへのお問い合わせ」に記載の番号に連絡してください。

ご注文に関する問題

欠損品、誤った部品、間違った請求書などの注文に関する問題があれば、デルカスタマーケアにご連絡ください。お電話の際は、納品書または出荷伝票をご用意ください。デルカスタマーケアの電話番号については、「デルへのお問い合わせ」を参照してください。

製品情報

デルが提供しているその他の製品に関する情報が必要な場合や、ご購入される場合は、デルウェブサイト **www.dell.com** をご覧ください。製品情報の電話番号は、「デルへのお問い合わせ」を参照してください。

保証期間中の修理と返品について

コンピュータに付属している冊子を参照してください。

1. はじめにデルの営業担当者にご連絡ください。デルから製品返送用の RMA ナンバー（返却番号）をお知らせいたしますので梱包する箱の外側にはっきりとよくわかるように書き込んでください。

   デル営業担当者の電話番号については、「デルへのお問い合わせ」を参照してください。

2. 納品書のコピーと返品理由を記入した書面を同梱してください。
3. 実行したテストとDell診断プログラムから出力されたエラーメッセージを記入した診断チェックリストのコピーを同梱してください。
4. 電源コード、ソフトウェアフロッピーディスク、マニュアルなどの付属品も全て同梱してください。
5. 返却品一式を出荷時のシステム梱包箱か同等の箱に梱包してください。

返品費用はお客様のご負担でお願いいたします。また、運送中の破損、紛失、盗難などについてデルでは一切責任を負いかねますので、予めご了承ください。着払いの荷物は受領できませんので、予めご了承ください。

以上の条件が満たされていない場合は、そのままお客様へ返送させていただくことがあります。

お問い合わせになる前に

メモ: キーボードからコマンドを入力したり、操作時に詳細情報を説明したり、コンピュータ自体でのみ可能な他のトラブルシューティング手順を試してみるようにお願いする場合があります。システムのマニュアルがあることを確認してください。

必ず Diagnostics（診断）チェックリストに記入してください。デルへお問い合わせになるときは、できればコンピュータの電源を入れて、コンピュータの近くから電話をおかけください。キーボードからコマンドを入力したり、操作時に詳細情報を説明したり、コンピュータ自体でのみ可能な他のトラブルシューティング手順を試してみるようにお願いする場合があります。システムのマニュアルがあることを確

認してください。

⚠ **警告：コンピュータ内部の作業を始める前に、『製品情報ガイド』に記載されている「安全にお使いいただくために」の注意事項を参照してください。**

Diagnostics（診断）チェックリスト
名前：
日付：
住所：
電話番号：
サービスタグ（コンピュータ背面のバーコード）：
エクスプレスサービスコード：
返品番号（デルサポート担当者から提供された場合）：
オペレーティングシステムとバージョン：
周辺機器：
拡張カード：
ネットワークに接続されていますか?はい・いいえ
ネットワーク、バージョン、ネットワークアダプタ：
プログラムとバージョン：
システムのスタートアップファイルの内容を確認するときは、オペレーティングシステムのマニュアルを参照してください。コンピュータにプリンタを接続している場合、各ファイルを印刷します。印刷できない場合、各ファイルの内容を記録してからデルにお問い合わせください。
エラーメッセージ、ビープコード、または Diagnostics（診断）コード：
問題点の説明と実行したトラブルシューティング手順：

デルへのお問い合わせ

インターネット上でのデルへのアクセスは、次のアドレスをご利用ください。

- **www.dell.com**
- **support.dell.com**（テクニカルサポート）
- 注意：フリーダイヤルは、サービスを提供している国内でのみご利用になれます。

デルへお問い合わせになる場合、以下の表の電子アドレス、電話番号、およびコードをご利用ください。

メモ： フリーダイヤル番号は、その番号が記載されている国でのみ使用できます。

デルへお問い合わせになるときは、各国のデルの電話番号、E-メールアドレスをまとめた次の表を参照してください。どのコードを選択するかは、どこから電話をかけるか、また受信先によっても異なります。さらに、国によって国際電話のかけ方も変わってきます。国際電話のかけ方については、国内または国際電話会社にお問い合わせください。

国（都市） 国際電話アクセスコード 国番号 市外局番	**部署名またはサービス内容 ウェブサイトおよび E メールアドレス**	**市外局番 市内番号または フリーダイヤル**
日本（川崎） 国際電話アクセスコード：**001** 国番号：**81** 市外局番：**44**	ウェブサイト：**support.jp.dell.com**	
	テクニカルサポート（Dell Precision、OptiPlex、Latitude）	フリーダイヤル：0120-198-433
	テクニカルサポート（海外から）（Dell Precision、OptiPlex、Latitude）	81-44-556-3894
	ファックス情報サービス	044-556-3490
	24 時間納期案内電話サービス	044-556-3801
	カスタマーケア	044-556-4240
	ビジネスセールス本部（従業員数 400 人未満の企業のお客様）	044-556-1465
	法人営業本部（従業員数 400 人以上の企業のお客様）	044-556-3433
	エンタープライズ営業本部（従業員数 3500 人以上の企業のお客様）	044-556-3430
	パブリック営業部（官公庁 / 研究・教育機関 / 医療機関のお客様）	044-556-1469
	グローバル営業本部	044-556-3469
	個人のお客様	044-556-1760
	代表電話番号	044-556-4300

[目次ページに戻る]

I/O パネル

Dell™ OptiPlex™ 170L ユーザーズガイド

警告：『製品情報ガイド』に記載されている「安全にお使いいただくために」の注意事項に従い、この項の作業を始めてください。

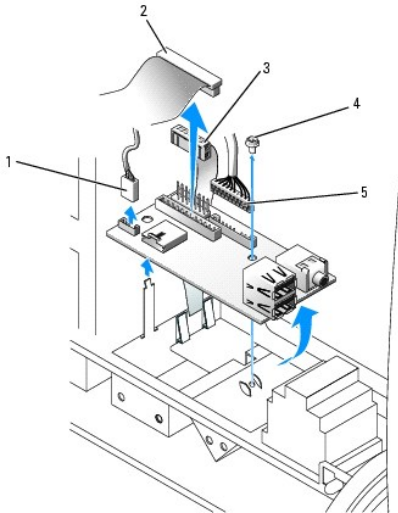
注意：ESD による損傷を防ぐため、静電気防止用リストバンドを使用するか、コンピュータの塗装されていない金属面（背面パネル等）に定期的に触れて、身体の静電気を逃がしてください。

注意：コンピュータからデバイスを取り外す前、またはシステム基板からコンポーネントを取り外す前に、システム基板のスタンバイ電源ライトがオフになっていることを確認してください。このライトの位置は、「システム基板のコンポーネント」を参照してください。

スモールデスクトップコンピュータ

I/O パネルの取り付け

1. 「はじめに」の手順に従います。
2. ハードドライブのデータケーブルを取り外します。
3. I/O パネルに接続されているすべてのケーブルを取り外します。

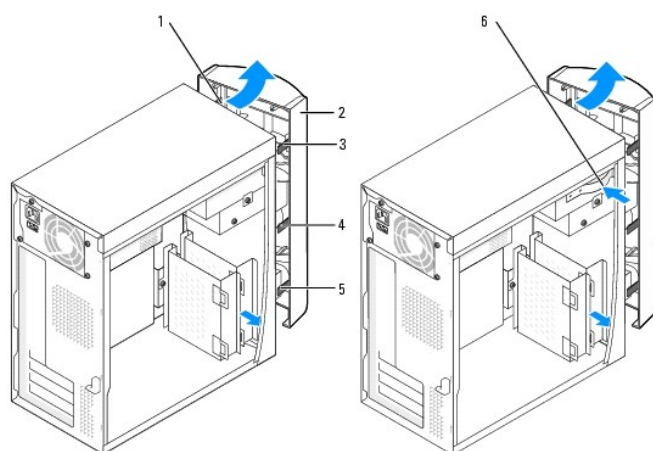
コンピュータからコントロールパネルケーブルを取り外す際は、正しく取り付けなおせるようにケーブルの配線経路をメモしておいてください。

1	内部スピーカーケーブルコネクタ	4	取り付けネジ
2	I/O ケーブルコネクタ	5	正面パネルオーディオケーブルコネクタ
3	コントロールパネルケーブルコネクタ		

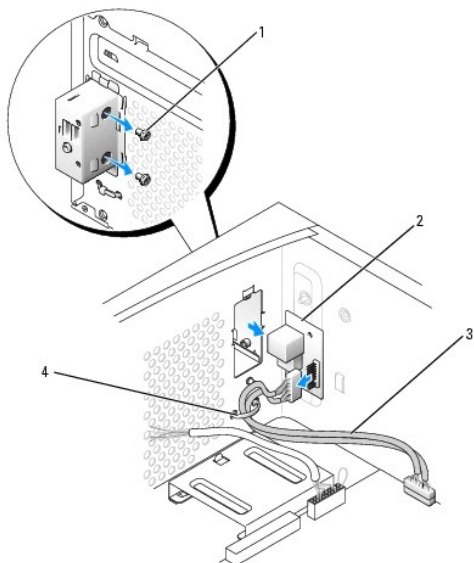
4. コンピュータカバー内部から、I/O パネルをコンピュータに固定している取り付けネジを取り外します。
5. I/O パネルをコンピュータから取り外します。
6. I/O パネルを取り付けるには、取り外し手順を逆の順序で実行します。

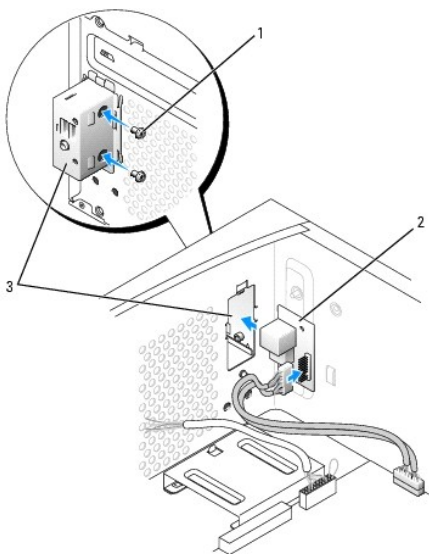
ミニタワーコンピュータ

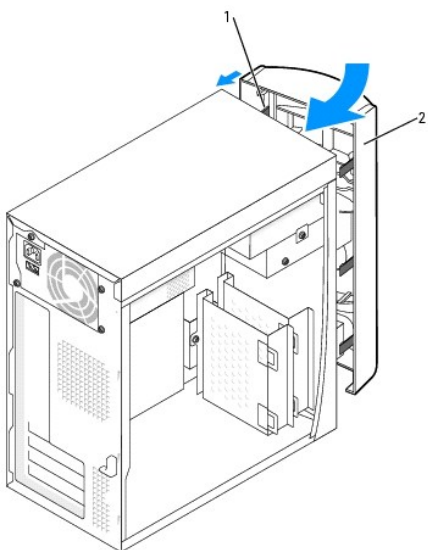
I/O パネルの取り付け

1. 「はじめに」の手順に従います。
2. ハードドライブを取り外します。
3. I/O パネルケーブルをコンピュータフレームに固定しているタイラップコードを切り取ります。
4. 正面パネルを取り外すには次の手順を実行します。
   a. リリースレバーが付いているコンピュータの場合、リリースレバーを押して、トップタブを外します。次の図を参照してください。

      リリースレバーが付いていないコンピュータの場合、コンピュータの内部が見えたら、トップタブを手前に引いて外します。
   b. コンピュータの内部が見えたら、ボトムタブを手前に引いて外します（ミドルタブは自動的に外れます）。
   c. 正面パネルを動かしてサイドヒンジから離します。

1	サイドヒンジ（3）	4	ミドルタブ
2	正面パネル	5	ボトムタブ
3	トップタブ	6	リリースレバー（一部のコンピュータのみ）

5. I/O パネルをコンピュータに固定している 2 本のネジを取り外します。

1	ネジ（2）
2	I/O パネル
3	サウンド/USB ケーブル
4	タイラップコード

6. I/O パネルを取り外し、サウンド/USB ケーブルを I/O パネルから引き抜きます。
7. サウンド/USB ケーブルを新しい I/O パネルに接続します。
8. I/O パネルを I/O ケージに挿入し、手順 5 で取り外したネジを取り付けます。

1	ネジ（2）
2	I/O パネル
3	I/O ケージ

9. 正面パネルを再度サイドヒンジに取り付け、コンピュータの前面にきちんとはめ込みます。

1	サイドヒンジ
2	正面パネル

10. ハードドライブを再度取り付けます。
11. コンピュータカバーを取り付けます。

注意：ネットワークケーブルを接続するには、まずケーブルを壁のネットワークジャックに差し込み、次に、コンピュータに差し込みます。

12. コンピュータおよびデバイスをコンセントに接続して、電源を入れます。

目次ページに戻る

目次ページに戻る

メモリ

Dell™ OptiPlex™ 170L ユーザーズガイド

メモリの取り付けガイドライン

お使いのコンピュータに対応するメモリのタイプについては、「仕様」の「メモリ」を参照してください。

注意：新しいメモリモジュールを取り付ける前に、お使いのコンピュータ用の最新の BIOS をデルサポートウェブサイト **support.dell.com** からダウンロードしてください。

DDR メモリの概要

DDR メモリモジュールは、必ず同じメモリサイズ、速度、およびテクノロジのものを 2 枚 1 組のペアで取り付ける必要があります。DDR メモリモジュールを同じメモリサイズのペアで取り付けていない場合、コンピュータは動作しますが、性能が少し落ちます。

メモ：533 MHz FSB プロセッサで構成されている場合、DDR400 メモリは、333 MHz で実行します。

メモ：Pentium 4 800 MHz FSB プロセッサで構成されている場合、DDR333 メモリは、320 MHz で実行します。

注意：ECC メモリモジュールを装着しないでください。

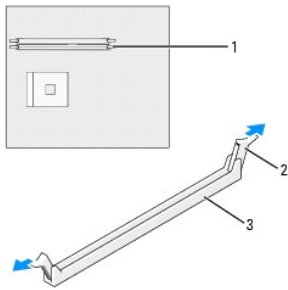
- PC2700（DDR 333 MHz）と PC3200（DDR 400 MHz）のメモリモジュールのペアを組み合わせて装着した場合、装着したモジュールのうちの一番遅いスピードで動作します。
- 別のコネクタにメモリモジュールを装着する前に、プロセッサに最も近いコネクタの DIMM1 に単一のメモリモジュールを装着していることを確認してください。
- 実際の SDRAM メモリチャネルのスピードは、プロセッサのフロントサイドバススピードに依存します。

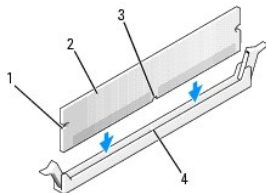
メモ：デルからご購入されたメモリは、お使いのコンピュータの保証の対象になっています。

注意：メモリのアップグレード中にコンピュータから元のメモリを取り外した場合、新しく装着するモジュールをデルからお買い上げになったとしても、元のメモリを新しいメモリとは別に保管してください。できるだけ、新しいメモリモジュールと元のメモリモジュールをペアにしないでください。元のメモリモジュールと新しいものをペアにすると、コンピュータが正しく起動しないことがあります。

メモリの取り付け

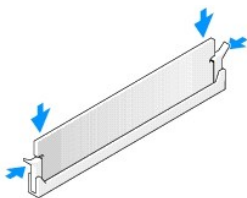
警告：『製品情報ガイド』に記載されている「安全にお使いいただくために」の注意事項に従い、この項の作業を始めてください。

1. 「はじめに」の手順に従います。
2. メモリモジュールコネクタの両端にある固定クリップを押して開きます。

1	プロセッサに最も近いメモリコネクタ
2	固定クリップ（2）
3	コネクタ

3. メモリモジュールの底部にある切り込みと、コネクタのクロスバーを合わせます。

1	切り欠き（2）
2	メモリモジュール
3	切り込み
4	クロスバー

注意：メモリモジュールへの損傷を防ぐため、モジュールの両端に均等に力をかけてコネクタにまっすぐ差し込んでください。

4. メモリモジュールを、カチッと所定の位置に収まるまでしっかりと押し込みます。

モジュールが正しく挿入されると、固定クリップはモジュール両端の切り欠きにカチッと収まります。

5. コンピュータカバーを取り付けます。

注意：ネットワークケーブルを接続するには、まずケーブルを壁のネットワークジャックに差し込み、次に、コンピュータに差し込みます。

6. コンピュータおよびデバイスをコンセントに接続して、電源を入れます。
7. 新しいメモリ容量が既存の設定情報と一致しないことをコンピュータが検出すると、次のメッセージが表示されます。

```
The amount of system memory has changed.
Strike the F1 key to continue, F2 to run the setup utility（続行するには F1 キーを、セットアップユーティリティを実行するには F2 を押してください）
```

8. <F2> を押してセットアップユーティリティを起動し、**System Memory** の値を確認します。

コンピュータは新しく取り付けたメモリを認識して、**System Memory** の値を変更します。メモリの新しい値を確認します。値が正しければ手順 10 へ進みます。

9. メモリの合計が間違っている場合、コンピュータとデバイスの電源を切りコンセントから外します。コンピュータカバーを取り外し、取り付けられたメモリモジュールがソケットに適切に装着されているか確認します。次に、手順 5 ～ 8 を繰り返します。
10. **System Memory** の総メモリ容量が正しい場合、<Esc> を押してセットアップユーティリティを終了します。
11. Dell Diagnostics（診断）プログラムを実行して、メモリモジュールが適切に動作しているか確認します。

メモリの取り外し

警告：『製品情報ガイド』に記載されている「安全にお使いいただくために」の注意事項に従い、この項の作業を始めてください。

1. 「はじめに」の手順に従います。
2. メモリモジュールコネクタの両端にある固定クリップを押して開きます。
3. モジュールをつかんで引き上げます。

モジュールが取り外しにくい場合、モジュールを前後に慎重に動かして緩め、コネクタから取り外します。

目次ページに戻る

目次ページに戻る

電源装置

Dell™ OptiPlex™ 170L ユーザーズガイド

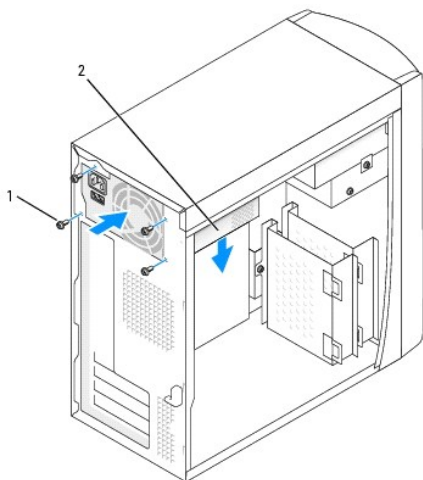
警告：『製品情報ガイド』に記載されている「安全にお使いいただくために」の注意事項に従い、この項の作業を始めてください。

注意：ESD による損傷を防ぐため、静電気防止用リストバンドを使用するか、コンピュータの塗装されていない金属面（背面パネル等）に定期的に触れて、身体の静電気を逃がしてください。

注意：コンピュータからデバイスを取り外す前、またはシステム基板からコンポーネントを取り外す前に、システム基板のスタンバイ電源ライトがオフになっていることを確認してください。このライトの位置は、ミニタワーの「システム基板のコンポーネント」またはデスクトップの「システム基板のコンポーネント」を参照してください。

ミニタワーコンピュータ

電源装置の交換

1. 「はじめに」の手順に従います。
2. ファンアセンブリを取り外します。
3. AC 電源ケーブルを電源装置の背面にある AC 電源コネクタから取り外します。
4. DC 電源ケーブルをドライブとシステム基板から引き抜きます。
5. 電源装置をコンピュータの背面に固定している 4 本のネジを外します。

1	ネジ（4）
2	電源装置

6. 電源装置をコンピュータから取り外します。
7. 交換用の電源装置をスライドさせ、所定の位置にセットします。
8. 電源装置をコンピュータの背面に固定する 4 本のネジを取り付けます。
9. ファンアセンブリを再度取り付けます。
10. DC 電源ケーブルをドライブとシステム基板に再度接続します。
11. コンピュータカバーを取り付けます。

12. AC 電源ケーブルを電源装置の背面にある AC 電源コネクタに接続します。

注意：ネットワークケーブルを接続するには、まずケーブルを壁のネットワークジャックに差し込み、次に、コンピュータに差し込みます。

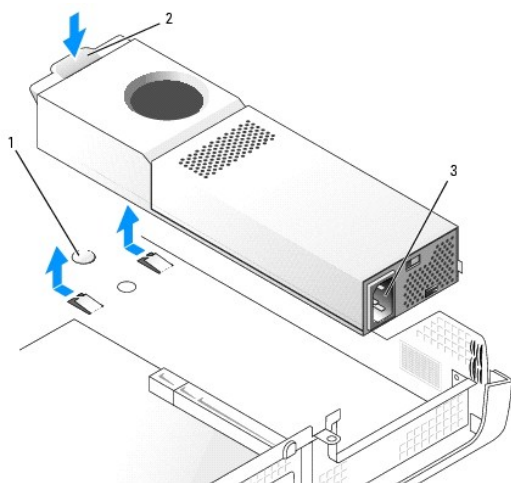
13. コンピュータおよびデバイスをコンセントに接続して、電源を入れます。

スモールデスクトップコンピュータ

電源装置の交換

1. 「はじめに」の手順に従います。
2. DC 電源ケーブルをシステム基板とドライブから取り外します。

DC 電源ケーブルをシステム基板およびドライブから取り外す際は、コンピュータフレーム内のタブの下の配線経路をメモしておいてください。ケーブルを再び取り付ける際に、挟まれたり折れ曲がったりしないように、正しく配線することが重要です。

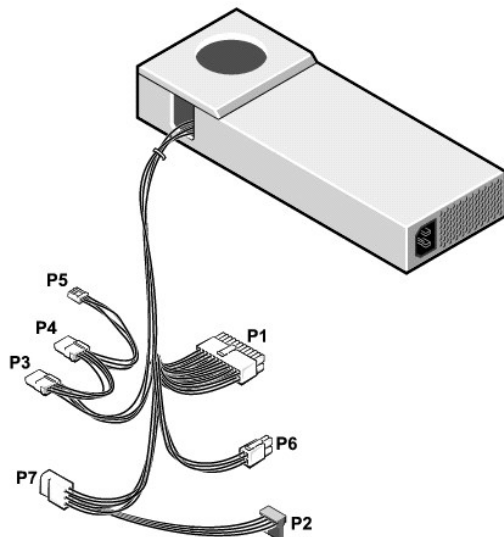
3. カードケージを取り外し、ハードドライブの側面から電源ケーブルを取り外します。電源ケーブルを取り外すには、指で金属製のクリップ引っ張りながら、ケーブルをてこの作用で引き抜くようにします。
4. ハンドルを押し下げます。それにより、リリースボタンが押されます。

1	リリースボタン
2	ハンドル
3	AC 電源コネクタ

5. 電源装置をコンピュータの前側へ約 2.5 cm スライドさせます。
6. 電源装置を持ち上げて、コンピュータから取り出します。
7. 交換用の電源装置をスライドさせ、所定の位置にセットします。
8. DC 電源ケーブルを再度接続します。
9. AC 電源ケーブルをコネクタに接続します。
10. 電源ケーブルをハードドライブの側面に再度取り付けて、カードケージを取り付けます。
11. クリップの下にケーブルを通し、ケーブルを被うようにクリップを押して閉じます。
12. コンピュータカバーを閉じます。
13. コンピュータスタンドを使用する場合、コンピュータスタンドを取り付けます。

注意：ネットワークケーブルを接続するには、まずケーブルを壁のネットワークジャックに差し込み、次に、コンピュータに差し込みます。

14. コンピュータおよびデバイスをコンセントに接続して、電源を入れます。

DC 電源コネクタ

スモールデスクトップ用電源装置の DC コネクタのピン構成

メモ: コンピュータの電源装置によっては、P7 コネクタがない場合があります。

DC 電源コネクタ P1

ピン番号	信号名	18-AWG ワイヤ
1	+3.3 VDC	橙色
2	+3.3 VDC	橙色
3	COM	黒色
4	+5 VDC	赤色
5	COM	黒色
6	+5 VDC	赤色
7	COM	黒色
8	POK*	灰色
9	+5 VFP	紫色
10	+12 VDC	黄色
11	+3.3 VDC	橙色
12	–12 VDC*	青色
13	COM	黒色
14	PS ON*	緑色
15	COM	黒色
16	COM	黒色
17	COM	黒色
18	N/C	N/C
19	+5 VDC	赤色
20	+5 VDC	赤色

	* 18-AWG ワイヤの代わりに 22-AWG ワイヤを使用

DC 電源コネクタ P2

	ピン番号	信号名	18-AWG ワイヤ
	1	+3.3 VDC	橙色
	2	COM	黒色
	3	+5 VDC	赤色
	4	COM	黒色
	5	+12 VDC	黄色

DC 電源コネクタ P3 および P4

	ピン番号	信号名	18-AWG ワイヤ
	1	+12 VDC	黄色
	2	COM	黒色
	3	COM	黒色
	4	+5 VDC	赤色

DC 電源コネクタ P5

	ピン番号	信号名	22-AWG ワイヤ
	1	+5 VDC	赤色
	2	COM	黒色
	3	COM	黒色
	4	+12 VDC	黄色

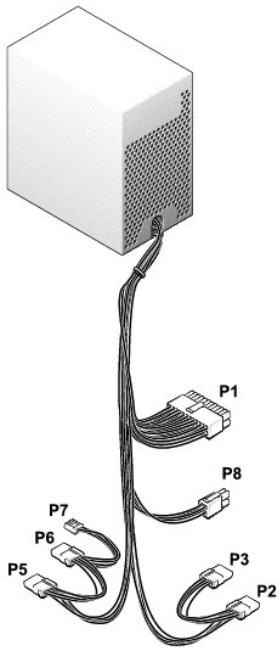
DC 電源コネクタ P6

	ピン番号	信号名	18-AWG ワイヤ
	1	COM	黒色
	2	COM	黒色
	3	+12 VDC	黄色
	4	+12 VDC	黄色

DC 電源コネクタ P7

メモ: コンピュータの電源装置によっては、P7 コネクタがない場合があります。

	ピン番号	信号名	18-AWG ワイヤ
	1		N/C
	2	COM	黒色
	3	COM	黒色
	4	+3.3 VDC	橙色
	5	+5 VDC	赤色
	6	+12 VDC	黄色

ミニタワー用電源装置の DC コネクタのピン構成

主電源コネクタ

	ピン番号	信号名	18-AWG ワイヤ
	1	+3.3 VDC	橙色
	2	+3.3 VDC	橙色
	3	COM	黒色
	4	+5 VDC	赤色
	5	COM	黒色
	6	+5 VDC	赤色
	7	COM	黒色
	8	PWR_OK	灰色
	9	+5 VSB	紫色
	10	+12 VDC	黄色
	11	+3.3 VDC [+3.3 V デフォルト感知]	橙色 [茶色]
	12	−12 VDC	青色
	13	COM	黒色
	14	PS ON#	緑色
	15	COM	黒色
	16	COM	黒色
	17	COM	黒色
	18	N/C	N/C
	19	+5 VCD	赤色
	20	+5 VCD	赤色

12 ボルト電源コネクタ

	ピン番号	信号名	18-AWG ワイヤ
	1	COM	黒色
	2	COM	黒色
	3	+12 VDC	黄色
	4	+12 VDC	黄色

周辺機器の電源コネクタ

	ピン番号	信号名	18-AWG ワイヤ
	1	+12 VDC	黄色
	2	COM	黒色
	3	COM	黒色
	4	+5 VDC	赤色

フロッピードライブの電源コネクタ

	ピン番号	信号名	22-AWG ワイヤ
	1	+5 VDC	赤色
	2	COM	黒色
	3	COM	黒色
	4	+12 VDC	黄色

目次ページに戻る

目次ページに戻る

システム基板

Dell™ OptiPlex™ 170L ユーザーズガイド

警告：『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の手順を開始してください。

ジャンパ設定

注意：ジャンパ設定を変更する前に、お使いのコンピュータの電源がオフでコンセントから外されているか確認してください。電源が入ったまま変更しようとすると、コンピュータを損傷したり予期できない結果を招く恐れがあります。

注意：コンピュータ内部に触れる前に、コンピュータ背面の金属部など塗装されていない金属面に触れて、身体の静電気を逃がしてください。作業中も、定期的に塗装されていない金属面に触れて、内蔵コンポーネントを損傷する恐れのある静電気を逃がしてください。

ジャンパ設定を変更するには、ピンから抜いたプラグを、指定のピンに注意深く押し込みます。

ジャンパ	設定	説明
CLEAR PASSWORD	（デフォルト）	パスワード機能が有効になっています。
		パスワード機能が無効になっています。
ジャンパあり　ジャンパなし		

CMOS のクリア

警告：『製品情報ガイド』に記載されている「安全にお使いいただくために」の注意事項に従い、この項の作業を始めてください。

注意：ESD による損傷を防ぐため、静電気防止用リストバンドを使用するか、コンピュータの塗装されていない金属面（背面パネル等）に定期的に触れて、身体の静電気を逃がしてください。

注意：コンピュータからデバイスを取り外す前、またはシステム基板からコンポーネントを取り外す前に、システム基板のスタンバイ電源ライトがオフになっていることを確認してください。このライトの位置は、「システム基板のコンポーネント」を参照してください。

1. 「はじめに」の手順に従います。
2. 最新の CMOS 設定にリセットします。
   a. バッテリーを 2 分以上取り外しておきます。
   b. バッテリーを再度取り付けます（取り付け手順については、「バッテリー」を参照）。
3. コンピュータカバーを取り付けます。

注意：ネットワークケーブルを接続するには、まずケーブルを壁のネットワークジャックに差し込み、次に、コンピュータに差し込みます。

4. コンピュータおよびデバイスをコンセントに接続して、電源を入れます。

システム基板の取り付け

警告：『製品情報ガイド』に記載されている「安全にお使いいただくために」の注意事項に従い、この項の作業を始めてください。

注意：ESD による損傷を防ぐため、静電気防止用リストバンドを使用するか、コンピュータの塗装されていない金属面（背面パネル等）に定期的に触れて、身体の静電気を逃がしてください。

注意：コンピュータからデバイスを取り外す前、またはシステム基板からコンポーネントを取り外す前に、システム基板のスタンバイ電源ライトがオフになっていることを確認してください。

スモールデスクトップコンピュータ

1. 「はじめに」の手順に従います。
2. 取り付けられているすべてのカードを取り外します。
3. システム基板からケーブルをすべて取り外します。
4. ファン電源ケーブルをシステム基板上のコネクタから取り外します。
5. ヒートシンク / 送風装置アセンブリを取り外します。

警告：プロセッサのヒートシンクは、高温になることがあります。火傷を避けるために、ヒートシンクに触れる前には十分に時間をかけ、ヒートシンクの温度が下がっていることを確認してください。

6. プロセッサのヒートシンクを取り外します。
7. システム基板をコンピュータフレームに固定しているネジを取り外します。
8. システム基板を持ち上げて、コンピュータから取り出します。
9. 取り外したシステム基板を、取り付けるシステム基板の横に置きます。

取り付けるシステム基板と既存のシステム基板を見比べて、正しい部品であるかを確認します。

10. 既存のシステム基板から、取り付けるシステム基板にコンポーネントを移動します。
    a. メモリモジュールを取り外し、交換する基板に取り付けます。

警告：プロセッサは、高温になることがあります。火傷を避けるために、プロセッサに触れる前には十分に時間をかけ、プロセッサの温度が下がっていることを確認してください。

    b. プロセッサを既存のシステム基板から取り外し、交換するシステム基板に移します。

11. 交換するシステム基板の設定をおこないます。

元の基板と同じになるように、交換するシステム基板のジャンパを設定します。

12. システム基板をコンピュータフレームの内部に置いて、ヒートシンク基盤をシステム基板の上に置いたら、手順 7 で取り外したネジを取り付けます。
13. プロセッサのヒートシンクを再度取り付けます。
14. ヒートシンク / 送風装置アセンブリを取り付けます。
16. ケーブルをシステム基板に再度取り付けます。
17. すべてのカードを再度取り付けます。
18. コンピュータカバーを取り付けます。

注意：ネットワークケーブルを接続するには、まずケーブルを壁のネットワークジャックに差し込み、次に、コンピュータに差し込みます。

19. コンピュータおよびデバイスをコンセントに接続して、電源を入れます。

ミニタワーコンピュータ

1. 「はじめに」の手順に従います。
2. フロッピードライブが取り付けられている場合は、フロッピードライブを取り外します。
3. 取り付けられているすべてのカードを取り外します。
4. システム基板からケーブルをすべて取り外します。
5. ファン電源ケーブルをシステム基板上のコネクタから取り外します。
6. ヒートシンクカバーを取り外します。

警告：プロセッサのヒートシンクは、高温になることがあります。火傷を避けるために、ヒートシンクに触れる前には十分に時間をかけ、ヒートシンクの温度が下がっていることを確認してください。

7. プロセッサのヒートシンクを取り外します。

8. システム基板をコンピュータフレームに固定しているネジを取り外します。

このうちの 4 本のネジは、ヒートシンク基盤をシステム基板に固定しています。

9. システム基板を持ち上げて、コンピュータから取り出します。
10. 取り外したシステム基板を、取り付けるシステム基板の横に置きます。

取り付けるシステム基板と既存のシステム基板を見比べて、正しい部品であるかを確認します。

11. 既存のシステム基板から、取り付けるシステム基板にコンポーネントを移動します。
    a. メモリモジュールを取り外し、交換する基板に取り付けます。

警告：プロセッサは、高温になることがあります。火傷を避けるために、プロセッサに触れる前には十分に時間をかけ、プロセッサの温度が下がっていることを確認してください。

    b. プロセッサを既存のシステム基板から取り外し、交換するシステム基板に移します。
12. 交換するシステム基板の設定をおこないます。

元の基板と同じになるように、交換するシステム基板のジャンパを設定します。

13. システム基板をコンピュータフレームの内部に置いて、ヒートシンク基盤をシステム基板の上に置いたら、手順 8 で取り外したネジを取り付けます。
14. プロセッサのヒートシンクを再度取り付けます。
15. ヒートシンクカバーを再度取り付け、ヒートシンクにカバーを被せます。
16. ケーブルをシステム基板に再度取り付けます。
17. すべてのカードを再度取り付けます。
18. 使用していた場合は、フロッピードライブを再度取り付けます。
19. コンピュータカバーを取り付けます。

注意：ネットワークケーブルを接続するには、まずケーブルを壁のネットワークジャックに差し込み、次に、コンピュータに差し込みます。

20. コンピュータおよびデバイスをコンセントに接続して、電源を入れます。

目次ページに戻る

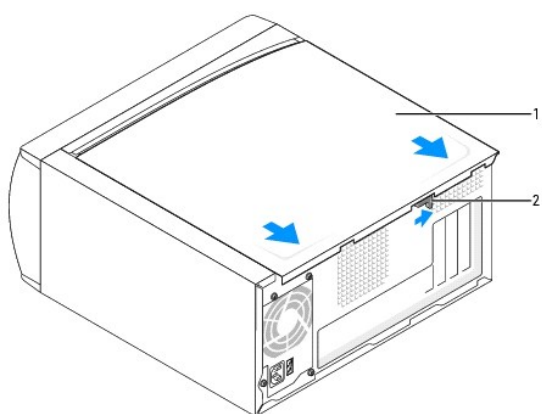
目次ページに戻る

コンピュータカバーの取り外し

Dell™ OptiPlex™ 170L ユーザーズガイド

警告 : 『製品情報ガイド』に記載されている「安全にお使いいただくために」の注意事項に従い、この項の作業を始めてください。

警告 : 感電防止のため、カバーを開く前に、必ずコンピュータの電源プラグをコンセントから抜いてください。

1. 「はじめに」の手順に従います。
2. コンピュータカバーの面が上になるようにコンピュータを置きます。
3. カバーラッチをオープン位置に置き、インデントをつかんでコンピュータカバーを背面方向にスライドさせます。
4. コンピュータカバーは平らな所に置いてください。

1	コンピュータカバー
2	カバーラッチ

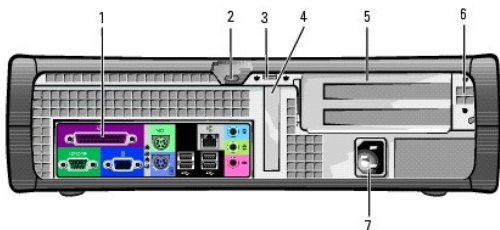
目次ページに戻る

[目次ページに戻る]

スモールデスクトップコンピュータについて

コンピュータの正面

1	正面パネルドア	正面パネルコネクタを使用する場合は、このドアを開けます。
2	ヘッドフォンコネクタ	ヘッドフォンコネクタを使用して、ヘッドフォンやほとんどのスピーカーを接続します。
3	USB 2.0 コネクタ（2）	ジョイスティックやカメラなどの時々接続するデバイス、または起動可能な USB デバイスには、正面 USB コネクタを使用します（USB デバイスの起動についての詳細は、「セットアップユーティリティ」を参照）。 プリンタやキーボードなど通常接続したままのデバイスには、背面の USB コネクタを使用することをお勧めします。
4	CD/DVD ドライブ取り出しボタン	このボタンを押して、CD または DVD をドライブから取り出します。
5	フロッピードライブ取り出しボタン*	このボタンを押して、フロッピーディスクをフロッピードライブから取り出します。
6	フロッピードライブ動作ライト*	フロッピードライブライトは、コンピュータがフロッピードライブからデータを読み書きしている際に点灯します。このライトが消えてから、フロッピーディスクをドライブから取り出します。
7	ハードドライブ動作ライト	ハードドライブライトは、コンピュータがハードドライブからデータを読み書きしている際に点灯します。このライトは、CD プレーヤーなどのデバイスが動作しているときにも点灯します。
8	電源ボタン	このボタンを押して、コンピュータに電源を入れます。 **注意**：データの損失を防ぐため、電源ボタンを使ってコンピュータの電源を切らないでください。電源ボタンを押す代わりに、Windows のシャットダウンを実行してください。 **注意**：お使いのオペレーティングシステムの ACPI が有効な場合、コンピュータの電源ボタンを押すと、オペレーティングシステムのシャットダウンが実行されます。
9	電源ライト	電源ライトは、点滅したり点灯することで異なる状態を示します。 • 消灯 — コンピュータは電源が切れた状態（S4、S5、または機械的にオフ）です。 • 緑色の点灯 — コンピュータは、通常の動作状態です。 • 緑色の点滅 — コンピュータは省電力状態です（S1 または S3）。 省電力状態から復帰するには、電源ボタンを押すか、マウスをクリックまたは動かします。休止状態および省電力状態からの復帰の詳細については、「電力の管理」を参照してください。 コンピュータのトラブルシューティングに役立つライトコードの説明は、「診断ライト」を参照してください。

10	正面パネルドア	正面パネルコネクタを使用する場合は、このドアを開けます。
*オプションのフロッピードライブ搭載のコンピュータ用		

コンピュータの背面

1	背面パネルコネクタ	シリアル、USB、およびその他のデバイスのプラグを対応するコネクタに差し込みます。
2	セキュリティケーブルスロット	セキュリティケーブルをスロットに接続すると、コンピュータの盗難防止に役立ちます。
3	パドロックリング	パドロックを差し込んで、コンピュータカバーをロックします。
4	カードスロット	ロープロファイル PCI カードのコネクタに接続します。
5	カードスロット（オプションのフルハイトカード用）	オプションのカードケージ用コネクタに接続します。2 枚のフルハイト PCI カードに対応します。
6	電圧選択スイッチ	詳細については、『製品情報ガイド』に記載されている「安全にお使いいただくために」の注意事項を参照してください。 **メモ:** 自動電圧回路が搭載されているコンピュータには、背面パネルに電圧選択スイッチが付いていません。また、正しい動作電圧が自動的に検出されます。
7	電源コネクタ	電源ケーブルを接続します。

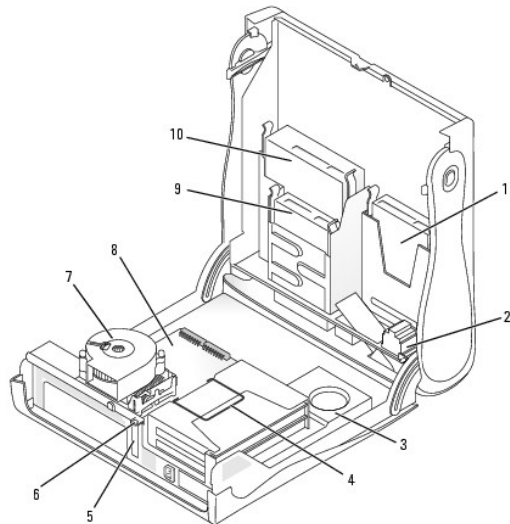
1	パラレルコネクタ	プリンタなどのパラレルデバイスは、パラレルコネクタに接続します。USB プリンタをお使いの場合、USB コネクタに差し込みます。 **メモ:** 同じアドレスに設定されたパラレルコネクタを持つカードをコンピュータが検出した場合、内蔵パラレルコネクタは自動的に無効になります。
2	診断ライト	診断ライトを利用すると、コンピュータの問題を解決する方法を示す診断コードを知るのに役立ちます（「診断ライト」を参照）。
3	マウスコネクタ	標準型のマウスをお使いの場合、緑色のマウスコネクタに差し込みます。コンピュータおよび取り付けられているすべてのデバイスの電源を切ってから、マウスをコンピュータに接続します。USB マウスをお使いの場合、USB コネクタに差し込みます。
4	リンク保全ライト	● 消灯 — 10 Mbps のネットワークとコンピュータが正しく接続されていることを示します。 ● 緑色 — 100 Mbps のネットワークとコンピュータが正しく接続されていることを示します。
5	ネットワークアダプタコネクタ	コンピュータをネットワークやブロードバンドデバイスに接続するには、ネットワークケーブルの一方の端をネットワークジャックやブロードバンドデバイスに接続します。ネットワークケーブルのもう一方の端は、コンピュータの背面にあるネットワークアダプタコネクタに接続します。カチッという音がすれば、ネットワークケーブルはしっかり接続されています。 **メモ:** ネットワークコネクタにモデムケーブルを接続しないでください。 ネットワークコネクタカードが搭載されたコンピュータの場合、カードのコネクタを使用します。 ネットワークには、カテゴリ 5 の配線とコネクタを使用することをお勧めします。カテゴリ 3 の配線を使用する必要がある場合、信頼性のあるオペレーションを保証するために、ネットワーク速度を 10 Mbps に設定してください。
6	ネットワー	黄色のライトは、コンピュータがネットワークデータを送信、または受信している際に点滅します。ネ

	ク動作ライト	ットワークトラフィックが多い場合、このライトが「点灯」の状態に見えることがあります。
7	ライン入力コネクタ	青色のライン入力コネクタ（内蔵サウンドが搭載されたコンピュータで利用可能）を使って、カセットプレーヤー、CDプレーヤー、VCR などの録音 / 再生デバイスを接続します。 サウンドカードが搭載されたコンピュータの場合、カードのコネクタを使用します。
8	ライン出力コネクタ	緑色のライン出力コネクタ（内蔵サウンドが搭載されたコンピュータで利用可能）を使って、ヘッドフォンやほとんどのアンプ内蔵型スピーカーを接続します。 サウンドカードが搭載されたコンピュータの場合、カードのコネクタを使用します。
9	マイクコネクタ	ピンク色のマイクコネクタ（内蔵サウンドが搭載されたコンピュータで利用可能）を使って、パーソナルコンピュータ用マイクを接続し、音声や音楽をサウンドまたはテレフォニープログラムに入力します。 サウンドカードが搭載されたコンピュータの場合、カードのマイクコネクタを使用します。
10	USB 2.0 コネクタ（4）	プリンタやキーボードなど、通常接続したままのデバイスには背面 USB コネクタを使用します。 ジョイスティックやカメラなど、時々接続するデバイスまたは起動可能な USB デバイスには、正面 USB コネクタを使用することをお勧めします。
11	キーボードコネクタ	標準のキーボードをお使いの場合、紫色のキーボードコネクタにキーボードケーブルを差し込みます。USB キーボードをお使いの場合、USB コネクタに差し込みます。
12	ビデオコネクタ	VGA 互換モニターからのケーブルを青色のコネクタに差し込みます。 **メモ：** オプションのグラフィックスカードをお買い上げになった場合、このコネクタにはキャップが付いています。お使いのモニターはグラフィックスカードのコネクタに接続してください。キャップは外さないでください。 **メモ：** デュアルモニターに対応するグラフィックスカードをお使いの場合、コンピュータに同梱されている Y 字型ケーブルを使用してください。
13	シリアルコネクタ	ハンドヘルドデバイスなどのシリアルデバイスをシリアルコネクタに接続します。

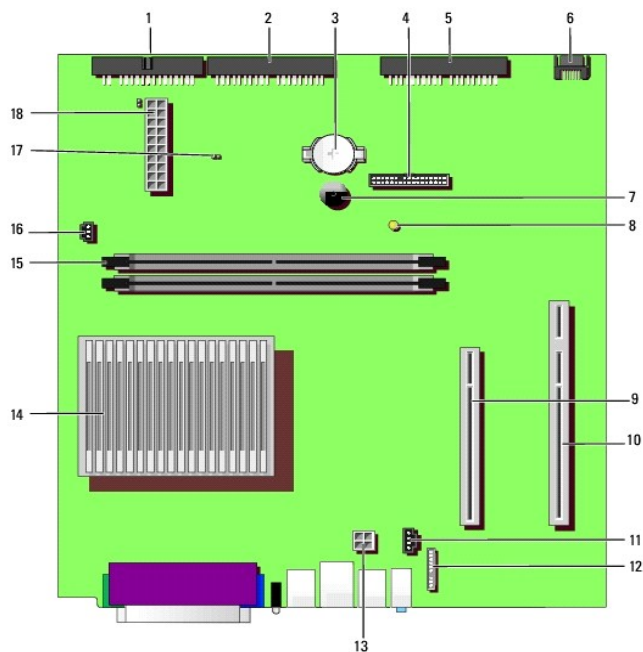
コンピュータの内部

警告：『製品情報ガイド』に記載されている「安全にお使いいただくために」の注意事項に従い、この項の作業を始めてください。

警告：感電防止のため、カバーを開く前に必ず、コンピュータの電源プラグをコンセントから抜いてください。

注意： コンピュータカバーを開く際には、システム基板から誤ってケーブルを抜かないように注意してください。

1	ハードドライブ	6	パドロックリング
2	オプションの内蔵スピーカー	7	ヒートシンクと送風装置アセンブリ
3	電源装置	8	システム基板
4	オプションのカードケージ	9	フロッピードライブ

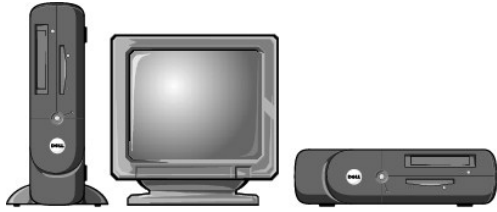
5	ロープロファイル PCI カードスロット	10	CD/DVD ドライブ

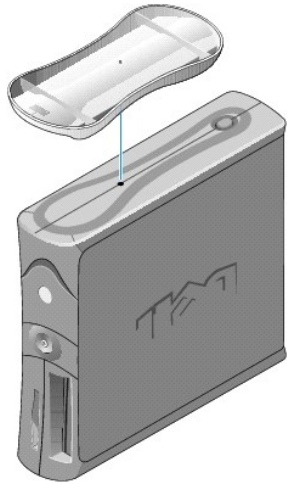
システム基板のコンポーネント

1	フロッピードライブコネクタ(DSKT)	11	CD ドライブオーディオケーブルコネクタ(CD_IN)
2	CD/DVD ドライブコネクタ(IDE2)	12	正面パネルオーディオケーブルコネクタ(FRONTAUDIO)
3	バッテリーソケット(BATTERY)	13	電源コネクタ(12VPOWER)
4	正面パネルコネクタ(FRONTPANEL)	14	プロセッサおよびヒートシンクコネクタ(CPU)
5	IDE ハードドライブコネクタ(IDE1)	15	メモリモジュールコネクタ(DIMM 1 および 2)
6	シリアル ATA ハードドライブコネクタ(SATA1)	16	プロセッサファンコネクタ(FAN)
7	内蔵スピーカー(SPEAKER)	17	パスワードジャンパ
8	スタンバイ電源ライト(AUX_PWR)	18	電源コネクタ(POWER)
9	PCI カードコネクタ(PCI1)		
10	PCI ライザーボードコネクタ(PCI2)		

コンピュータスタンドの取り付けと取り外し

警告: 『製品情報ガイド』に記載されている「安全にお使いいただくために」の注意事項に従い、この項の作業を始めてください。

メモ: 上部のカバーを傷つけないように、表面が滑らかな場所にコンピュータを置いてください。

お使いのコンピュータは、縦置き、横置きのどちらでも使用できます。

コンピュータを縦置きにする場合は、次の手順を実行してコンピュータスタンドを取り付ける必要があります。

1. ドライブベイが下になるように、右側を下にしてコンピュータを立てます。
2. 横置きの状態では左であった側に、次のようにスタンドを装着します。
   a. 次の図に示すように、スタンドの大きな丸い穴をカバー側面の固定ボタンに合わせ、またスタンドの拘束ネジをカバーのネジ穴に合わせてスタンドを置きます。
   b. スタンドが所定の位置に収まったら、蝶ネジを締めます。
3. スタンドが下に、ドライブが上になるようにコンピュータの向きを変えます。

目次ページに戻る

目次ページに戻る

カード

Dell™ OptiPlex™ 170L ユーザーズガイド

警告：『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の手順を開始してください。

注意：コンピュータ内部の部品への静電気による損傷を防ぐため、コンピュータの電子部品に触れる前に、身体から静電気を逃してください。コンピュータシャーシの塗装されていない金属面に触れることにより、静電気を逃がすことができます。

メモ：お使いの Dell コンピュータでは、PCI スロットのみを使用しています。ISA カードには対応していません。

メモ：カードを交換する場合は、現在使用しているカードのドライバをオペレーティングシステムから削除します。

メモ：お使いの Dell™ コンピュータは、ロープロファイル、32 ビット、33 MHz の 1 枚の PCI カード用のスロットを 1 つ用意しています。追加のフルハイトカードは、オプションのカードケージに取り付けることができます。

メモ：お使いのコンピュータにフルハイトカードを取り付ける場合、オプションの PCI ライザーカードカスタマーキットを使用します。このキットを注文する場合は、デルにお問い合わせください。

カードの取り付け

1. 「はじめに」の手順に従います。
2. ロープロファイルカードを取り付ける場合は、次の手順を実行します。フルハイトカードを取り付ける場合は、「オプションのカードケージへのカードの取り付け」を参照してください。

    a. 背面パネルの保持アームレバーを押して、保持アームを持ち上げます。

    b. コンピュータに取り付けられたカードを交換する場合は、カードを取り外します。必要に応じて、カードに接続されたケーブルを取り外します。カードの上端の角をつかみ、コネクタから引き抜きます。

    c. 新しいカードを取り付ける場合は、背面パネルにあるフィラーブラケットを取り外して、カードスロット開口部を空にします。

    d. 取り付けるカードを準備します。カードの構成、内部接続、またはお使いのコンピュータに合わせてカスタマイズする方法については、カードに付属のマニュアルを参照してください。

    e. カードをカードコネクタに挿入します。

    f. 保持アームを下ろして所定の位置に押し込み、カードをコンピュータに固定します。

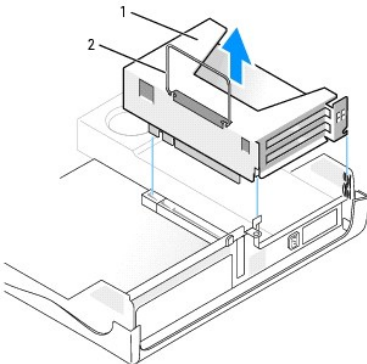
3. 次に説明する手順の手順 5 に進みます。

オプションのカードケージへのカードの取り付け

メモ：お使いのコンピュータに空のカードケージが取り付けてある場合は、PCI ライザーカードカスタマーキットで新しいカードケージが提供されます。空のカードケージを取り外して、次の手順を実行します。

メモ：お使いのコンピュータにカードケージがない場合には、金属製のブラケットを取り外して手順 b に進んでください。

1. 「はじめに」の手順に従います。
2. カードケージを取り外します。

    a. ハンドルをゆっくりと引き、カードケージを持ち上げてコンピュータから取り外します。

1	カードケージ
2	ハンドル

b. 新しいカードを取り付ける場合は、フィラーブラケットを取り外して、カードスロット開口部を空にします。

コンピュータに取り付けられたカードを交換する場合は、カードを取り外します。必要に応じて、カードに接続されたケーブルを取り外します。カードの上端の角をつかみ、コネクタから引き抜きます。

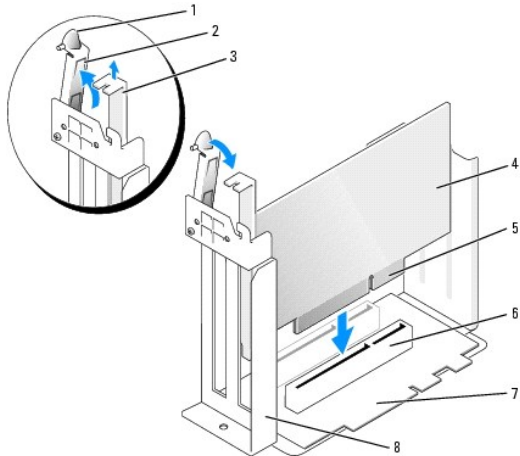
c. 取り付けるカードを準備します。

カードの構成、内部接続、またはお使いのコンピュータに合わせてカスタマイズする方法については、カードに付属のマニュアルを参照してください。

警告 : ネットワークアダプタの中には、ネットワークに接続すると自動的にコンピュータを起動するものがあります。感電を防ぐため、カードを取り付ける前に、コンピュータの電源プラグをコンセントから抜いていることを確認してください。

d. 保持アームレバーを押して、保持アームを持ち上げます。

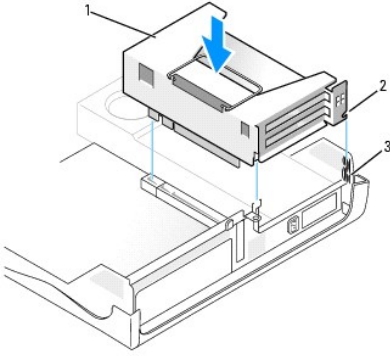
e. カードをカードコネクタに挿入します。

カードがフルレングスの場合には、カードの端をカードガイドブラケットに差し込み、システム基板のカード用コネクタに向ってカードを押し下げます。カードをライザーボード上のカードコネクタにしっかりと挿入します。

1	レバー	5	カードエッジコネクタ
2	保持アーム	6	カードコネクタ
3	フィラーブラケット	7	ライザーボード
4	カード	8	カードケージ

f. 保持アームを下ろして所定の位置に押し込み、カードをコンピュータに固定します。

3. カードケージを取り付けます。

a. カードケージの側面にあるタブをコンピュータの側面にあるスロットに合わせ、所定の位置に収まるまでカードケージを下にスライドさせます。

b. ライザーボードがシステム基板のコネクタにしっかりと装着されていることを確認します。

1	カードケージ
2	タブ（2）
3	スロット（2）

4. 手順 2 で取り外したすべてのケーブルを接続しなおします。
5. 必要なすべてのケーブルをカードに接続します。

カードのケーブル接続については、カードに付属しているマニュアルを参照してください。

注意：カードケーブルは、カードの上や後ろを通して配線しないでください。カードの上を通してケーブルを配線すると、コンピュータカバーが正しく閉まらなかったり、装置が損傷する原因になります。

6. コンピュータカバーを閉じます。
7. コンピュータスタンドを取り付けます（オプション）。

注意：ネットワークケーブルを接続するには、まずケーブルを壁のネットワークジャックに差し込み、次に、コンピュータに差し込みます。

8. コンピュータおよびデバイスをコンセントに接続して、電源を入れます。
9. サウンドカードを取り付けた場合、次の手順を実行します。
   a. セットアップユーティリティを起動し、**Audio Controller** を選んで、設定を **Off** に変更します。
   b. 外付けオーディオデバイスをサウンドカードのコネクタに接続します。外付けオーディオデバイスは、背面パネルのマイクコネクタ、スピーカー / ヘッドフォンコネクタ、またはライン入力コネクタには接続しないでください。
10. アドインネットワークアダプタを取り付けたため、内蔵ネットワークアダプタを無効にしたい場合、次の手順を実行します。
   a. セットアップユーティリティを起動し、**Network Controller** を選んで、設定を **Off** に変更します。
   b. ネットワークケーブルをアドインネットワークアダプタのコネクタに接続します。ネットワークケーブルは、背面パネルの内蔵コネクタには接続しないでください。
11. カードのマニュアルに記載されている、カードに必要なドライバをインストールします。

カードの取り外し

1. 「はじめに」の手順に従います。
2. カードケージを取り外します（前の手順の手順 2 を参照）。
3. 保持アームレバーを押して、保持アームを持ち上げます。
4. 必要に応じて、カードに接続されたケーブルを取り外します。
5. カードの上端の角をつかみ、コネクタから引き抜きます。
6. カードを取り外したままにする場合、空のカードスロット開口部にフィラーブラケットを取り付けます。

フィラーブラケットが必要な場合、デルにお問い合わせください。

メモ：コンピュータの FCC 認証を満たすため、フィラーブラケットを空のカードスロット開口部に取り付ける必要があります。また、フィラーブラケットを装着すると、コンピュータをほこりやゴミから保護できます。

7. 保持アームを下ろして所定の位置に押し込みます。

注意：ネットワークケーブルを接続するには、まずケーブルを壁のネットワークジャックに差し込み、次に、コンピュータに差し込みます。

8. カードケージを取り付けます（前の手順の手順 3 を参照）。
9. コンピュータカバーを閉じ、コンピュータとデバイスをコンセントに接続して、電源を入れます。
10. カードのドライバをオペレーティングシステムから削除します。
11. サウンドカードを取り外した場合、次の手順を実行します。
    a. セットアップユーティリティを起動し、**Audio Controller** を選んで、設定を **On** に変更します。
    b. 外付けオーディオデバイスを、コンピュータ背面パネルのオーディオコネクタに接続します。
12. アドインネットワークコネクタを取り外した場合、次の手順を実行します。
    a. セットアップユーティリティを起動し、**Network Controller** を選んで、設定を **On** に変更します。
    b. ネットワークケーブルをコンピュータ背面パネルの内蔵コネクタに接続します。

目次ページに戻る

目次ページに戻る

コンピュータカバーを開く

Dell™ OptiPlex™ 170L ユーザーズガイド

警告：『製品情報ガイド』に記載されている「安全にお使いいただくために」の注意事項に従い、この項の作業を始めてください。

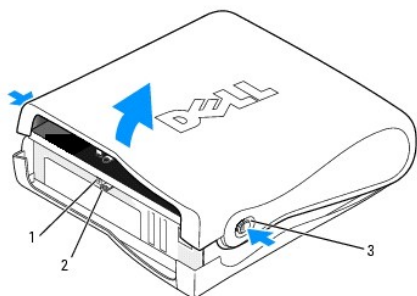
警告：感電防止のため、カバーを開く前に必ず、コンピュータの電源プラグをコンセントから抜いてください。

1. 「はじめに」の手順に従います。
2. コンピュータスタンドが取り付けられている場合、コンピュータスタンドを取り外します。
3. 背面パネルのパドロックリングにパドロックを取り付けている場合は、パドロックを取り外します

注意：開いたカバーがぶつからないような十分なスペース（最低 30 cm のデスクトップスペース）があることを確認します。

4. 図に示されている 2 つのリリースボタンを見つけます。カバーを持ち上げる際にこれらの 2 つのリリースボタンを押します。

注意：カバーをゆっくり開けてケーブルを損傷しないようにします。

5. カバーの背面を持ち上げて、コンピュータ正面の方向に回します。

1	セキュリティケーブルスロット
2	パドロックリング
3	リリースボタン（両側にそれぞれ 1 つ）

目次ページに戻る

[目次ページに戻る](#)

ドライブ

Dell™ OptiPlex™ 170L ユーザーズガイド

お使いのコンピュータは、次のドライブをサポートします。

- シリアル ATA ハードドライブ 1 台
- オプションのフロッピードライブ 1 台
- オプションの CD または DVD ドライブ 1 台

一般的な取り付けガイドライン

システム基板上の「IDE」とラベルの付いたコネクタに CD/DVD ドライブを接続します。シリアル ATA ハードドライブは、システム基板上の「SATA0」とラベルの付いたコネクタに接続します。

ドライブケーブルの接続

ドライブを取り付ける場合、2 本のケーブル(DC 電源ケーブルとデータケーブル)をドライブの背面およびシステム基板に接続します。

ドライブインタフェースコネクタ

IDE ドライブコネクタ	シリアル ATA コネクタ

1	インタフェースコネクタ
2	インタフェースケーブル
3	IDE ケーブルの色帯

ほとんどのインタフェースコネクタは、正しく接続されるように設計されています。つまり、片方のコネクタに切り込みや欠けたピンがあり、もう一方のコネクタにあるつめや塞がれたピン穴と一致するようになっています。この仕組みによって、ケーブルの 1 番ピンワイヤはコネクタの端の 1 番ピンに確実に接続されます(1 番ピンは、IDE ケーブルの場合は色帯で示され、シリアル ATA では色帯は使用されません)。通常、基板上またはカード上にあるコネクタの 1 番ピン側には、基板またはカードに直接「1」と印字されています。

注意:IDE インタフェースケーブルを接続するときには、必ず色帯をコネクタの 1 番ピンに合わせてください。ケーブルを逆向きにすると、ドライブが正しく動作しなくなり、コントローラ、ドライブまたはその両方が損傷する恐れがあります。

電源ケーブルコネクタ

1	電源ケーブル
2	電源入力コネクタ

ドライブケーブルの接続と取り外し

IDE ドライブデータケーブルを取り外す場合は、色付きのプルタブをつかみ、引き抜いてコネクタから外します。

シリアル ATA データケーブルの抜き差しをおこなう場合は、ケーブルの両端にある黒いコネクタ部分を持ちます。

IDE コネクタと同様、シリアル ATA インタフェースコネクタも、正しく接続されるように設計されています。つまり、片方のコネクタに切り込みや欠けたピンがあり、もう一方のコネクタにあるつめや塞がれたピン穴と一致するようになっています。

ハードドライブ

警告：『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の手順を開始してください。

警告：感電防止のため、カバーを開く前に必ず、コンピュータの電源プラグをコンセントから抜いてください。

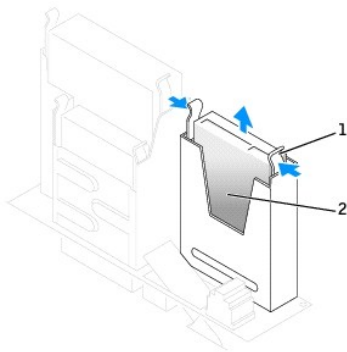
注意：ドライブへの損傷を防ぐため、ドライブを硬い所に置かないでください。ドライブは、発泡樹脂製のパッドなど十分なクッション性のあるものの上に置いてください。

1. 残しておきたいデータを保存しているハードドライブを交換する場合、ファイルのバックアップを取ってから、次の手順を開始します。
2. ドライブのマニュアルを参照して、ドライブの設定がお使いのコンピュータに合っているか確認します。
3. 「はじめに」の手順に従います。

ハードドライブの取り外し

1. 電源ケーブルとハードドライブケーブルをドライブから取り外します。

1	ハードドライブケーブル
2	電源ケーブル

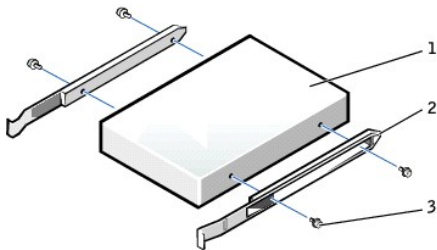
2. ドライブの両端にあるタブを押してドライブを上方向にスライドさせ、ドライブをドライブベイから取り出します。

1	タブ（2）
2	ハードドライブ

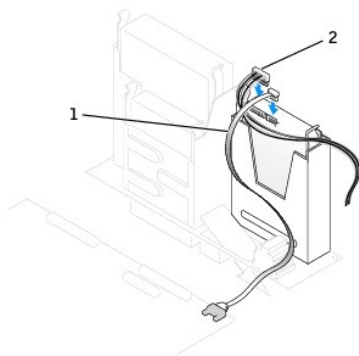
ハードドライブの取り付け

1. ドライブのマニュアルを参照して、ドライブの設定がお使いのコンピュータに合っているか確認します。

注意：交換用ドライブを箱から取り出すときは、ドライブへの損傷を防ぐため、ドライブを硬い所に置かないでください。ドライブは、発泡樹脂製のパッドなど十分なクッション性のあるものの上に置いてください。

2. 交換するハードドライブを箱から取り出します。

3. 交換用ハードドライブにブラケットレールが付いていない場合、これまで使用していたドライブからレールを取り外します。レールはドライブの両側にそれぞれ 2 本のネジで固定されています。ブラケットレールを新しいドライブに取り付けます。新しいドライブのネジ穴にブラケットレールのネジ穴を合わせ、4 本のネジ（各レールに 2 本）すべてを差し込んで、しっかりと締めます。

1	ドライブ
2	ブラケットレール（2）
3	ネジ（4）

4. ドライブが所定の位置に、カチッと音がするまで、または固定されたとわかるまで、ドライブをゆっくり押し込みます。
5. 電源ケーブルとハードドライブケーブルをドライブに接続します。

1	ハードドライブケーブル
2	電源ケーブル

6. すべてのコネクタにケーブルが正しく接続され、ドライブがしっかりと固定されているか確認します。
7. コンピュータカバーを閉じます。
8. コンピュータスタンドを取り付けます（オプション）。

注意：ネットワークケーブルを接続するには、まずケーブルを壁のネットワークジャックに差し込み、次に、コンピュータに差し込みます。

9. コンピュータおよびデバイスをコンセントに接続して、電源を入れます。

ドライブの動作に必要なソフトウェアをインストールする手順については、ドライブに付属のマニュアルを参照してください。

10. 取り付けたドライブがプライマリドライブの場合、起動ドライブに起動用メディアを挿入します。
11. セットアップユーティリティを起動して、適切な **Primary Drive** オプション（**0** または **1**）を更新します。
12. セットアップユーティリティを終了して、コンピュータを再起動します。
13. 次の手順に進む前に、ドライブにパーティションを作成して、論理フォーマットを実行します。

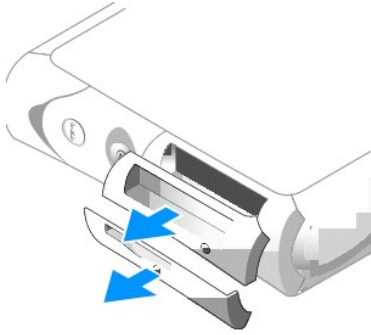
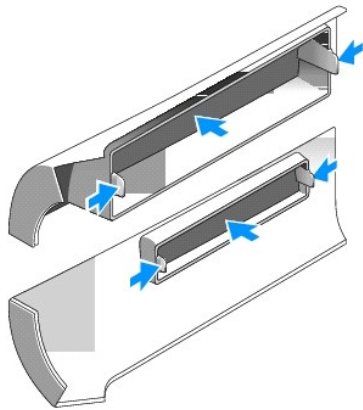
手順については、オペレーティングシステムに付属のマニュアルを参照してください。

14. Dell Diagnostics（診断）プログラムを実行して、ハードドライブをテストします。
15. ハードドライブにオペレーティングシステムをインストールします。

手順については、オペレーティングシステムに付属のマニュアルを参照してください。

ドライブベイカバー

フロッピードライブまたは CD/DVD ドライブを交換するのではなく、新しいドライブを取り付ける場合には、ドライブベイカバーを取り外します。

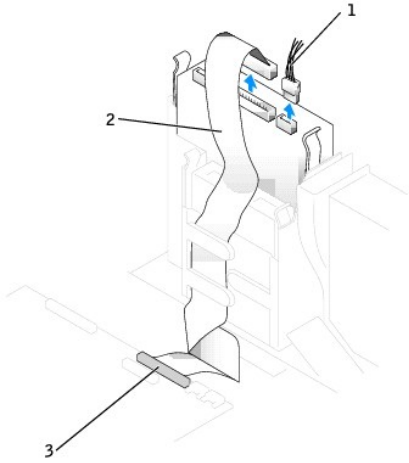
1. コンピュータの正面に向い、指で正面パネルカバーを取り外します。

2. ドライブベイカバーが正面パネルカバーから外れるまでドライブベイカバーを押します。

CD / DVD ドライブ

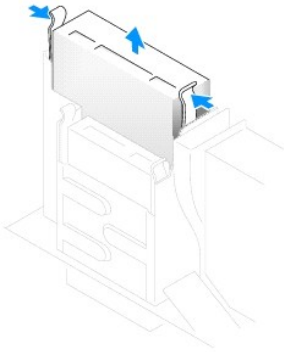
警告：『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の手順を開始してください。

警告：感電防止のため、カバーを開く前に必ず、コンピュータの電源プラグをコンセントから抜いてください。

1. 「はじめに」の手順に従います。
2. フロッピードライブまたは CD/DVD ドライブを交換するのではなく、新しいドライブを取り付ける場合には、ドライブベイカバーを取り外します。

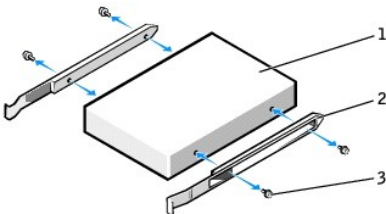
CD / DVD ドライブの取り外し

1. CD/DVD ドライブの背面から、電源ケーブルとドライブケーブルを取り外します。
2. システム基板上の IDE コネクタから、CD/DVD ドライブケーブルのもう一方の端を取り外します。

1	電源ケーブル
2	CD/DVD ドライブケーブル
3	IDE コネクタ

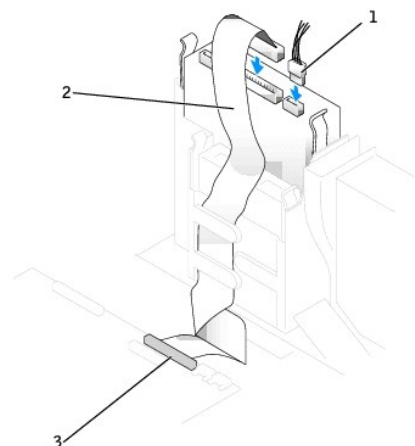
3. ドライブの両端にあるタブを押してドライブを上方向にスライドさせ、ドライブをドライブベイから取り出します。

CD / DVD ドライブの取り付け

1. ドライブを箱から取り出して、取り付けの準備をします。

ドライブに付属のマニュアルを参照して、ドライブの設定がお使いのコンピュータに合っているか確認します。IDE ドライブを取り付ける場合、ドライブを「cable select」に設定します。

2. 交換用ドライブにブラケットレールが付いていない場合、これまで使用していたドライブからレールを取り外します。レールはドライブの両側にそれぞれ 2 本のネジで固定されています。ブラケットレールを新しいドライブに取り付けます。新しいドライブのネジ穴にブラケットレールのネジ穴を合わせ、4 本のネジ(各レールに 2 本)すべてを差し込んで、しっかりと締めます。

1	ドライブ

2	ブラケットレール（2）
3	ネジ（4）

3. ドライブが所定の位置に、カチッと音がするまで、または固定されたとわかるまで、ドライブをゆっくり押し込みます。
4. 電源ケーブルと CD/DVD ドライブケーブルをドライブに接続します。
5. システム基板上の IDE コネクタに CD/DVD ドライブケーブルのもう一方の端を接続します。

1	電源ケーブル
2	CD/DVD ドライブケーブル
3	IDE コネクタ

6. 専用のコントローラカードが付いているドライブを取り付ける場合、コントローラカードはカードスロットに取り付けます。
7. すべてのケーブル接続を確認します。冷却ファンや通気孔の妨げにならないようにケーブルをまとめておきます。
8. コンピュータカバーを閉じます。
9. コンピュータスタンドを取り付けます（オプション）。

注意：ネットワークケーブルを接続するには、まずケーブルを壁のネットワークジャックに差し込み、次に、コンピュータに差し込みます。

10. コンピュータおよびデバイスをコンセントに接続して、電源を入れます。

ドライブの動作に必要なソフトウェアをインストールする手順については、ドライブに付属のマニュアルを参照してください。

11. **Drives** の該当する **Drive** オプション（**0** または **1**）を設定して設定情報を更新します。詳細については、「セットアップユーティリティオプション」を参照してください。
12. Dell Diagnostics（診断）プログラムを実行して、コンピュータが正しく動作することを確認します。

フロッピードライブ

警告：『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の手順を開始してください。

警告：感電防止のため、カバーを開く前に必ず、コンピュータの電源プラグをコンセントから抜いてください。

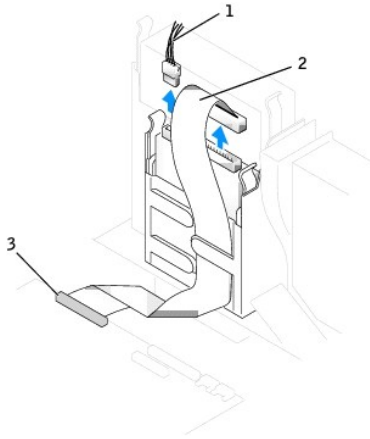
フロッピードライブを交換するのではなく、新しいドライブを取り付ける場合には、ドライブベイカバーを取り外します。

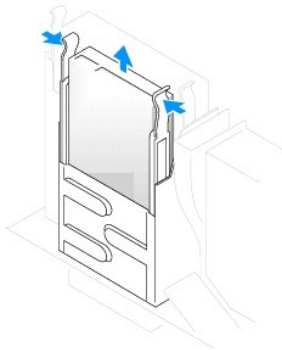
フロッピードライブの取り外し

1. 「はじめに」の手順に従います。

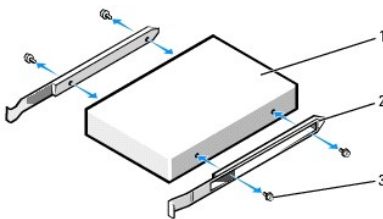
2. フロッピードライブの上にある CD/DVD ドライブベイのデータケーブルを取り外します。

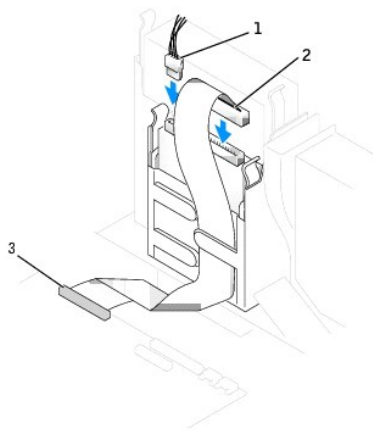
3. フロッピードライブの背面から、電源ケーブルとフロッピードライブケーブルを取り外します。

4. フロッピードライブケーブルをシステム基板上のコネクタ（DSKT というラベルが付いています）から取り外します。

1	電源ケーブル
2	フロッピードライブケーブル
3	フロッピードライブコネクタ（DSKT）

5. ドライブの両端にあるタブを押してドライブを上方向にスライドさせ、ドライブをドライブベイから取り出します。

フロッピードライブの取り付け

1. 「はじめに」の手順に従います。

2. 交換用ドライブにブラケットレールが付いていない場合、これまで使用していたドライブからレールを取り外します。レールはドライブの両側にそれぞれ 2 本のネジで固定されています。ブラケットレールを新しいドライブに取り付けます。新しいドライブのネジ穴にブラケットレールのネジ穴を合わせ、4 本のネジ（各レールに 2 本）すべてを差し込んで、しっかりと締めます。

1	ドライブ
2	ブラケットレール（2）
3	ネジ（4）

3. ドライブが所定の位置に、カチッと音がするまで、または固定されたとわかるまで、ドライブをゆっくり押し込みます。
4. 電源ケーブルとフロッピードライブケーブルをフロッピードライブに取り付けます。
5. システム基板上の DSKT コネクタに、フロッピードライブケーブルのもう一方の端を接続します。

1	電源ケーブル
2	フロッピードライブケーブル
3	フロッピードライブコネクタ（DSKT）

6. フロッピードライブの上にある CD/DVD ドライブベイに取り付けられたドライブの背面に、データケーブルを接続しなおします。
7. すべてのケーブル接続を確認します。冷却ファンや通気孔の妨げにならないようにケーブルをまとめておきます。
8. コンピュータカバーを閉じます。
9. コンピュータスタンドを取り付けます（オプション）。

注意：ネットワークケーブルを接続するには、まずケーブルを壁のネットワークジャックに差し込み、次に、コンピュータに差し込みます。

10. コンピュータおよびデバイスをコンセントに接続して、電源を入れます。

ドライブの動作に必要なソフトウェアをインストールする手順については、ドライブに付属のマニュアルを参照してください。

11. セットアップユーティリティを起動し、**Diskette Drive** オプションを使用して、新しいフロッピードライブを有効にします。
12. Dell Diagnostics（診断）プログラムを実行して、コンピュータが正しく動作することを確認します。

目次ページに戻る

目次ページに戻る

プロセッサ

Dell™ OptiPlex™ 170L ユーザーズガイド

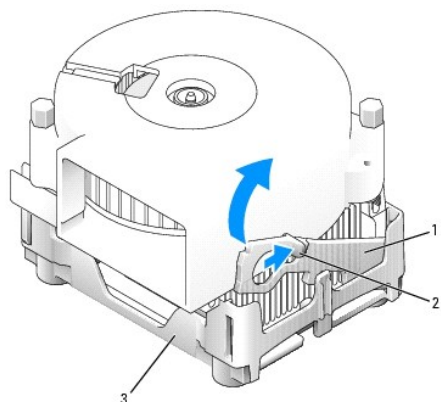
プロセッサの取り付け

警告：『製品情報ガイド』に記載されている「安全にお使いいただくために」の注意事項に従い、この項の作業を始めてください。

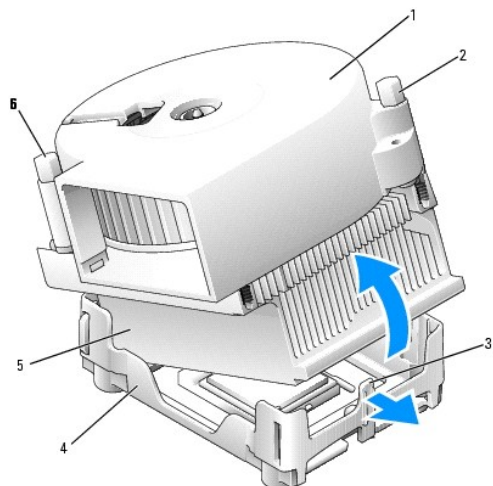
警告：コンピュータ内部の部品への静電気による損傷を防ぐため、コンピュータの電子部品に触れる前に、身体から静電気を逃してください。コンピュータシャーシの塗装されていない金属面に触れることにより、静電気を逃がすことができます。

1. 「はじめに」の手順に従います。
2. 冷却ファン電源ケーブルをシステム基板の FAN コネクタから取り外します（「システム基板のコンポーネント」を参照）。
3. 電源ケーブルをシステム基板の 12VPOWER コネクタから取り外します。

警告：通常の操作中に、ヒートシンクアセンブリは非常に高温になります。このアセンブリに触れる前には十分に時間をかけ、温度が下がっていることを確認してください。

4. ヒートシンク / 送風装置アセンブリを取り外します。
   a. 緑色の固定クリップの上のタブを押して、クリップを保持基盤から取り外します。

1	固定クリップ
2	タブ
3	保持基盤

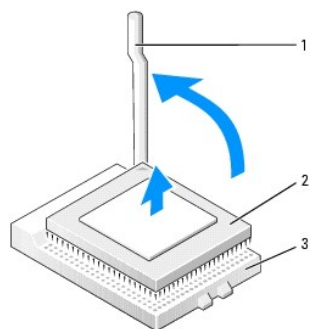
   b. ヒートシンクの一方の端を持ち上げたまま、保持基盤タブを押して、ヒートシンク / 送風装置アセンブリを取り外します。

注意：サーマル材が付いた面を上に向けてヒートシンクを置きます。

1	ヒートシンク / 送風装置アセンブリ	4	保持基盤
2	ネジ	5	ヒートシンク
3	保持基盤タブ	6	ネジ

5. 送風装置の 2 本のネジを外して、送風装置をヒートシンクから取り外します。

注意：送風装置は後で再利用するので、捨てないでください。デル製のプロセッサアップグレードキットを取り付ける場合、元のヒートシンクは廃棄してください。デル製ではないプロセッサアップグレードキットを取り付ける場合、新しいプロセッサを取り付ける際は、元のヒートシンクを再利用してください。

注意：プロセッサをソケットから取り外す際は、ピンを曲げないように注意してください。ピンが曲がると、プロセッサに修復できない損傷を与える恐れがあります。

6. プロセッサが外れるようになるまでリリースレバーをまっすぐ引き上げ、プロセッサをソケットから取り外します。

1	リリースレバー
2	プロセッサ
3	ソケット

注意：コンピュータ背面の塗装されていない金属面に触れて、身体から静電気を逃がしてください。

注意：新しいプロセッサを箱から取り出すときは、ピンを曲げないよう注意してください。ピンが曲がると、プロセッサに修復できない損傷を与える恐れがあります。プロセッサのピンが曲がっているようであれば、デルテクニカルサポートにお問い合わせください。

7. 新しいプロセッサを箱から取り出します。

1	位置を合わせたプロセッサとソケットの 1 番ピンの角

注意 :コンピュータの電源を入れる際にプロセッサとコンピュータに修復できない損傷を与えないようにするため、プロセッサをソケットに正しく装着してください。

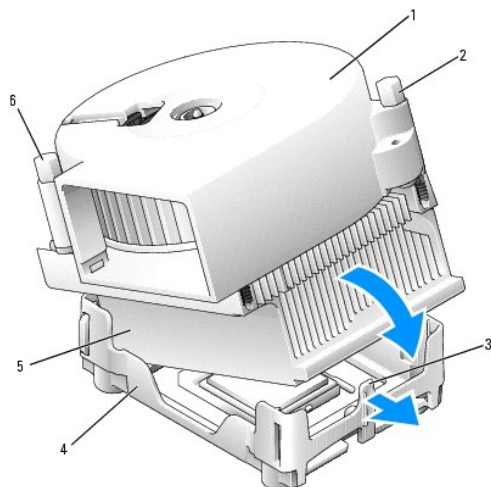
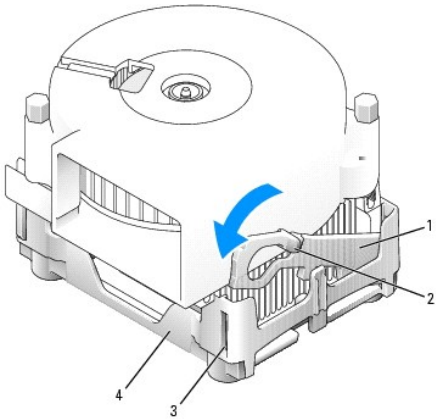
8. ソケット上のリリースレバーが完全に開いていない場合、その位置まで動かします。
9. プロセッサとソケットの 1 番ピンの角を合わせます。

注意 :プロセッサをソケットに置くときは、すべてのピンがソケットの対応する穴に収まることを確認してください。

10. プロセッサをソケットに軽く置き、すべてのピンが穴に正しく向き合っているか確認します。力を入れないでください。無理に押し込むと、プロセッサがソケットと揃っていない場合、ピンを曲げてしまう恐れがあります。プロセッサが所定の位置に設定されていれば、軽く押すだけで自然とソケットに収まります。
11. プロセッサをソケットに完全に装着できたら、リリースレバーを所定の位置にカチッと収まるまで後ろ側へ回し、プロセッサを固定します。

注意 :デル製ではないプロセッサアップグレードキットを取り付ける場合、プロセッサを交換する際は、元のヒートシンク / 送風装置アセンブリを再利用してください。

デル製のプロセッサ交換キットを取り付ける場合、交換キットが送られてきたパッケージを使用して、プロセッサをデルに返却してください。

12. 送風装置をヒートシンクに装着する 2 本のネジを再度取り付けます。
13. ヒートシンク / 送風装置アセンブリを取り付けます。
    a. ヒートシンクアセンブリの一方の端を保持基盤の端にあるタブの下に置きます。
    b. ヒートシンクが保持基盤のタブの下にしっかりと収まるまでアセンブリを押し下げます。
    c. タブの反対側にある切り込みのあるクリップの端を保持基盤のスロットの中に入れて、固定クリップを挿入します。固定クリップタブを押して、固定クリップを所定の位置に押し込みます。切り込みのある固定クリップの端が保持基盤のスロットに固定されているか確認します。

1	ヒートシンク / 送風装置アセンブリ	4	保持基盤
2	ネジ	5	ヒートシンク
3	保持基盤タブ	6	ネジ

1	固定クリップ
2	タブ
3	スロット
4	保持基盤

14. ファンケーブルをシステム基板の FAN コネクタに差し込みます。
15. 電源ケーブルをシステム基板の 12VPOWER コネクタに差し込みます。
16. コンピュータカバーを閉じます。
17. コンピュータスタンドを取り付けます（オプション）。

注意：ネットワークケーブルを接続するには、まずケーブルを壁のネットワークジャックに差し込み、次に、コンピュータに差し込みます。

18. コンピュータおよびデバイスをコンセントに接続して、電源を入れます。

目次ページに戻る

[目次ページに戻る]

ミニタワーコンピュータについて

Dell™ OptiPlex™ 170L ユーザーズガイド

コンピュータの正面

1	CD または DVD ドライブ動作ライト	ドライブ動作ライトは、コンピュータが CD または DVD ドライブからデータを読み取る際に点灯します。
2	CD または DVD 取り出しボタン	このボタンを押して、CD を CD または DVD ドライブから取り出します。
3	セカンドドライブベイ	このベイには、オプションのセカンドオプティカルドライブを取り付けることができます。
4	フロッピードライブ取り出しボタン*	このボタンを押すと、ディスクをフロッピードライブから取り出せます。
5	ハードドライブ動作ライト	ハードドライブライトは、コンピュータがハードドライブからデータを読み書きしている際に点灯します。このライトは、CD プレーヤーなどのデバイスが動作中も点灯します。
6	ヘッドフォンコネクタ	ヘッドフォンコネクタを使用して、ヘッドフォンやほとんどの種類のスピーカーを接続できます。
7	USB 2.0 コネクタ（2）	ジョイスティックやカメラ、または起動可能な USB デバイスなど、時々接続するデバイスには、正面 USB コネクタを使用します（USB デバイスの起動についての詳細は、「セットアップユーティリティ」を参照してください）。プリンタおよびキーボードなど通常接続したままのデバイスは、背面の USB コネクタを使用することをお勧めします。
8	電源ボタン	このボタンを押して、コンピュータに電源を入れます。 **注意**：データの損失を防ぐため、電源ボタンを使ってコンピュータの電源を切らないでください。電源ボタンを押す代わりに、Windows のシャットダウンを実行してください。 **注意**：お使いのオペレーティングシステムの ACPI が有効な場合、コンピュータの電源ボタンを押すと、オペレーティングシステムのシャットダウンが実行されます。
9	電源ライト	電源ライトは、点滅したり点灯することで異なる状態を示します。 • 消灯 ― コンピュータは電源が切れた状態（S4、S5、または機械的にオフ）です。 • 緑色の点灯 ― コンピュータは、通常の動作状態です。 • 緑色の点滅 ― コンピュータは省電力状態（S1 または S3）です。 省電力状態から復帰するには、電源ボタンを押すか、マウスをクリックまたは動かします。休止状態および省電力状態からの復帰の詳細については、「電力の管理」を参照してください。 コンピュータのトラブルシューティングに役立つライトコードの説明は、「診断ライト」を参照してください。
10	フロッピードライブライト*	フロッピードライブライトは、コンピュータがフロッピードライブからデータを読み書きしている際に点灯します。このライトが消えてから、フロッピーディスクをドライブから取り出します。
11	サービスタグ	このラベルは、お使いのコンピュータのサービスタグとエクスプレスサービスコード（ご利用になる場合）を表示します。デルテクニカルサポートに電話でお問い合わせになる場合、エクスプレスサービスコードを使用すると、電話は適切なサポート担当者に転送されます。デルテクニカルサポート担当者がお客様のサービスタグをお尋ねします。

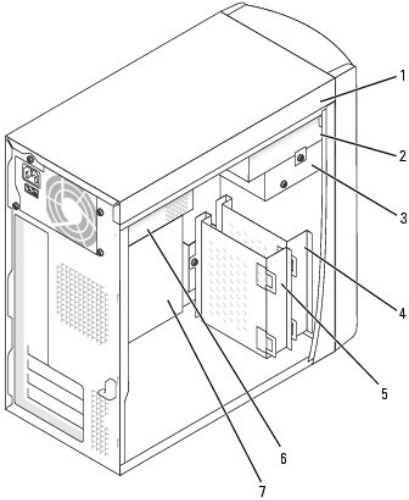
		メモ: エクスプレスサービスが利用できない国もあります。
*オプションのフロッピードライブ搭載のコンピュータ用		

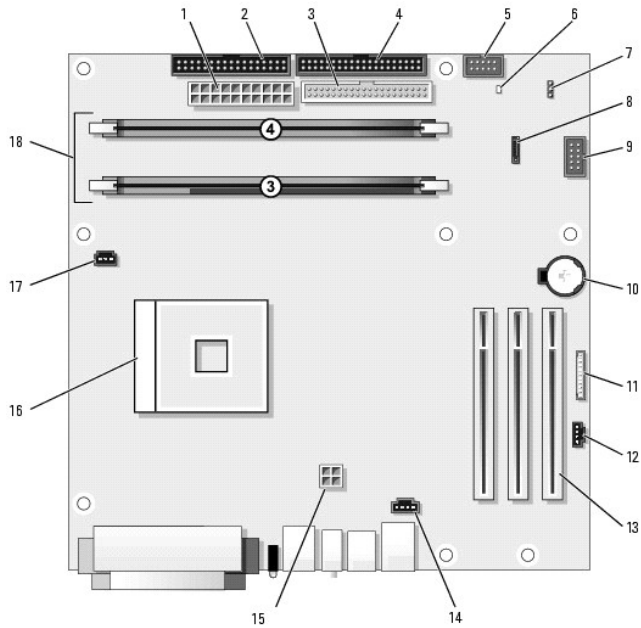
コンピュータの背面

1	パラレルコネクタ	プリンタなどのパラレルデバイスをパラレルコネクタに接続します。USB プリンタをお使いの場合、USB コネクタに差し込みます。
2	診断ライト(4)	診断ライトを利用すると、コンピュータの問題を解決する方法を示す診断コードを知るのに役立ちます(「診断ライト」を参照)。
3	マウスコネクタ	コンピュータの PS/2 マウスは、緑色のマウスコネクタに差し込みます。コンピュータおよび取り付けられているすべてのデバイスの電源を切ってから、マウスをコンピュータに接続します。USB マウスをお使いの場合、USB コネクタに差し込みます。
4	ライン入力コネクタ	青色のライン入力コネクタ(内蔵サウンドが搭載されたコンピュータで利用可能)を使って、カセットプレーヤー、CDプレーヤー、VCR などの録音 / 再生デバイスを接続します。 サウンドカードが搭載されたコンピュータの場合、カードのコネクタを使用します。
5	カバーラッチ	カバーラッチを使用して、カバーを所定の位置に収めます。
6	ネットワークアダプタコネクタ	コンピュータをネットワークやブロードバンドデバイスに接続するには、ネットワークケーブルの一方の端をネットワークジャックやブロードバンドデバイスに接続します。ネットワークケーブルのもう一方の端は、コンピュータの背面にあるネットワークアダプタコネクタに接続します。カチッという音がすれば、ネットワークケーブルはしっかり接続されています。 メモ: ネットワークコネクタにモデムケーブルを接続しないでください。 ネットワークコネクタカードが搭載されたコンピュータの場合、カードのコネクタを使用します。 ネットワークにはカテゴリ 5 の配線とコネクタを使用することをお勧めします。カテゴリ 3 の配線を使用する必要がある場合、信頼性のあるオペレーションを保証するために、ネットワーク速度を 10 Mbps に設定してください。
7	セキュリティケーブルスロット	セキュリティケーブルをスロットに接続すると、コンピュータの盗難防止に役立ちます。
8	PCI カードスロット(3)	これらのスロットは、モデムなどの PCI カードに使用します。
9	USB 2.0 コネクタ(4)	プリンタ、キーボード、および起動可能な USB デバイスなど、通常接続したままのデバイスには背面 USB コネクタを使用します。
10	マイクコネクタ	ピンク色のマイクコネクタ(内蔵サウンドが搭載されたコンピュータで利用可能)を使って、パーソナルコンピュータ用マイクを接続し、音声や音楽をサウンドまたはテレフォニープログラムに入力します。 サウンドカードが搭載されたコンピュータの場合、カードのマイクコネクタを使用します。
11	ライン出力コネクタ	緑色のライン出力コネクタ(内蔵サウンドが搭載されたコンピュータで利用可能)を使って、ヘッドフォンやほとんどのアンプ内蔵型スピーカーを接続します。 サウンドカードが搭載されたコンピュータの場合、カードのコネクタを使用します。
12	キーボードコネクタ	コンピュータの PS/2 キーボードは、紫色のマウスコネクタに差し込みます。コンピュータおよび取り付けられているすべてのデバイスの電源を切ってから、キーボードをコンピュータに接続します。USB キーボードをお使いの場合、USB コネクタに差し込みます。
13	ビデオコネクタ	モニターからのケーブルを青色のコネクタに接続します。
14	シリアルコネクタ	ハンドヘルドデバイスなどのシリアルデバイスをシリアルコネクタに接続します。
15	電圧選択スイッチ	詳細については、『製品情報ガイド』に記載されている「安全にお使いいただくために」の注意事項を参照してください。
16	電源コネクタ	電源ケーブルを接続します。

コンピュータの内部

警告：『製品情報ガイド』に記載されている「安全にお使いいただくために」の注意事項に従い、この項の作業を始めてください。

警告：感電防止のため、コンピュータのカバーを開く前に必ず、コンピュータの電源プラグをコンセントから抜いてください。

1	CD ドライブ	5	プライマリハードドライブ
2	セカンド CD ドライブ	6	電源装置
3	オプティカルフロッピードライブ	7	システム基板
4	セカンドハードドライブ		

システム基板のコンポーネント

1	電源コネクタ(J3J1)	10	バッテリーソケット(XBT9E1)
2	フロッピードライブコネクタ(J4J1)	11	正面パネルオーディオコネクタ(J9C2)
3	CD/DVD ドライブコネクタ(J6J1)	12	CD/DVD オーディオコネクタ(J9C1)
4	ハードドライブコネクタ(J6J2)	13	PCI カードスロット(3)(PCI1、PCI2、PCI3)
5	コントロールパネルコネクタ(J7J2)	14	モデムテレフォニー / 内蔵シャーシスピーカーコネクタ
6	スタンバイ電源ライト(AUX_PWR)	15	プロセッサ電源コネクタ(J5B1)
7	パスワードジャンパ(CLEAR PASSWORD)	16	プロセッサコネクタ(J2E1)
8	シリアル ATA コネクタ(J8G1)	17	ファンコネクタ(J1F1)
9	正面パネルコネクタ(J9G1)	18	メモリモジュールコネクタ(DIMM 1 および 2)

目次ページに戻る

目次ページに戻る

カード

Dell™ OptiPlex™ 170L ユーザーズガイド

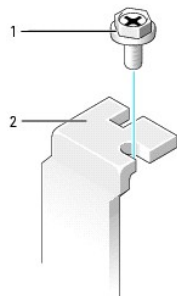
警告：『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の手順を開始してください。

注意：コンピュータ内部の部品への静電気による損傷を防ぐため、コンピュータの電子部品に触れる前に、身体から静電気を逃してください。コンピュータシャーシの塗装されていない金属面に触れることにより、静電気を逃がすことができます。

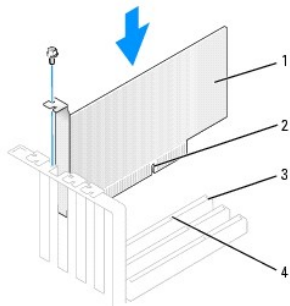
メモ：お使いの Dell コンピュータでは、PCI スロットのみを使用しています。ISA カードには対応していません。

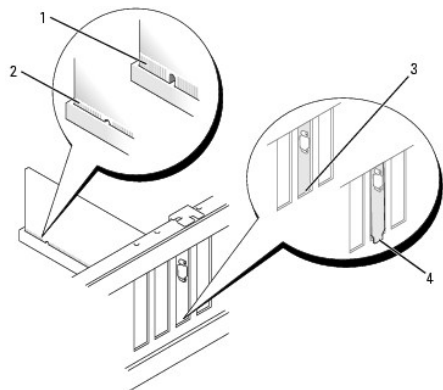
メモ：カードを交換する場合は、現在使用しているカードのドライバをオペレーティングシステムから削除します。

カードの取り付け

1. 「はじめに」の手順に従います。
2. コンピュータ内でシステム基板が下になるように、コンピュータを横に倒します。
3. 使用するカードスロットのフィラーブラケットに付けられたネジを緩めて取り外します。

1	固定ネジ
2	フィラーブラケット

警告：ネットワークアダプタの中には、ネットワークに接続すると自動的にコンピュータを起動するものがあります。感電を防ぐため、カードを取り付ける前に、コンピュータの電源プラグをコンセントから抜いていることを確認してください。

4. カードの底部にある切り込みと、システム基板コネクタのクロスバーを合わせます。カードが完全に装着されるまで、カードを優しく動かしながらコネクタに取り付けます。

1	カード
2	カードの切り込み
3	システム基板のカードコネクタ
4	クロスバー

5. カードが完全に装着されて、そのブラケットがカードスロット内にあることを確認します。

1	完全に装着されていないカード
2	完全に装着されたカード
3	スロット内のブラケット
4	スロットの外側にはみ出したブラケット

6. 手順 3 で取り外したネジを使ってカードブラケットを固定します。
7. 必要なすべてのケーブルをカードに接続します。

カードのケーブル接続については、カードに付属しているマニュアルを参照してください。

注意：カードケーブルは、カードの上や後ろを通して配線しないでください。カードの上を通して配線したケーブルは、装置が損傷する原因になります。

8. コンピュータカバーを取り付けます。

注意：ネットワークケーブルを接続するには、まずケーブルを壁のネットワークジャックに差し込み、次に、コンピュータに差し込みます。

9. コンピュータおよびデバイスをコンセントに接続して、電源を入れます。
10. サウンドカードを取り付けた場合、次の手順を実行します。
    a. セットアップユーティリティを起動し、**Audio Controller** を選んで、設定を **Off** に変更します。
    b. 外付けオーディオデバイスをサウンドカードのコネクタに接続します。外付けオーディオデバイスは、背面パネルのマイクコネクタ、スピーカー / ヘッドフォンコネクタ、またはライン入力コネクタには接続しないでください。
11. アドインネットワークアダプタを取り付けたため、内蔵ネットワークアダプタを無効にしたい場合、次の手順を実行します。
    a. セットアップユーティリティを起動し、**Network Controller** を選んで、設定を **Off** に変更します。
    b. ネットワークケーブルをアドインネットワークアダプタのコネクタに接続します。ネットワークケーブルは、背面パネルの内蔵コネクタには接続しないでください。
12. カードのマニュアルに記載されている、カードに必要なドライバをインストールします。

カードの取り外し

1. 「はじめに」の手順に従います。
2. カードの保持アームレバーを押して、保持アームを持ち上げます。
3. 必要に応じて、カードに接続されたケーブルを取り外します。

4. カードの上端の角をつかみ、コネクタから引き抜きます。
5. カードを取り外したままにする場合、空のカードスロット開口部にフィラーブラケットを取り付けます。

フィラーブラケットが必要な場合、デルにお問い合わせください。

メモ: コンピュータの FCC 認証を満たすため、フィラーブラケットを空のカードスロット開口部に取り付ける必要があります。また、フィラーブラケットを装着すると、コンピュータをほこりやゴミから保護できます。

6. 保持アームを下ろして所定の位置に押し込み、カードをコンピュータに固定します。

注意 : ネットワークケーブルを接続するには、まずケーブルを壁のネットワークジャックに差し込み、次に、コンピュータに差し込みます。

7. コンピュータカバーを取り付け、コンピュータとデバイスをコンセントに接続して、電源を入れます。
8. カードのドライバをオペレーティングシステムから削除します。
9. サウンドカードを取り外した場合、次の手順を実行します。
   a. セットアップユーティリティを起動し、**Integrated Devices** を選んで、**Sound** の設定を **On** に変更します。
   b. 外付けオーディオデバイスを、コンピュータ背面パネルのオーディオコネクタに接続します。
10. アドインネットワークコネクタを取り外した場合、次の手順を実行します。
    a. セットアップユーティリティを起動し、**Integrated Devices** を選んでから、**Network Interface Card** の設定を **On** に変更します。
    b. ネットワークケーブルをコンピュータ背面パネルの内蔵コネクタに接続します。

目次ページに戻る

目次ページに戻る

コントロールパネル

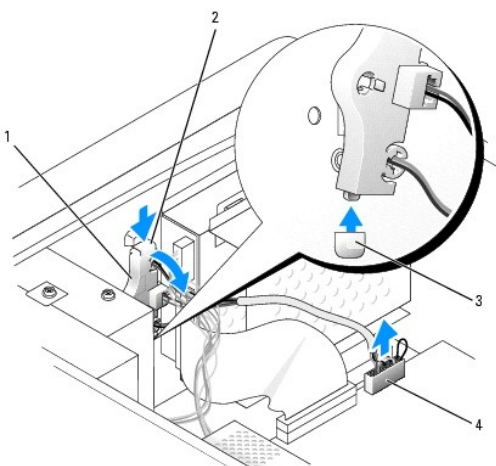
Dell™ OptiPlex™ 170L ユーザーズガイド

警告：『製品情報ガイド』に記載されている「安全にお使いいただくために」の注意事項に従い、この項の作業を始めてください。

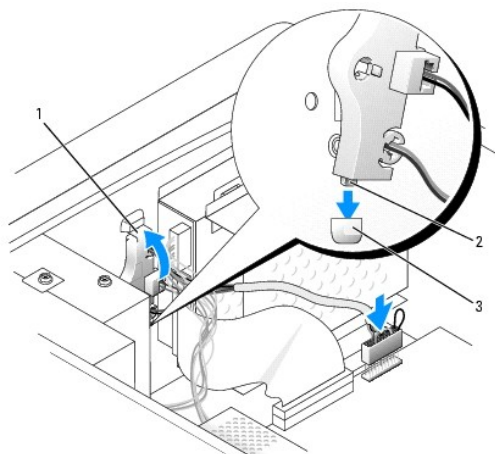
注意：ESD による損傷を防ぐため、静電気防止用リストバンドを使用するか、コンピュータの塗装されていない金属面（背面パネル等）に定期的に触れて、身体の静電気を逃がしてください。

注意：コンピュータからデバイスを取り外す前、またはシステム基板からコンポーネントを取り外す前に、システム基板のスタンバイ電源ライトがオフになっていることを確認してください。このライトの位置は、「システム基板のコンポーネント」を参照してください。

コントロールパネルの取り外し

1. 「はじめに」の手順に従います。
2. コントロールパネルケーブルをシステム基板上のコネクタから取り外します。
3. コントロールパネルレバーを押して、コンピュータのノッチからパネルを取り外します。

1	コントロールパネル
2	コントロールパネルレバー
3	切り込み
4	システム基板コネクタ

コントロールパネルの取り付け

1. 「はじめに」の手順に従います。
2. コントロールパネルタブをシャーシのノッチに挿入します。
3. コントロールパネルレバーがシャーシのタブで固定されているか確認します。
4. コントロールパネルケーブルをシステム基板上のコネクタに接続します。

1	コントロールパネルレバー
2	コントロールパネルタブ
3	切り込み

5. コンピュータカバーを取り付けます。

注意：ネットワークケーブルを接続するには、まずケーブルを壁のネットワークジャックに差し込み、次に、コンピュータに差し込みます。

6. コンピュータおよびデバイスをコンセントに接続して、電源を入れます。

目次ページに戻る

[目次ページに戻る]

Drives（ドライブ）

Dell™ OptiPlex™ 170L ユーザーズガイド

お使いのミニタワーコンピュータは、次のドライブをサポートします。

- シリアル ATA ハードドライブ 1 台
- IDE ハードドライブ 1 台
- ハードドライブ 2 台（IDE ドライブ 2 台の構成、または SATA ドライブ 1 台と IDE ドライブ 1 台の構成）
- オプションのフロッピードライブ 1 台
- オプションの CD または DVD ドライブ 2 台

一般的な取り付けガイドライン

システム基板上の「IDE」とラベルの付いたコネクタに CD/DVD ドライブを接続します。シリアル ATA ハードドライブは、システム基板上の「SATA0」とラベルの付いたコネクタに接続します。

ドライブケーブルの接続

ドライブを取り付ける場合、2 本のケーブル（DC 電源ケーブルとデータケーブル）をドライブの背面およびシステム基板に接続します。

ドライブインタフェースコネクタ

1	インタフェースコネクタ
2	インタフェースケーブル
3	IDE ケーブルの色帯

ほとんどのインタフェースコネクタは、正しく接続されるように設計されています。つまり、片方のコネクタに切り込みや欠けたピンがあり、もう一方のコネクタにあるつめや塞がれたピン穴と一致するようになっています。この仕組みによって、ケーブルの 1 番ピンワイヤはコネクタの端の 1 番ピンに確実に接続されます（1 番ピンは、IDE ケーブルの場合は色帯で示され、シリアル ATA では色帯は使用されません）。通常、基板上またはカード上にあるコネクタの 1 番ピン側には、基板またはカードに直接「1」と印字されています。

注意：IDE インタフェースケーブルを接続するときには、必ず色帯をコネクタの 1 番ピンに合わせてください。ケーブルを逆向きにすると、ドライブが正しく動作しなくなり、コントローラ、ドライブまたはその両方が損傷する恐れがあります。

電源ケーブルコネクタ

1	電源ケーブル
2	電源入力コネクタ

ドライブケーブルの接続と取り外し

IDE ドライブデータケーブルを取り外す場合は、色付きのプルタブをつかみ、引き抜いてコネクタから外します。

シリアル ATA データケーブルの抜き差しをおこなう場合は、ケーブルの両端にある黒いコネクタ部分を持ちます。

IDE コネクタと同様、シリアル ATA インタフェースコネクタも、正しく接続されるように設計されています。つまり、片方のコネクタに切り込みや欠けたピンがあり、もう一方のコネクタにあるつめや塞がれたピン穴と一致するようになっています。

ハードドライブ

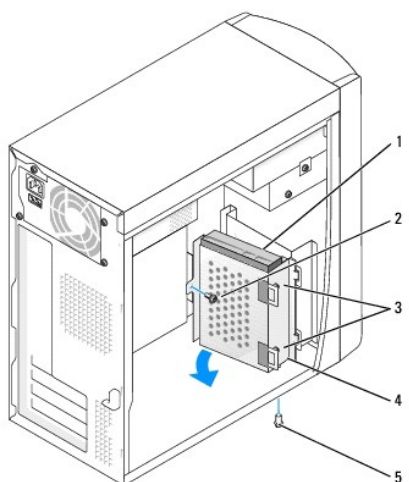
警告：『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の手順を開始してください。

警告：感電防止のため、カバーを開く前に必ず、コンピュータの電源プラグをコンセントから抜いてください。

注意：ドライブへの損傷を防ぐため、ドライブを硬い所に置かないでください。ドライブは、発泡樹脂製のパッドなど十分なクッション性のあるものの上に置いてください。

1. 残しておきたいデータを保存しているハードドライブを交換する場合、ファイルのバックアップを取ってから、次の手順を開始します。
2. ドライブのマニュアルを参照して、ドライブの設定がお使いのコンピュータに合っているか確認します。
3. 「はじめに」の手順に従います。

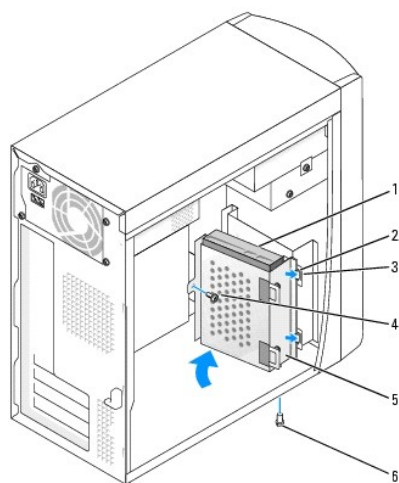
ハードドライブの取り外し

1. 電源ケーブルとハードドライブケーブルをドライブから取り外します。
2. 2 本のブラケット固定ネジを取り外し、ドライブブラケットをコンピュータから取り外します。
3. 3 本のハードドライブ固定ネジを取り外し、ハードドライブをブラケットから取り外します。

1	ハードドライブ
2	ブラケット固定ネジ
3	ハードドライブ固定ネジ（3）
4	ドライブブラケット
5	ブラケット固定ネジ

ハードドライブの取り付け

1. ドライブのマニュアルを参照して、ドライブの設定がお使いのコンピュータに合っているか確認します。

注意：交換用ドライブを箱から取り出すときは、ドライブへの損傷を防ぐため、ドライブを硬い所に置かないでください。ドライブは、発泡樹脂製のパッドなど十分なクッション性のあるものの上に置いてください。

2. 交換するハードドライブを箱から取り出します。
3. 次の手順を実行してハードドライブを取り付けます。
   a. ハードドライブをブラケットに置き、3 つのネジ穴のタブがすべてハードドライブの 3 つのネジ穴に入るように調節します。
   b. 取り外し手順の手順 3 で取り外したネジで、ブラケットをドライブに固定します。
   c. 2 つのブラケットタブをそれぞれドライブスロットに挿入し、ドライブが所定の位置に収まるまで回転させて、ドライブブラケットを取り付けます。
   d. 取り外し手順の手順 2 で取り外したブラケット固定ネジを取り付けます。

1	ハードドライブ	4	ブラケット固定ネジ
2	ブラケットタブ（2）	5	ドライブブラケット
3	ドライブスロット（2）	6	ブラケット固定ネジ

4. 電源ケーブルとデータケーブルを、交換するドライブの背面に接続します。
5. すべてのコネクタにケーブルが正しく接続され、ドライブがしっかりと固定されているか確認します。
6. コンピュータカバーを取り付けます。

注意：ネットワークケーブルを接続するには、まずケーブルを壁のネットワークジャックに差し込み、次に、コンピュータに差し込みます。

7. コンピュータおよびデバイスをコンセントに接続して、電源を入れます。

ドライブの動作に必要なソフトウェアをインストールする手順については、ドライブに付属のマニュアルを参照してください。

8. 取り付けたドライブがプライマリドライブの場合、起動ドライブに起動用メディアを挿入します。
9. セットアップユーティリティを起動して、適切な **Primary Drive** オプション（**0** または **1**）を更新します。
10. セットアップユーティリティを終了して、コンピュータを再起動します。
11. 次の手順に進む前に、ドライブにパーティションを作成して、論理フォーマットを実行します。

手順については、オペレーティングシステムに付属のマニュアルを参照してください。

12. Dell Diagnostics（診断）プログラムを実行して、ハードドライブをテストします。
13. ハードドライブにオペレーティングシステムをインストールします。

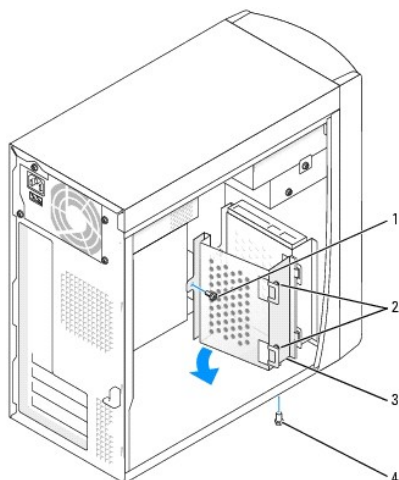
手順については、オペレーティングシステムに付属のマニュアルを参照してください。

セカンドハードドライブの追加または交換

警告：『製品情報ガイド』に記載されている「安全にお使いいただくために」の注意事項に従い、この項の作業を始めてください。

警告：ドライブへの損傷を防ぐため、ドライブを硬い所に置かないでください。ドライブは、発泡樹脂製のパッドなど十分なクッション性のあるものの上に置いてください。

メモ：セカンドドライブベイには、IDE または シリアル ATA ハードドライブのいずれかを取り付けることができます。

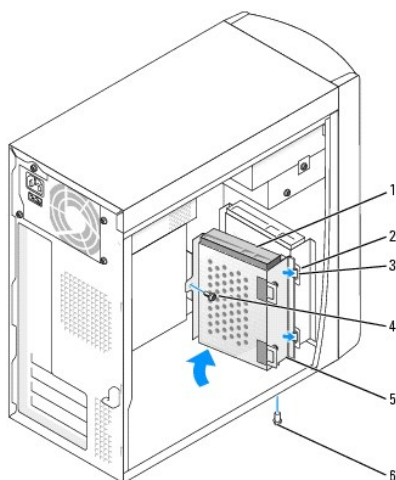
1. 「はじめに」の手順に従います。
2. プライマリハードドライブとブラケットを取り外します。プライマリハードドライブとブラケットを前方の位置に移動する必要があります（「ハードドライブの取り付け」を参照）。
3. セカンドハードドライブのブラケットをコンピュータから取り外します。
   a. セカンドドライブのブラケットにある 2 本の固定ネジを取り外します。
   b. セカンドドライブのブラケットをコンピュータから取り外します。
4. セカンドハードドライブを交換している場合は、電源ケーブルとハードドライブケーブルをドライブから引き抜き、ドライブをブラケットから取り外します。
   a. 3 本のハードドライブ固定ネジを取り外します。
   b. ハードドライブをブラケットから取り外します。

1	ブラケット固定ネジ
2	ハードドライブ固定ネジ(3)
3	ドライブブラケット
4	ブラケット固定ネジ

注意:コンピュータ背面の塗装されていない金属面に触れて、身体から静電気を逃がしてください。

注意:ドライブを箱から取り出すときは、ドライブへの損傷を防ぐため、ドライブを硬い所に置かないでください。ドライブは、発泡樹脂製のパッドなど十分なクッション性のあるものの上に置いてください。

5. セカンドハードドライブを箱から取り出します。
6. IDE ドライブを取り付けている場合は、セカンドドライブの背面にあるジャンパの設定を確認します。

新しいデバイスのジャンパ設定が「cable select」に設定されているか確認します(ドライブに付属のマニュアルを参照)。

7. 次の手順を実行してセカンドハードドライブを取り付けます。
   a. ドライブをブラケットに置き、3 つのネジ穴のタブがすべてハードドライブの 3 つのネジ穴に入るように調節します。
   b. 3 本のネジを締めてドライブをブラケットに固定します。
   c. 2 つのブラケットタブをそれぞれドライブスロットに挿入し、ドライブが所定の位置に収まるまで回転させて、ドライブブラケットを取り付けます。
   d. 2 本のブラケット固定ネジを取り付けます。

1	セカンドハードドライブ	4	ブラケット固定ネジ
2	ドライブスロット（2）	5	ドライブブラケット
3	ブラケットタブ（2）	6	ブラケット固定ネジ

8. 電源ケーブルとデータケーブルを両方のドライブに接続します。

注意：ネットワークケーブルを接続するには、まずケーブルを壁のネットワークジャックに差し込み、次に、コンピュータに差し込みます。

9. コンピュータおよびデバイスをコンセントに接続して、電源を入れます。

ドライブの動作に必要なソフトウェアをインストールする手順については、ドライブに付属のマニュアルを参照してください。

CD / DVD ドライブ

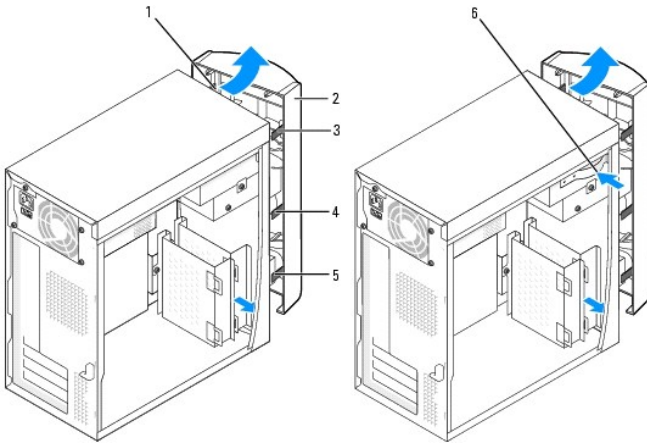
警告：『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の手順を開始してください。

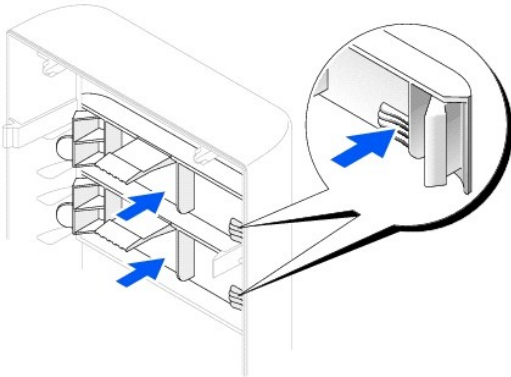
警告：感電防止のため、カバーを開く前に必ず、コンピュータの電源プラグをコンセントから抜いてください。

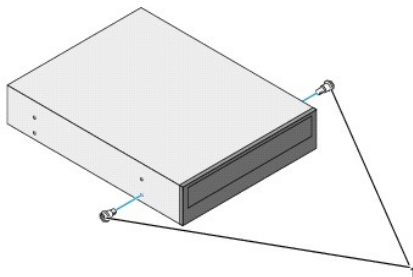
CD / DVD ドライブの取り付け

1. 「はじめに」の手順に従います。
2. 正面パネルを取り外すには次の手順を実行します。
   a. リリースレバーが付いているシステムの場合、リリースレバーを押して、トップタブを外します（次の図を参照）。

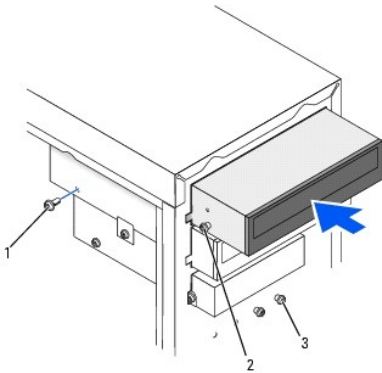
   リリースレバーが付いていないシステムの場合、コンピュータの内部が見えたら、トップタブを手前に引いて外します。

   b. コンピュータの内部が見えたら、ボトムタブを手前に引いて外します（ミドルタブは自動的に外れます）。
   c. 正面パネルを動かしてサイドヒンジから離します。

1	サイドヒンジ(3)	4	ミドルタブ
2	正面パネル	5	ボトムタブ
3	トップタブ	6	リリースレバー(一部のコンピュータのみ)

3. ドライブベイカバーの背面を押して、ミドルとボトムのドライブベイカバーを取り外します。

4. 新しいドライブのジャンパ設定が「cable select」に設定されているか確認します(ドライブに付属のマニュアルを参照)。

5. コンピュータの前面から 2 本の特別な位置合わせネジを取り外し、それをドライブに差し込みます。

1	ドライブ位置合わせネジ(2)

メモ: 特別な位置合わせネジの数は、コンピュータによって 2 本または 4 本になります。この手順では、2 本の位置合わせネジが必要です。

6. ドライブを所定の位置に優しくスライドさせます。

1	固定ネジ
2	ドライブ位置合わせネジ（2）
3	特別な位置合わせネジ（2 または 4）

7. ドライブを所定の位置に置いたら、ドライブが完全に装着するまでゆっくりと力を加えます。

8. ドライブに付属する固定ネジを使用して、ドライブをコンピュータに取り付けます。

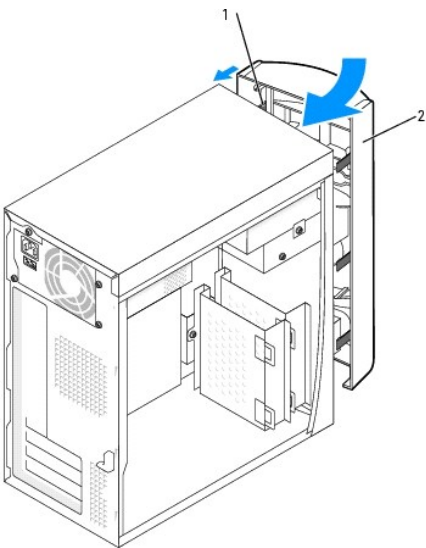
9. 電源ケーブルをシステム基板に接続します。

注意：ドライブデータケーブルを取り付けるときには、ケーブルの色帯とドライブの 1 番ピンの位置を合わせます（1 番ピンには「1」と印字されています）。

10. 電源ケーブル、オーディオケーブル、ドライブケーブルをドライブに接続します。

11. すべてのケーブル接続を確認します。冷却ファンや通気孔の妨げにならないようにケーブルをまとめておきます。

12. 手順 3 で取り外したボトムドライブベイカバーを取り付けなおします。

13. 正面パネルを再度サイドヒンジに取り付け、コンピュータの前面にきちんとはめ込みます。

1	サイドヒンジ（3）
2	正面パネル

14. コンピュータカバーを取り付けます。

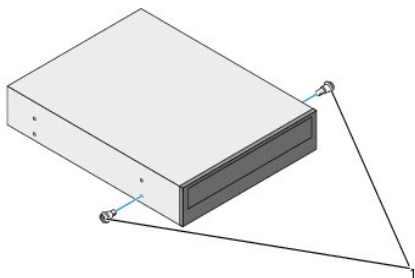
注意：ネットワークケーブルを接続するには、まずケーブルを壁のネットワークジャックに差し込み、次に、コンピュータに差し込みます。

15. コンピュータとデバイスをコンセントに接続して、電源を入れます。

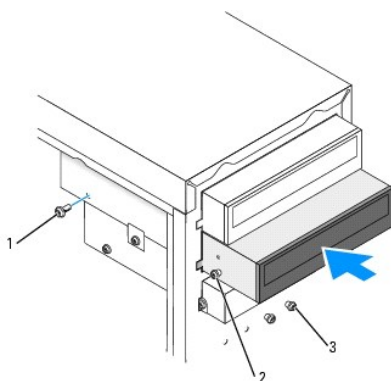
ドライブの動作に必要なソフトウェアをインストールする手順については、ドライブに付属のマニュアルを参照してください。

セカンド CD または DVD ドライブの追加

警告：『製品情報ガイド』に記載されている「安全にお使いいただくために」の注意事項に従い、この項の作業を始めてください。

1. 「はじめに」の手順に従います。
2. 正面パネルを取り外します。
3. ドライブベイカバーの背面を押して、ボトムドライブベイカバーを取り外します。
4. 新しいドライブのジャンパ設定が「cable select」に設定されているか確認します（ドライブに付属のマニュアルを参照）。
5. コンピュータの前面（フロッピードライブの真下）から 2 本の特別な位置合わせネジを取り外し、それをドライブに挿入します。

1	ドライブ位置合わせネジ（2）

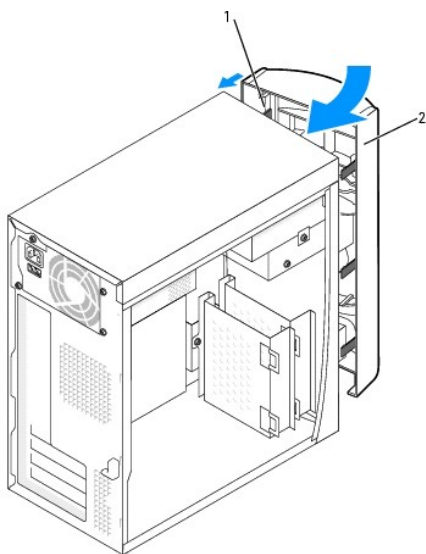
メモ：特別な位置合わせネジの数は、コンピュータによって 2 本または 4 本になります。この手順では、2 本の位置合わせネジが必要です。

6. ドライブを所定の位置に優しくスライドさせます。

1	固定ネジ
2	位置合わせネジ（2）

3	特別な位置合わせネジ（この場合のコンピュータは 2 本）

7. ドライブを所定の位置に置いたら、ドライブが完全に装着するまで力を加えます。
8. ドライブに付属する固定ネジを使用して、ドライブをコンピュータに取り付けます。
9. 電源ケーブルをシステム基板に接続します。

注意：ドライブデータケーブルを取り付けるときには、ケーブルの色帯とドライブの 1 番ピンの位置を合わせます（1 番ピンには「1」と印字されています）。

10. 上部ドライブベイの CD または DVD ドライブからデータケーブルを探し、そのミドルデータコネクタを新しいドライブに接続します。
11. 電源ケーブルとオーディオケーブルをドライブに接続します。
12. すべてのケーブル接続を確認します。冷却ファンや通気孔の妨げにならないようにケーブルをまとめておきます。
13. 正面パネルを再度サイドヒンジに取り付け、コンピュータの前面にきちんとはめ込みます。

1	サイドヒンジ
2	正面パネル

14. コンピュータカバーを取り付けます。

注意：ネットワークケーブルを接続するには、まずケーブルを壁のネットワークジャックに差し込み、次に、コンピュータに差し込みます。

15. コンピュータとデバイスをコンセントに接続して、電源を入れます。

ドライブの動作に必要なソフトウェアをインストールする手順については、ドライブに付属のマニュアルを参照してください。

フロッピードライブ

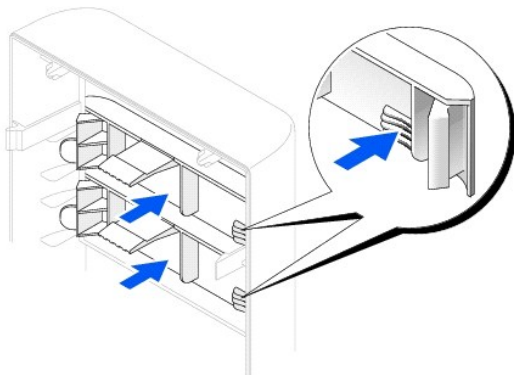
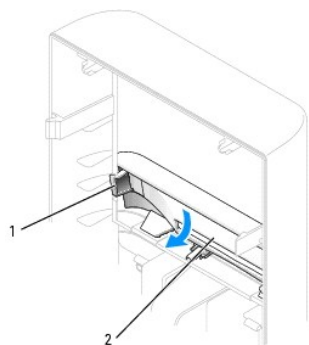
警告：『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の手順を開始してください。

警告：感電防止のため、カバーを開く前に必ず、コンピュータの電源プラグをコンセントから抜いてください。

フロッピードライブの取り付け

1. 「はじめに」の手順に従います。

2. 正面パネルを取り外します。

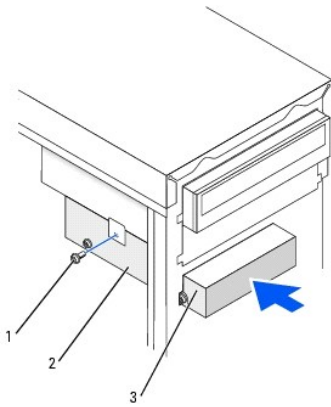
3. ドライブベイカバーの背面を押して、ミドルとボトムのドライブベイカバーを取り外します。セカンド CD ドライブを取り付けたら、ボトムのドライブベイカバーだけを取り外します。

4. フロッピードライブのドライブベイカバーにある 2 つのタブを押して、ドライブベイカバーを取り外します。

1	タブ（2）
2	ドライブベイカバー

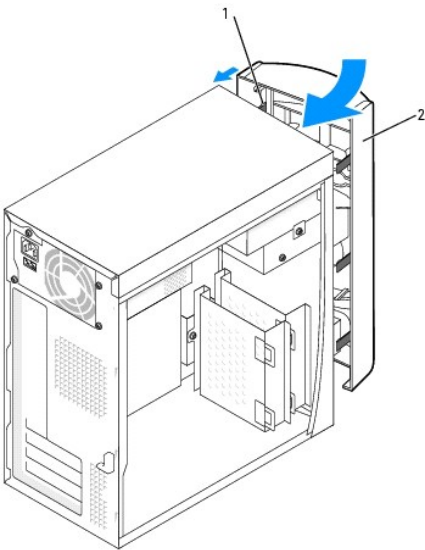
5. フロッピードライブブラケットの上部が上部ドライブベイの底部と揃うように置き、フロッピードライブブラケットを所定の位置の方向にスライドさせます。

メモ: フロッピードライブブラケットの上部には、2 つのスロットがあり、このスロットは上部ドライブベイの底部にある 2 つのクリップに収まります。フロッピードライブブラケットが正しく設置されている場合は、所定の位置に固定されます。

6. フロッピードライブの電源ケーブルを、ドライブの背面に接続します。

注意 : ドライブデータケーブルを取り付けるときには、ケーブルの色帯とドライブの 1 番ピンの位置を合わせます（1 番ピンには「1」と印字されています）。

7. データケーブルをドライブの背面とシステム基板上のフロッピードライブコネクタに接続します。

1	上部ブラケットのネジ
2	ドライブブラケット
3	フロッピードライブ

8. ドライブに付属する上部ブラケットのネジでフロッピードライブブラケットを固定します。
9. 正面パネルを再度サイドヒンジに取り付け、コンピュータの前面にきちんとはめ込みます。

1	サイドヒンジ（3）
2	正面パネル

10. すべてのケーブル接続を確認します。冷却ファンや通気孔の妨げにならないようにケーブルをまとめておきます。
11. コンピュータカバーを取り付けます。

注意：ネットワークケーブルを接続するには、まずケーブルを壁のネットワークジャックに差し込み、次に、コンピュータに差し込みます。

12. コンピュータおよびデバイスをコンセントに接続して、電源を入れます。

ドライブの動作に必要なソフトウェアをインストールする手順については、ドライブに付属のマニュアルを参照してください。

13. セットアップユーティリティを起動し、対応する **Diskette Drive A** オプションを更新して新しいフロッピードライブのサイズと容量を反映させます。

14. Dell Diagnostics（診断）プログラムを実行して、コンピュータが正しく動作することを確認します。

目次ページに戻る

目次ページに戻る

プロセッサ

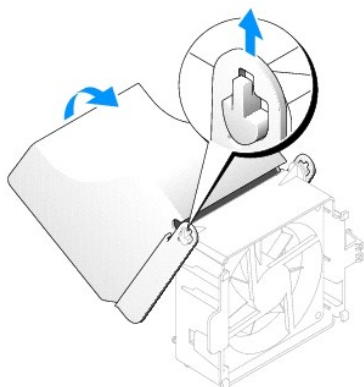
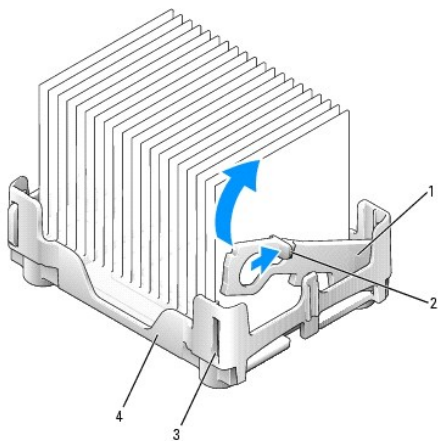
Dell™ OptiPlex™ 170L ユーザーズガイド

プロセッサの取り付け

警告 : 『製品情報ガイド』に記載されている「安全にお使いいただくために」の注意事項に従い、この項の作業を始めてください。

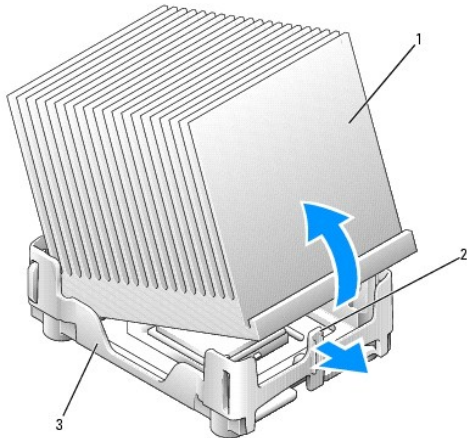
1. 「はじめに」の手順に従います。
2. 冷却ファン電源ケーブルをシステム基板の FAN コネクタから取り外します(「システム基板のコンポーネント」を参照)。
3. 電源ケーブルをシステム基板の 12VPOWER コネクタから取り外します。

警告 : 通常の操作中に、ヒートシンクは非常に高温になります。ヒートシンクに触れる前には十分に時間をかけ、ヒートシンクの温度が下がっていることを確認してください。

4. エアフローカバーを引き上げて取り外します。

5. ヒートシンクを取り外します。
   a. 緑色の固定クリップの上のタブを押して、クリップを保持基盤から取り外します。

1	固定クリップ
2	タブ

3	スロット
4	保持基盤

b. ヒートシンクの一方の端を持ち上げたまま、保持基盤タブを押して、ヒートシンクを取り外します。

注意：サーマル材が付いた面を上に向けてヒートシンクを置きます。

1	ヒートシンク
2	保持基盤タブ
3	保持基盤

注意：デル製のプロセッサアップグレードキットを取り付ける場合、元のヒートシンクは廃棄してください。デル製ではないプロセッサアップグレードキットを取り付ける場合、新しいプロセッサを取り付ける際は、元のヒートシンクを再利用してください。

注意：プロセッサをソケットから取り外す際は、ピンを曲げないように注意してください。ピンが曲がると、プロセッサに修復できない損傷を与える恐れがあります。

6. プロセッサが外れるようになるまでリリースレバーをまっすぐ引き上げ、プロセッサをソケットから取り外します。

1	リリースレバー
2	プロセッサ
3	ソケット

注意：コンピュータ背面の塗装されていない金属面に触れて、身体から静電気を逃がしてください。

注意：プロセッサを箱から取り出すときは、ピンを曲げないよう注意してください。ピンが曲がると、プロセッサに修復できない損傷を与える恐れがあります。プロセッサのピンが曲がっているようであれば、デルテクニカルサポートにお問い合わせください。

7. 新しいプロセッサを箱から取り出します。

1	位置を合わせたプロセッサとソケットの 1 番ピンの角

注意：コンピュータの電源を入れる際にプロセッサとコンピュータに修復できない損傷を与えないようにするため、プロセッサをソケットに正しく装着してください。

8. ソケット上のリリースレバーが完全に開いていない場合、その位置まで動かします。

9. プロセッサとソケットの 1 番ピンの角を合わせます。

注意：プロセッサをソケットに置くときは、すべてのピンがソケットの対応する穴に収まることを確認してください。

10. プロセッサをソケットに軽く置き、すべてのピンが穴に正しく向き合っているか確認します。力を入れないでください。無理に押し込むと、プロセッサがソケットと揃っていない場合、ピンを曲げてしまう恐れがあります。プロセッサが所定の位置に設定されていれば、軽く押すだけで自然とソケットに収まります。

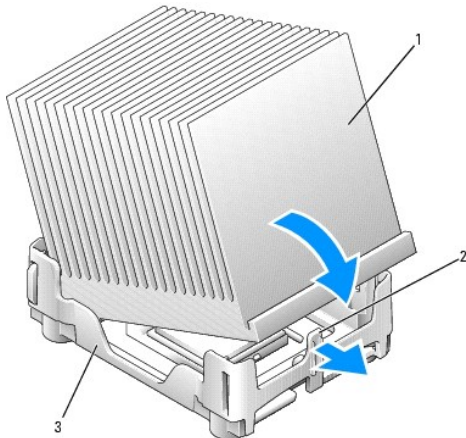
11. プロセッサをソケットに完全に装着できたら、リリースレバーを所定の位置にカチッと収まるまで後ろ側へ回し、プロセッサを固定します。

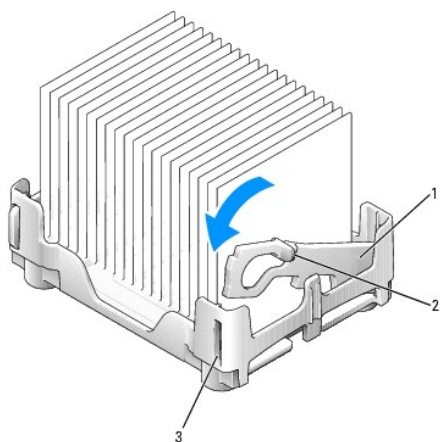
注意：デルのものでないプロセッサアップグレードキットを取り付ける場合、プロセッサを交換する際は、元のヒートシンクアセンブリを再利用してください。

デルのプロセッサ交換キットを取り付けた場合、元のヒートシンクとプロセッサを交換キットが送られてきたパッケージを使用して、デルに返却してください。

12. ヒートシンクを取り付けます。

   a. ヒートシンクの一方の端を保持基盤の端にあるタブの下に置きます。

   b. ヒートシンクが保持基盤のタブの下にしっかりと収まるまでヒートシンクを押し下げます。

1	ヒートシンク
2	保持基盤タブ
3	保持基盤

c. タブの反対側にある切り込みのあるクリップの端を保持基盤のスロットの中に入れて、固定クリップを挿入します。固定クリップタブを押して、固定クリップを所定の位置に押し込みます。切り込みのある固定クリップの端が保持基盤のスロットに固定されているか確認します。

1	固定クリップ
2	タブ
3	スロット

13. エアフローカバーをヒートシンクに被せます。
14. 冷却ファン電源ケーブルをシステム基板の FAN コネクタに接続します。
15. 電源ケーブルをシステム基板の 12VPOWER コネクタに接続します。
16. コンピュータカバーを取り付けます。

注意：ネットワークケーブルを接続するには、まずケーブルを壁のネットワークジャックに差し込み、次に、コンピュータに差し込みます。

17. コンピュータおよびデバイスをコンセントに接続して、電源を入れます。

目次ページに戻る

[目次ページに戻る]

問題の解決

Dell™ OptiPlex™ 170L ユーザーズガイド

診断ライト

問題のトラブルシューティングを容易にするため、お使いのコンピュータには背面パネルに「A」、「B」、「C」、および「D」とラベルのついた 4 つのライトがあります。これらのライトは、黄色または緑色です。コンピュータが正常に起動した場合、起動プロセスが完了するとライトのパターンとコードが変化します。システム起動プロセスの POST が正常に終了すると、4 つのライトはすべて緑色に点灯します。POST プロセス中にコンピュータが誤動作した場合、LED に表示されるパターンで、プロセスのどこでコンピュータが停止したか識別できる場合があります。

警告：『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の作業を開始してください。

ライトパターン		問題の説明	推奨される処置
D C B A	オフ オフ オフ オフ	コンピュータが通常のオフの状態、または BIOS に障害が起こっている可能性があります。	・コンピュータが機能しているコンセントに接続され、電源ボタンを押していることを確認します。
D C B A	黄色 緑色 黄色 黄色	プロセッサの障害が発生した可能性があります。	・プロセッサを取り付けなおして、コンピュータを再起動します。
D C B A	緑色 緑色 黄色 黄色	メモリモジュールが検出されましたが、メモリに障害が発生しています。	・取り付けているメモリモジュールが 1 つの場合、そのモジュールを取り付けなおしてコンピュータを再起動します。 ・取り付けているメモリモジュールが 2 つの場合、モジュールを取り外し、1 つのモジュールを取り付けなおしてコンピュータを再起動します。コンピュータが正常に起動する場合、もう 1 つのモジュールを取り付けなおします。 ・同じ種類の正常に動作しているメモリがある場合、そのメモリをコンピュータに取り付けます。 ・問題が解決しない場合、デルにお問い合わせください。
D C B A	黄色 黄色 緑色 黄色	PCI 拡張カードに障害が起こっている可能性があります。	・カード（ビデオカードではない）を取り外し、コンピュータを再起動してコンフリクトが起きているか調べます。 ・問題が解決しない場合、取り外したカードを取り付け、別のカードを取り外して、コンピュータを再起動します。 ・各カードでこの手順を繰り返します。コンピュータが正常に起動する場合、コンピュータから取り外した最後のカードのリソースコンフリクトのトラブルシューティングをおこないます（「ソフトウェアおよびハードウェアの非互換性の解決」を参照）。 ・各カードを 1 枚ずつ異なる PCI スロットに取り付けます。カードを取り付けるごとにコンピュータを再起動します。 ・問題が解決しない場合、デルにお問い合わせください。
D C B A	黄色 緑色 緑色 黄色	IDE ドライブに障害が起こっている可能性があります。	・IDE ドライブのすべての電源ケーブルとデータケーブルを接続しなおし、コンピュータを再起動します。

	緑色 緑色 緑色 黄色	USB に障害が起こっている可能性があります。	• すべての USB デバイスを取り付けなおし、ケーブル接続を確認して、コンピュータを再起動します。
	黄色 黄色 黄色 緑色	メモリモジュールが検出されませんでした。	• すべてのメモリモジュールを取り付けなおして、コンピュータを再起動します。 • メモリコネクタの不良の可能性を排除するために、すべてのメモリモジュールを取り外し、メモリモジュールを 1 つ取り付け（コンピュータが単一モジュールに対応している場合）、コンピュータを再起動します。コンピュータが正常に起動する場合、メモリモジュールを別のコネクタに移動して、コンピュータを再起動します。障害のあるコネクタが見つかるまで、またはエラーなしですべてのモジュールを取り付けなおすまで続けます。
	黄色 緑色 黄色 緑色	メモリモジュールは検出されましたが、メモリ構成または互換性エラーが存在します。	• 特別なメモリモジュール / メモリコネクタ設置要件がないことを確認します（詳細については「メモリ」を参照）。 • 取り付けるメモリモジュールがコンピュータと互換性があるか確認します。 • 問題が解決しない場合、デルにお問い合わせください。
	黄色 緑色 緑色 緑色	別の障害が発生しました。	• 取り付けられたすべてのハードドライブからシステム基板へのケーブルが正しく接続されているか確認します。 • モニター画面に表示されるコンピュータメッセージを確認します。 • 問題が解決しない場合、デルにお問い合わせください。
	緑色 緑色 緑色 緑色	POST 後、コンピュータは通常の動作状態にあります。	• 特にありません。

ビープコード

お使いのコンピュータの起動時に、モニターにエラーメッセージまたは問題を表示できない場合、ビープ音が連続して鳴ることがあります。この連続したビープ音はビープコードと呼ばれ、問題を特定します。ビープコードには、ビープ音がまず 1 回鳴り、次に連続して 3 回鳴ってから、1 回鳴るものがあります（コード 1-3-1）。このビープコードは、コンピュータにメモリの問題が発生していることを示します。

起動時にコンピュータがビープ音を発する場合、次の手順を実行します。

1. Diagnostics（診断）チェックリストにビープコードを記録します。
2. Dell Diagnostics（診断）プログラムを実行し、その原因をつきとめます。
3. デルに連絡してテクニカルサポートを受けてください。

コード	原因
1-1-2	プロセッサレジスタ障害
1-1-3	NVRAM
1-1-4	ROM BIOS チェックサム障害
1-2-1	プログラム可能インターバルタイマ障害
1-2-2	DMA 初期化障害
1-2-3	DMA ページレジスタ読み書き障害
1-3-1 ～ 2-4-4	メモリが正しく認識されていないか使用されていない
3-1-1	スレーブ DMA レジスタ障害
3-1-2	マスタ DMA レジスタ障害
3-1-3	マスタ割り込みマスクレジスタ障害
3-1-4	スレーブ割り込みマスクレジスタ障害

3-2-2	割り込みベクタロード障害
3-2-4	Keyboard Controller テスト障害
3-3-1	NVRAM 電力損失
3-3-2	NVRAM 構成
3-3-4	Video Memory テスト障害
3-4-1	画面初期化障害
3-4-2	画面リトレース障害
3-4-3	ビデオ ROM の検索障害
4-2-1	タイマチックなし
4-2-2	シャットダウン障害
4-2-3	ゲート A20 障害
4-2-4	保護モードで予測外の中断が発生
4-3-1	アドレス 0FFFFh 以上のメモリ障害
4-3-3	タイマーチップカウンタ 2 の障害
4-3-4	刻時機構が停止
4-4-1	シリアルまたはパラレルポートテスト障害
4-4-2	シャドウメモリにコードを解凍できない
4-4-3	数値演算コプロセッサテスト障害
4-4-4	キャッシュテスト障害

バッテリーの問題

以下を確認しながら、Diagnostics(診断)チェックリストに必要事項を記入してください。

警告：新しいバッテリーは、正しく装着しないと破裂する恐れがあります。バッテリーは、必ず同一または同等の、製造元が推奨するタイプのものと交換してください。使用済みのバッテリーは、製造元の指示に従って廃棄してください。

警告：『製品情報ガイド』に記載されている「安全にお使いいただくために」の注意事項に従い、この項の作業を始めてください。

バッテリーを交換します — コンピュータの電源を入れた後、繰り返し時間と日付の情報をリセットする必要がある場合、または起動時に間違った時間または日付が表示される場合、バッテリーを交換します。それでもバッテリーが正常に機能しない場合、デルにお問い合わせください。

カードの問題

以下をチェックし、Diagnostics(診断)チェックリストに必要事項を記入してください。

警告：『製品情報ガイド』に記載されている「安全にお使いいただくために」の注意事項に従い、この項の作業を始めてください。

カードの装着状態およびケーブルを確認します

1. コンピュータとデバイスの電源を切り、コンセントから外します。10 ～ 20 秒待ってコンピュータカバーを取り外します。
2. 各カードがコネクタにしっかりと装着されているかを確認します。緩んでいるカードを装着しなおします。
3. カードのコネクタに対応するすべてのケーブルがしっかりと接続されているか確認します。緩んでいるケーブルは接続しなおします。

   カード上の特定のコネクタにどのケーブルを接続するかについては、カードのマニュアルを参照してください。

4. コンピュータカバーを交換し、コンピュータとデバイスをコンセントに接続して、電源を入れます。

カードをテストします

1. コンピュータとデバイスの電源を切り、コンセントから外します。10 ～ 20 秒待ってコンピュータカバーを取り外します。
2. 前の手順で取り外したカードの 1 つを取り付けなおします。
3. コンピュータカバーを交換し、コンピュータとデバイスをコンセントに接続して、電源を入れます。
4. Dell Diagnostics（診断）プログラムを実行します。

   テストのいずれかに失敗した場合、装着しなおしたカードが不良であるため、交換する必要があります。

5. すべてのカードの再取り付けが終わるまで、この手順を繰り返します。

すべてのカードを取り付けなおしても、カードの問題が解決しない場合、デルにお問い合わせください。

NVRAM のクリアとデフォルト設定の復元

コンピュータの NVRAM（不揮発性ランダムアクセスメモリ）をクリアして、システム設定をデフォルト値に戻すには、次の手順を実行します。

1. コンピュータの電源を入れます（または再起動します）。
2. 画面の右上角に「Press <F2> to Enter Setup」と表示されたら、すぐに <F2> を押します。

   ここで時間をおきすぎて Microsoft® Windows® ロゴが表示された場合、Windows デスクトップが表示されるまで待ちます。次に、スタート メニューからコンピュータをシャットダウンして、再度試みます。

3. <Caps Lock>、<Scroll Lock>、および <Num Lock> キーを切り換えて、3 つの機能のステータスライトがすべて点灯するようにします。

メモ: <Num Lock> キーはデフォルトで有効になっているのが普通であるため、キーを切り換えると Num Lock 機能が無効になる可能性があります。NVRAMをクリアする前に、Num Lock 機能が有効であることを示すキーボードのライトが点灯していることを確認してください。

4. <Alt> と <e> を同時に押します。

   ビープ音が鳴り、NVRAM がクリアされたことを知らせます。

5. <Alt> と <f> を同時に押すと、コンピュータの最初のデフォルト設定に戻ります。

メモ: コンピュータを出荷時の設定に戻したら、すべての IDE デバイスが存在し、有効であることを確認します。また、日付と時刻を確認し、必要に応じてリセットします。

6. <Esc> を押し、次に <Enter> を押すと変更が保存され、コンピュータが再起動します。

ドライブの問題

以下をチェックし、Diagnostics（診断）チェックリストに必要事項を記入してください。

フロッピードライブの問題

ドライブを確認します

- 別のディスクを挿入して、元のフロッピーディスクに問題がないことを確認します。
- 起動ディスクを挿入して、コンピュータを再起動します。

ディスクの空き容量が十分か、書き込み禁止になっていないか確認します — ディスクに空き容量があり、書き込み禁止（ロック）になっていないことを確認します。

フロッピードライブライトを確認します

MS-DOS®

フロッピーディスクを挿入し、DOS プロンプトで `dir a:` と入力して、<Enter> を押します。

Microsoft® Windows® オペレーティングシステム

フロッピーディスクを挿入し、**スタート** ボタンをクリックし、**マイコンピュータ** をクリックして、フロッピードライブのアイコンをダブルクリックします。

Dell Diagnostics（診断）プログラム**を実行します —** いずれかのテストに失敗した場合、デルにお問い合わせください。

注意: 綿棒でドライブヘッドを拭かないでください。誤ってヘッドがずれてしまい、ドライブが動作しなくなる場合があります。

ドライブをクリーニングします — 市販のクリーニングキットを使用します。

警告: 『製品情報ガイド』に記載されている「安全にお使いいただくために」の注意事項に従い、この項の作業を始めてください。

フロッピードライブを取り外して再度取り付けます — この手順の詳細については、「フロッピードライブ」を参照してください。

ドライブのエラーメッセージが表示される場合、詳細については、「エラーメッセージ」を参照してください。

CD ドライブの問題

Windows の音量を調整します — 画面右下にあるスピーカーのアイコンをクリックします。 - スライドバーをクリックし、右にドラッグして、音量が上がることを確認します。 - チェックマークの付いたボックスをクリックして、サウンドがミュートに設定されていないか確認します。
別の CD が再生できるか確認します — 元の CD に問題のないことを確認するため、別の CD を挿入します。
スピーカーおよびサブウーハーを確認します — 「サウンドとスピーカーの問題」を参照してください。
Windows がドライブを認識しているか確認します — スタート ボタンをクリックして、**マイコンピュータ** をクリックします。CD ドライブが一覧に表示されない場合、アンチウイルスソフトウェアでウイルスチェックをおこない、ウイルスを調査して除去します。ウイルスが原因で Windows がドライブを認識できないことがあります。
ディスクをクリーニングします — 市販のクリーニングキットを使用します。

CD-RW ドライブに書き込みができない場合

他のプログラムを閉じます — CD-RW ドライブはデータを書き込むとき、一定のデータの流れを必要とします。データの流れが中断されるとエラーが発生します。CD-RW に書き込みを開始する前に、すべてのプログラムを終了してみます。

DVD ドライブの問題

メモ: 国や地域によってディスクフォーマットが異なるため、すべての DVD がお使いの DVD ドライブで再生できるわけではありません。

別の DVD が再生できるか確認します — 元の DVD に問題のないことを確認するため、別の DVD を挿入します。
Windows がドライブを認識しているか確認します — スタート ボタンをクリックして、**マイコンピュータ** をクリックします。DVD ドライブが一覧に表示されない場合、アンチウイルスソフトウェアでウイルスチェックをおこない、ウイルスを調査して除去します。ウイルスが原因で Windows がドライブを認識できないことがあります。
ディスクをクリーニングします — 市販のクリーニングキットを使用します。
割り込み要求のコンフリクトがないか確認します — 「ソフトウェアおよびハードウェアの非互換性の解決」を参照してください。

ハードドライブの問題

ハードドライブを確認します Windows XP および Windows 2000 — チェックディスクユーティリティを実行します。 1. Windows XP では、**スタート** ボタンをクリックして、**マイコンピュータ** をクリックします。Windows 2000 では、Windows デスクトップの **マイコンピュータ** をダブルクリックします。 2. **ツール** タブをクリックします。 3. **エラーチェック**の項目で、**チェックする** をクリックします。 4. **不良なセクタをスキャンし、回復する** をクリックします。 5. **開始** をクリックします。 MS-DOS MS-DOS プロンプトで scandisk *x*: と入力します。*x* はハードドライブの文字です。次に、<Enter> を押します。
Dell Diagnostics（診断）プログラム**を実行します —** テストでドライブまたはドライブコントローラに問題があることがわかった場合、デルにお問い合わせください。
ケーブルの接続を確認します 1. 電源装置の DC 電源ケーブルが、各ドライブのコネクタにしっかりと接続されているか確認します。 2. 各ドライブのインタフェースケーブルが、ドライブおよびシステム基板にしっかりと接続されているか確認します。 3. コントロールパネルケーブルがシステム基板にしっかりと接続されているか確認します。 起動ルーチン中にハードドライブ動作ライトが点滅しない場合、デルにお問い合わせください。 ドライブのエラーメッセージが表示される場合、詳細については、「エラーメッセージ」を参照してください。 オペレーティングシステムを含んだプライマリハードドライブが起動しない場合、オペレーティングシステム内のファイルが壊れている可能性があります。詳細については、オペレーティングシステムのマニュアルを参照してください。

コンピュータを落としたり損傷を与えた場合

警告: 『製品情報ガイド』に記載されている「安全にお使いいただくために」の注意事項に従い、この項の作業を始めてください。

カードおよびケーブルの接続を確認します

1. コンピュータとデバイスの電源を切り、コンセントから外します。10 ～ 20 秒待ってコンピュータカバーを取り外します。
2. コンピュータ内部のすべてのカードの接続を確認し、緩んでいるカードを取り付けなおします。
3. すべてのケーブルが正しく接続されていること、およびすべてのコンポーネントが所定のコネクタやソケットに正しく装着されていることを確認します。
4. コンピュータカバーを交換し、コンピュータとデバイスをコンセントに接続して、電源を入れます。
5. Dell Diagnostics（診断）プログラムを実行します。

   いずれかのテストに失敗した場合、デルにお問い合わせください。

エラーメッセージ

メッセージが一覧にない場合、オペレーティングシステム、またはメッセージが表示された際に実行していたプログラムのマニュアルを参照してください。

A filename cannot contain any of the following characters:\ / : * ? " < > | — これらの記号をファイル名に使用しないでください。

A required .DLL file was not found — 開こうとしているプログラムに必要なファイルが見つかりません。次の操作をおこない、アプリケーションプログラムを削除して再インストールします。

1. **スタート** ボタンをクリックし、**コントロール パネル** をクリックして、**プログラムの追加と削除** をクリックします。
2. 削除したいプログラムを選択します。
3. **変更** ボタンまたは **削除** ボタンをクリックします。
4. インストール手順については、プログラムのマニュアルを参照してください。

Alert!Previous attempts at booting this system have failed at checkpoint [*nnnn*].For help in resolving this problem, please note this checkpoint and contact Dell Technical Support — 同じエラーによって、コンピュータは 3 回連続して起動ルーチンを終了できませんでした。デルに連絡して、テクニカルサポート担当者にチェックポイントコード（*nnnn*）を伝えてください。

Attachment failed to respond — フロッピードライブコントローラまたはハードドライブコントローラが、関連するドライブにデータを送れません。トラブルシューティングについては、「フロッピードライブの問題」または「ハードドライブの問題」を参照してください。

Bad command or file name — コマンドのスペルが正しいか、スペースを適切な位置に置いたか、正しいパス名を使用したか確認します。

Bad error-correction code (ECC) on disk read — フロッピードライブコントローラまたはハードドライブコントローラが、修正不能な読み取りエラーを検出しました。トラブルシューティングについては、「フロッピードライブの問題」または「ハードドライブの問題」を参照してください。

Controller has failed — ハードドライブまたはそれに関連するコントローラが不良です。トラブルシューティングについては、「ドライブの問題」を参照してください。

Data error) — フロッピーまたはハードドライブからデータを読み取ることができません。

- Microsoft® Windows® オペレーティングシステムの場合、chkdsk ユーティリティを実行して、フロッピードライブまたはハードドライブのファイル構造を調べます。
- 別のオペレーティングシステムの場合、該当するユーティリティを実行します。

これらのユーティリティを実行するには、オペレーティングシステムのマニュアルを参照してください。

Decreasing available memory — メモリモジュールに問題があるか、またはメモリモジュールが正しく取り付けられていない可能性があります。

- メモリモジュールを取り付けなおし、必要に応じて、メモリモジュールを交換します。
- 追加のトラブルシューティングについては、「メモリの問題」を参照してください。

Diskette drive 0 seek failure — ケーブルが緩んでいるか、コンピュータ設定情報がハードウェア構成と一致していない可能性があります。トラブルシューティングについては、「フロッピードライブの問題」を参照してください。

Diskette read failure — フロッピーディスクが不良であるか、またはケーブルが緩んでいる可能性があります。

- ドライブライトが点灯する場合、別のディスクを試してみます。
- トラブルシューティングについては、「フロッピードライブの問題」を参照してください。

Diskette subsystem reset failed — フロッピードライブコントローラが不良である可能性があります。Dell Diagnostics（診断）プログラムを実行します。

Diskette write protected — フロッピーディスクが書き込み保護になっています。書き込み保護ノッチをオープン位置にスライドします。

Drive not ready — フロッピーディスクがドライブ内にありません。フロッピーディスクをドライブに挿入します。

Gate A20 failure — 1 つまたは複数のメモリモジュールが不良であるか、または正しく取り付けられていない可能性があります。

- メモリモジュールを取り付けなおし、必要に応じて、メモリモジュールを交換します。
- 追加のトラブルシューティングについては、「メモリの問題」を参照してください。

General failure — オペレーティングシステムがコマンドを実行できません。通常、このメッセージの後ろには具体的な情報が示されます（例：`Printer out of paper`）。適切な処置をおこなって問題を解決します。

Hard-disk configuration error —
Hard-disk controller failure —
Hard-disk drive failure —
Hard-disk drive failure — ハードドライブが初期化をおこなえませんでした。

- Dell Diagnostics（診断）プログラムを実行します。
- トラブルシューティングについては、「ハードドライブの問題」を参照してください。

Insert bootable media — オペレーティングシステムが起動用以外のフロッピーディスクまたは CD から起動しようとしています。起動ディスクまたは起動 CD を挿入します。

Invalid configuration information - please run SETUP program — コンピュータ設定情報がハードウェア構成と一致していません。セットアップユーティリティを起動して、コンピュータ設定情報を修正します。

Keyboard failure —

ケーブルまたはコネクタに緩みがあるか、キーボードまたはキーボード / マウスコントローラが不良である可能性があります。「キーボードの問題」を参照してください。

Memory address line failure at *address*, read *value* expecting *value* — メモリモジュールが不良であるか、正しく取り付けられていない可能性があります。メモリモジュールを取り付けなおし、必要に応じて、メモリモジュールを交換します。追加のトラブルシューティングについては、「メモリの問題」を参照してください。

Memory allocation error — 実行しようとしているソフトウェアがオペレーティングシステム、他のアプリケーションプログラム、またはユーティリティとコンフリクトしています。

1. コンピュータの電源を切り、30 秒待ってから再起動します。
2. 再度プログラムを実行してみます。
3. 再度エラーメッセージが表示される場合、追加のトラブルシューティングについては、ソフトウェアのマニュアルを参照してください。

Memory data line failure at *address*, read *value* expecting *value* —
Memory double word logic failure at *address*, read *value* expecting *value* —
Memory odd/even logic failure at *address*, read *value* expecting *value* —
Memory write/read failure at *address*, read *value* expecting *value* —

メモリモジュールが不良であるか、または正しく取り付けられていない可能性があります。メモリモジュールを取り付けなおし、必要に応じて、メモリモジュールを交換します。追加のトラブルシューティングについては、「メモリの問題」を参照してください。

Memory size in CMOS invalid — コンピュータ設定情報に記録されているメモリ量がコンピュータに実際取り付けられているメモリと一致していません。コンピュータを再起動します。エラーメッセージが再度表示される場合、デルにお問い合わせください。追加のトラブルシューティングについては、「メモリの問題」を参照してください。

Memory tests terminated by keystroke — キーストロークによってメモリテストが中断されました。コンピュータを再起動して、再度テストを実行します。

No boot device available — コンピュータがフロッピーディスクまたはハードドライブを見つけることができません。

- フロッピードライブが起動デバイスの場合、起動ディスクがドライブに挿入されているか確認します。
- ハードドライブが起動デバイスの場合、ドライブが適切に装着されていて、起動デバイスとしてパーティション分割されているか確認します。
- セットアップユーティリティを起動して、起動順序の情報が正しいか確認します。

No boot sector on hard-disk drive — セットアップユーティリティの設定情報が間違っている可能性があります。セットアップユーティリティを起動して、ハードドライブのコンピュータ設定情報が正しいか確認します。

オペレーティングシステムが壊れている可能性があります。オペレーティングシステムを再インストールします。再インストールについては、オペレーティングシステムのマニュアルを参照してください。

No timer tick interrupt — システム基板上のチップが誤動作している可能性があります。Dell Diagnostics（診断）プログラムを実行します。

Non-system disk or disk error — ドライブ A のフロッピーディスクに起動オペレーティングシステムがインストールされていません。起動オペレーティングシステムの入ったフロッピーディスクと交換するか、ドライブ A からフロッピーディスクを取り出してコンピュータを再起動します。

Not a boot diskette — 起動オペレーティングシステムがインストールされていないフロッピーディスクから起動しようとしています。起動ディスクを挿入します。

Not enough memory or resources.Close some programs and try again — あまりに多くのプログラムを開いています。すべてのウィンドウを閉じ、使用したいプログラムを開きます。場合によっては、コンピュータを再起動してコンピュータリソースを復元する必要があります。その場合、使用したいプログラムを最初に実行します。

Operating system not found — デルにお問い合わせください。

Plug and Play Configuration Error — 1 枚または複数のカードを設定中に問題が発生しました。

1. コンピュータの電源を切り、コンセントから取り外します。次に、カードを 1 枚だけ残してすべて取り外します。
2. コンピュータのプラグを差し込み、再起動します。
3. メッセージが再度表示される場合、取り付けられているカードが誤動作している可能性があります。メッセージが再度表示されない場合、コンピュータの電源を切り、別のカードを 1 枚挿入します。
4. 誤動作しているカードがわかるまで、この手順を繰り返します。

Read fault — オペレーティングシステムがフロッピードライブまたはハードドライブからデータを読み取れません。ディスク上の特定のセクターが見つからなかったか、要求されたセクターが不良です。トラブルシューティングについては、「フロッピードライブの問題」または「ハードドライブの問題」を参照してください。

Requested sector not found — オペレーティングシステムがフロッピードライブまたはハードドライブからデータを読み取れません。ディスク上の特定のセクターが見つからなかったか、要求されたセクターが不良です。トラブルシューティングについては、「フロッピードライブの問題」または「ハードドライブの問題」を参照してください。

Reset failed — ディスクのリセットに失敗しました。トラブルシューティングについては、「フロッピードライブの問題」または「ハードドライブの問題」を参照してください。

Sector not found — オペレーティングシステムがフロッピーまたはハードドライブ上のセクタを見つけることができません。

- Windows のエラーチェックユーティリティを実行して、フロッピーディスクまたはハードドライブのファイル構造を調べます。手順については、Windows ヘルプを参照してください。
- 多くのセクタに障害がある場合、可能であればデータをバックアップして、フロッピーディスクまたはハードドライブを再フォーマットします。

Seek error — オペレーティングシステムがフロッピーディスクまたはハードドライブ上の特定のトラックを見つけることができません。トラブルシューティングについては、「フロッピードライブの問題」または「ハードドライブの問題」を参照してください。

Shutdown failure — システム基板上のチップが誤動作している可能性があります。Dell Diagnostics（診断）プログラムを実行します。

The file being copied is too large for the destination drive — コピーしようとしているファイルは、ディスクに保存するには大きすぎます。ファイルを空のディスクにコピーするか、容量の大きなディスクを使用します。

Time-of-day clock stopped — バッテリーが機能していない可能性があります。セットアップユーティリティを起動して、日時を訂正します。問題が解決しない場合、デルにお問い合わせください。追加のトラブルシューティングについては、「バッテリーの問題」を参照してください。

Time-of-day not set-please run the System Setup program — セットアップユーティリティに保持されている時間または日付がコンピュータクロックと一致していません。セットアップユーティリティを起動して、**Date** および **Time** オプションを修正します。

Timer chip counter 2 failed — システム基板上のチップが誤動作している可能性があります。Dell Diagnostics（診断）プログラムを実行します。

Unexpected interrupt in protected mode — キーボードコントローラが誤動作しているか、メモリモジュールが緩んでいる可能性があります。Dell Diagnostics（診断）プログラムを実行します。

WARNING:Dell's Disk Monitoring System has detected that drive [0/1] on the [primary/secondary] EIDE controller is operating outside of normal specifications.It is advisable to immediately back up your data and replace your hard drive by calling your support desk or Dell — 初期起動中に、ドライブがエラー発生の可能性を検出しました。

- コンピュータが起動を終了したら、ただちにデータのバックアップを取り、ハードドライブを交換します。
- すぐに利用できる交換用のドライブがなく、そのドライブが唯一の起動ドライブではない場合、セットアップユーティリティを起動して、該当するドライブの設定を **None**（なし）に変更します。次に、ドライブをコンピュータから取り外します。

Write fault — オペレーティングシステムがフロッピードライブまたはハードドライブにデータを書き込めません。トラブルシューティングについては、「フロッピードライブの問題」または「ハードドライブの問題」を参照してください。
Write fault on selected drive — オペレーティングシステムがフロッピードライブまたはハードドライブにデータを書き込めません。トラブルシューティングについては、「フロッピードライブの問題」または「ハードドライブの問題」を参照してください。
a:\ is not accessible.The device is not ready — フロッピードライブがディスクからのデータを読み取れません。フロッピーディスクをドライブに挿入して、再度試してみます。

一般的な問題

コンピュータの反応が停止した場合

コンピュータの電源を切ります — コンピュータがロックアップして、キーボードのキーを押したり、マウスを動かしてもコンピュータが応答しない場合、コンピュータの電源が切れるまで、電源ボタンを 8 ～ 10 秒以上押し続けます。次に、電源ボタンを再度押して、コンピュータの電源を入れます。オペレーティングシステムのシャットダウンが実行できない場合、データを損失する恐れがあります。

プログラムの反応が停止した場合

プログラムを終了します

Windows® XP、Windows 2000

1. <Ctrl> <Shift> <Esc> を同時に押します。
2. **アプリケーション** をクリックします。
3. 応答しなくなったプログラムをクリックします。
4. **タスクの終了** をクリックします。

プログラムが繰り返し壊れる場合

メモ: ソフトウェアのインストール手順は、通常、ソフトウェアのマニュアルまたはフロッピーディスクや CD に収録されています。

ソフトウェアのマニュアルを確認します — 多くのソフトウェアの製造元は、問題を解決するための情報をウェブサイトに掲載しています。プログラムが適切にインストールされ、正しく設定されているか確認します。必要に応じて、プログラムをアンインストールしてから再インストールします。

画面が青一色になった場合

コンピュータの電源を切ります — キーボードのキーを押してもコンピュータが応答しない場合や正常なシャットダウンができない場合、コンピュータの電源が切れるまで、電源ボタンを 8 ～ 10 秒以上押し続けます。次に、電源ボタンを再度押して、コンピュータを再起動します。chkdsk プログラムが、起動プロセス中に自動的に実行されます。画面の指示に従います。

その他のソフトウェアの問題

トラブルシューティングについては、ソフトウェアのマニュアルを確認するかソフトウェアの製造元に問い合わせます —
すぐにお使いのファイルのバックアップを作成します — お使いのコンピュータに CD-RW ドライブまたは zip ドライブが搭載されている場合、バックアップ作成の手順については、ドライブのマニュアルを参照してください。
入力したデータが間違っていないか確認します — プログラムに付属のマニュアルを参照して、入力した値または文字が有効であるか確認します。
ウイルスを調べます — アンチウイルスプログラムを使って、ハードドライブ、フロッピーディスク、または CD を調べます。
コンピュータを再起動します — 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、開いているすべてのプログラムをすべて終了します。次に電源ボタンを押さずに、**スタート** メニューからコンピュータをシャットダウンします。スタートメニューからコンピュータをシャットダウンできない場合、データを損失する恐れがあります。

互換性を確認します;

- プログラムがお使いのコンピュータにインストールされているオペレーティングシステムに対応していること、およびコンピュータがソフトウェアを実行するのに必要な最小ハードウェア要件を満たしていることを確認します。詳細については、ソフトウェアのマニュアルを参照してください。
- 必要に応じて、プログラムをアンインストールしてから再インストールします。

プログラムが正しくインストールされ、設定されているか確認します — 詳細については、ソフトウェアのマニュアルを参照してください。必要に応じて、プログラムをアンインストールしてから再インストールします。
Dell Diagnostics(診断)プログラム**を実行します** すべてのテストが正常に終了したら、不具合はソフトウェアの問題に関連しています。
デバイスドライバのコンフリクトを確認します • プログラムのデバイスドライバが、特定のプログラムとコンフリクトしていないか確認します。 • ソフトウェア製造元のテクニカルサポートへお問い合わせください。

その他の技術的な問題

デルサポートウェブサイトへアクセスします 一般的な使用方法、インストール、およびトラブルシューティングに関するご質問については、**support.dell.com** にアクセスします。
デルへ電話で問い合わせます — デルサポートウェブサイトまたは E メールサポートで問題が解決しない場合、デルにお問い合わせになり、テクニカルサポートを受けてください。デルから提供されたハードウェアおよびソフトウェアのサポートについては、「テクニカルサポートサービス」を参照してください。

一般的なハードウェアの問題

お使いのコンピュータに以下の症状が 1 つでも現れる場合、デバイスのコンフリクトが発生している可能性があります。

- 特に、特定のデバイスを使うと、コンピュータがロックアップする
- 最近増設したデバイスが動作しない
- パリティが有効なコンピュータでメモリパリティエラーが発生する
- サウンドカードがノイズを発したり、その他の問題を示している
- プリンタの印字が文字化けしている
- マウスポインタが動かない、または「小刻みに」動く
- コンピュータが最大の性能で動作していないことを示すメッセージが表示される
- 明確な理由がないのに、エラーが発生したり、プログラムが壊れる
- モニターに何も表示されない

最近増設したハードウェアを取り外してコンフリクトが解決するか確認します — ハードウェアを取り外すとコンフリクトが解決する場合、設定とトラブルシューティングの手順については、ハードウェアのマニュアルを参照してください。問題が解決しない場合、ハードウェアの製造元に問い合わせて、テクニカルサポートを受けてください。
追加のトラブルシューティングについては、オペレーティングシステムのマニュアルを参照してください
割り込み要求のコンフリクトがないか確認します — 「ソフトウェアおよびハードウェアの非互換性の解決」を参照してください。

キーボードの問題

以下をチェックし、Diagnostics(診断)チェックリストに必要事項を記入してください。

コンピュータを再起動します • マウスが機能している場合、**スタート** メニューからコンピュータをシャットダウンしますコンピュータがシャットダウンしたら、電源ボタンを押してコンピュータを再起動します。 • キーを押したり、マウスを動かしてもコンピュータが反応しない場合、コンピュータの電源が切れるまで、8 ～ 10 秒以上電源ボタンを押します。次に、電源ボタンを再度押して、コンピュータを再起動します。
キーボードケーブルを確認します • キーボードケーブルがコンピュータにしっかりと接続されているか確認します。 • ケーブルコネクタが曲がっていないか、ピンが壊れていないか、またはケーブルが損傷を受けていないか、擦り切れていないか確認します。曲がったピンをまっすぐにします。 • キーボード延長ケーブルを取り外し、キーボードを直接コンピュータに接続します。
キーボードを確認します — 正常に機能している別のキーボードをコンピュータに接続して、使用してみます。新しいキーボードが機能する場合、元のキーボードに問題があります。
キーボードのスイッチ設定を確認します — スイッチ設定は、通常キーボードの裏面にありますが、パネルの裏側にある場合もあります。スイッチが **PS / 2**、**Enhanced XT / AT**、または **PC / AT** に設定されているか確認します。推奨されている設定については、キーボードのマニュアルを参照してください。

Dell Diagnostics（診断）プログラム**を実行します —** いずれかのテストに失敗した場合、デルにお問い合わせください。
割り込み要求のコンフリクトがないか確認します —「ソフトウェアおよびハードウェアの非互換性の解決」を参照してください。

メモリの問題

警告：『製品情報ガイド』に記載されている「安全にお使いいただくために」の注意事項に従い、この項の作業を始めてください。

メモリ不足を示すメッセージが表示される場合

- 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、使用していない開いているプログラムをすべて終了して、問題が解決するか調べます。
- プログラムを実行するのに十分なメモリがコンピュータに搭載されているか確認します。メモリの最小要件については、ソフトウェアのマニュアルを参照してください。必要に応じて、増設メモリを取り付けます。
- メモリモジュールを装着しなおし、コンピュータがメモリと正常に通信しているか確認します。
- コンピュータを再起動します。
- Dell Diagnostics（診断）プログラムを実行します。いずれかの診断テストに失敗した場合、デルにお問い合わせください。

その他の問題が発生する場合

- メモリモジュールを装着しなおし、コンピュータがメモリと正常に通信しているか確認します。
- コンピュータを再起動します。
- Dell Diagnostics（診断）プログラムを実行します。いずれかの診断テストに失敗した場合、デルにお問い合わせください。

マウスの問題

以下をチェックし、Diagnostics（診断）チェックリストに必要事項を記入してください。

コンピュータを再起動します

1. <Ctrl> <Esc> を同時に押して、**スタート** メニューを表示します。
2. u と入力してからキーボードの矢印キーを押し、**シャットダウン** または **電源を切る** をハイライト表示して、<Enter> を押します。
3. コンピュータの電源が切れた後、電源ボタンを押してコンピュータを再起動します。

マウスケーブルを確認します

- ケーブルコネクタが曲がっていないか、ピンが壊れていないか、またはケーブルが損傷を受けていないか、擦り切れていないか確認します。曲がったピンをまっすぐにします。
- ケーブルがコンピュータにしっかりと接続されているか確認します。

マウスを確認します — 正常に機能している別のマウスをコンピュータに接続して、使用してみます。新しいマウスが機能する場合、最初に接続していたマウスに問題があります。

マウスの設定を確認します

Windows® XP

1. **スタート** ボタンをクリックし、**コントロール パネル** をクリックして、**プリンタとその他のハードウェア** をクリックします。
2. **マウス** をクリックします。
3. 設定を調整してみます。

Windows 2000

1. **スタート** ボタンをクリックし、**設定** をポイントして、**コントロール パネル** をクリックします。
2. **マウス** アイコンをダブルクリックします。
3. 設定を調整してみます。

PS/2 マウスを使用している場合

1. セットアップユーティリティを起動して、**Integrated Devices** オプションの **Mouse Port** が **On** に設定されているか確認します。
2. セットアップユーティリティを終了して、コンピュータを再起動します。

マウスドライバを再インストールします —「ドライバ」を参照してください。
Dell Diagnostics（診断）プログラム**を実行します —** いずれかのテストに失敗した場合、デルにお問い合わせください。
割り込み要求のコンフリクトがないか確認します —「ソフトウェアおよびハードウェアの非互換性の解決」を参照してください。

ネットワークの問題

ネットワークケーブルコネクタを確認します — ネットワークケーブルが、コンピュータ背面のネットワークコネクタと壁のネットワークジャックの両方にしっかりと挿入されているか確認します。
コンピュータ背面のネットワークインジケータを確認します — リンク保全ライトが緑色に点灯し、ネットワーク動作ライトが橙色に点滅している場合は 100 Mb 接続を示しています。リンク保全ライトが点灯せず、ネットワーク動作ライトが橙色に点滅している場合は 10 Mb 接続を示しています。両方のインジケータが点灯していない場合は、ネットワークと通信していないことを示しているため、ネットワークケーブルを交換する必要があります。
コンピュータを再起動して、ネットワークにログオンしなおしてみます
ネットワークの設定を確認します — ネットワーク管理者またはネットワーク構築者に連絡して、ネットワークの設定が正しいか、またはネットワークが正常に機能しているか確認します。
割り込み要求のコンフリクトがないか確認します — 「ソフトウェアおよびハードウェアの非互換性の解決」を参照してください。

電源の問題

警告：『製品情報ガイド』に記載されている「安全にお使いいただくために」の注意事項に従い、この項の作業を始めてください。

以下をチェックし、Diagnostics(診断)チェックリストに必要事項を記入してください。

電源のプロパティを調整します — コンピュータはスタンバイモードか休止状態モードに入っている可能性があります。省電力モードについては、オペレーティングシステムのマニュアルを参照してください。
電源ライトが緑色に点灯していて、コンピュータが応答しない場合 — 「システム基板の問題」を参照してください。
電源ライトが緑色に点滅している場合 — コンピュータはスタンバイモードに入っています。キーボードのキーを押すか、マウスを動かして通常の動作状態に戻します。
電源ライトが消灯している場合 — コンピュータの電源が切れているか、電力が供給されていません。 ・電源ケーブルをコンピュータ背面の電源コネクタとコンセントの両方にしっかりと装着しなおします。 ・コンピュータが電源タップに接続されている場合、電源タップがコンセントに接続され電源タップがオンになっていることを確認します。 ・電気スタンドなどの電化製品で試して、コンセントが機能しているか確認します。 ・電源保護装置、電源タップ、電源延長ケーブルなどをお使いの場合、それらを取り外してコンピュータに電源が入るか確認します。 ・主電源ケーブルがシステム基板にしっかりと接続されているか確認します。 ・正面パネルケーブルがシステム基板にしっかりと接続されているか確認します。 ・問題が解決しない場合、デルにお問い合わせください。
電気的な妨害を除去します — 同じ回路に接続されている、あるいはコンピュータの近くで動作している電化製品が干渉を起こすことがあります。干渉のその他の原因には、以下のものがあります ・電源延長ケーブル ・キーボードおよびマウス延長ケーブル ・電源タップにあまりに多くのデバイスが接続されている ・同じコンセントに複数の電源タップが接続されている

プリンタの問題

メモ： デルでは、プリンタの保証はおこなっておりません。プリンタのテクニカルサポートが必要な場合、プリンタの製造元にお問い合わせください。正しい電話番号については、プリンタのマニュアルを参照してください。

プリンタのマニュアルを確認します — セットアップおよびトラブルシューティングについては、プリンタのマニュアルを参照してください。
プリンタの電源が入っているか確認します — 電源ボタンについては、プリンタのマニュアルを参照してください。
プリンタケーブルの接続を確認します ・ケーブル接続については、プリンタのマニュアルを参照してください。 ・プリンタケーブルがプリンタとコンピュータにしっかりと接続されているか確認します。
コンセントを確認します — 電気スタンドなどの電化製品でコンセントに問題がないか確認します。
プリンタが Windows® によって認識されているか確認します Windows XP 1. **スタート** ボタンをクリックし、**コントロール パネル** をクリックして、**プリンタとその他のハードウェア** をクリックします。 2. **インストールされているプリンタまたは FAX プリンタを表示する** をクリックします。 プリンタが一覧に表示されている場合、プリンタアイコンを右クリックします。 3. **プロパティ** をクリックして、**ポート** タブを選びます。パラレルプリンタの場合、**印刷先のポート** が**LPT1(プリンタポート)** に、設定されているか確認します。USB プリンタの場合、**印刷先のポート** が**USB** に設定されているか確認します。 Windows 2000 1. **スタート** ボタンをクリックし、**設定** をポイントして、**プリンタ** をクリックします。

プリンタが一覧に表示されている場合、プリンタアイコンを右クリックします。

2. **プロパティ** をクリックして、**ポート** タブを選びます。パラレルプリンタの場合、**印刷先のポート** が**LPT1（プリンタポート）** に、設定されているか確認します。USB プリンタの場合、**印刷先のポート** が**USB** に設定されているか確認します。

プリンタドライバを再インストールします — 「ドライバおよびユーティリティの再インストール」を参照してください。

シリアルまたはパラレルデバイスの問題

以下をチェックし、Diagnostics（診断）チェックリストに必要事項を記入してください。

メモ：プリンタに問題がある場合、「プリンタの問題」を参照してください。

デバイスのマニュアルを確認します — トラブルシューティングの手順については、デバイスのマニュアルを参照してください。

デバイスの電源が入っているか確認します — デバイスの電源ボタンをしっかりと押します。

デバイスケーブルの接続を確認します — コネクタが曲がっていないか、ピンが壊れていないか確認します。（大半のデバイスケーブルコネクタは、通常いくつかのピンが欠けています。）デバイスケーブルがコンピュータにしっかりと接続されているか確認します。

デバイスケーブルを確認します — デバイスのケーブルを正常に機能しているケーブルと交換します。

コンセントを確認します — 電気スタンドなどの電化製品でコンセントに問題がないか確認します。

電気的妨害を除去します — 同じ回路に接続されている、あるいはコンピュータの近くで動作している電化製品が干渉を起こすことがありますので、再配置します。干渉のその他の原因には、以下のものがあります。

- 電源延長ケーブル
- キーボードおよびマウス延長ケーブル
- 電源タップにあまりに多くのデバイスが接続されている
- 同じコンセントに複数の電源タップが接続されている

オプション設定を確認します — 推奨される設定については、デバイスのマニュアルを参照してください。次に、セットアップユーテリティを起動して、**Integrated Devices** オプションの設定に進みます。**Serial Port** 設定（シリアルデバイスの場合）または **Parallel Port** 設定（パラレルデバイスの場合）が、推奨されている設定と一致しているか確認します。

ソフトウェアのマニュアルを確認します — 特定のソフトウェアで問題が発生する場合、推奨されるシリアルポートまたはパラレルポート設定については、ソフトウェアのマニュアルを参照してください。ポート設定が、推奨される設定と一致しているか確認します。

Dell Diagnostics（診断）プログラムを実行します — テストが完了しない場合、デルにお問い合わせください。

デバイスを確認します — デバイスを正常に機能している比較可能なデバイスと交換します。

サウンドとスピーカーの問題

以下をチェックし、Diagnostics（診断）チェックリストに必要事項を記入してください。

スピーカーから音がしない場合

メモ：MP3 プレーヤーの音量調節は、Windows® の音量調節より優先されることがあります。MP3 の音楽を聴いている場合、プレーヤーの音量が十分か確認してください。

スピーカーケーブルの接続を確認します — スピーカーに付属のセットアップ図に示されているように、スピーカーが接続されているか確認します。サウンドカードをご購入された場合、スピーカーがカードに接続されているか確認します。

サブウーハーおよびスピーカーの電源が入っているか確認します — スピーカーに付属のセットアップ図を参照してください。スピーカーにボリュームコントロールが付いている場合、音量、低音、または高音を調整して音のひずみを解消します。

Windows の音量を調整します — 画面の右下角のスピーカーアイコンをクリックまたはダブルクリックします。音量が上げてあり、サウンドがミュートに設定されていないか確認します。

ヘッドフォンをヘッドフォンコネクタから取り外します — ヘッドフォンがコンピュータの正面パネルのヘッドフォンコネクタに接続されている場合、スピーカーからの音声は自動的に無効になります。

コンセントを確認します — 電気スタンドなどの電化製品でコンセントに問題がないか確認します。

電気的な干渉を除去します — コンピュータの近くで使用している扇風機、蛍光灯、ハロゲンランプ、またはその他の機器の電源を切ってみます。

スピーカーの診断プログラムを実行します — スピーカーシステムの中には自己診断プログラムが用意されているものがあります。診断プログラムの手順については、スピーカーのマニュアルを参照してください。

オーディオ（サウンド）ドライバを再インストールします — 「ドライバおよびユーティリティの再インストール」を参照してください。

デバイスのオプション設定を確認します — セットアップユーティリティを起動して、**Integrated Devices** オプションの **Sound** が **On** に設定されているか確認します。セットアップユーティリティを終了して、コンピュータを再起動します。

Dell Diagnostics（診断）プログラム**を実行します —** - テストが正常に終了する場合、コントローラは正常に機能しています。 - 問題が解決しない場合、またはテストが正常に完了しない場合、デルにお問い合わせください。
割り込み要求のコンフリクトがないか確認します —「ソフトウェアおよびハードウェアの非互換性の解決」を参照してください。

ヘッドフォンから音がしない場合

ヘッドフォンケーブルの接続を確認します — ヘッドフォンケーブルがヘッドフォンコネクタにしっかりと接続されているか確認します。
Windows の音量を調整します — 画面の右下角のスピーカーアイコンをクリックまたはダブルクリックします。音量が上げてあり、サウンドがミュートに設定されていないか確認します。

システム基板の問題

以下をチェックし、Diagnostics（診断）チェックリストに必要事項を記入してください。

警告：『製品情報ガイド』に記載されている「安全にお使いいただくために」の注意事項に従い、この項の作業を始めてください。

電源装置ケーブルの接続を確認します 1. コンピュータとデバイスの電源を切り、コンセントから外します。10 ～ 20 秒待ってコンピュータカバーを取り外します。 2. 電源装置の電源ケーブルが、システム基板上のコネクタにしっかりと接続されているか確認します。 3. コンピュータカバーを交換し、コンピュータとデバイスをコンセントに接続して、電源を入れます。
「カードの問題」のすべてのチェック事項を実行します
「キーボードの問題」のすべてのチェック事項を実行します

警告：『製品情報ガイド』に記載されている「安全にお使いいただくために」の注意事項に従い、この項の作業を始めてください。

バッテリーを再度取り付けます 1. コンピュータとデバイスの電源を切り、コンセントから外します。10 ～ 20 秒待ってコンピュータカバーを取り外します。 2. バッテリーを取り外し、5 分待ってからバッテリーを取り付けなおします。 3. コンピュータカバーを交換し、コンピュータとデバイスをコンセントに接続して、電源を入れます。 それでも問題が解決しない場合、デルにお問い合わせください。

警告：『製品情報ガイド』に記載されている「安全にお使いいただくために」の注意事項に従い、この項の作業を始めてください。

メモリモジュールを取り付けなおします 1. コンピュータとデバイスの電源を切り、コンセントから外します。10 ～ 20 秒待ってコンピュータカバーを取り外します。 2. メモリモジュールを取り付けます。 3. コンピュータカバーを交換し、コンピュータとデバイスをコンセントに接続して、電源を入れます。 4. 表示された RAM の数値がコンピュータに実際に取り付けられたメモリ容量と一致していない場合、デルにお問い合わせください。

ビデオとモニターの問題

以下をチェックし、Diagnostics(診断)チェックリストに必要事項を記入してください。

画面に何も表示されない場合

 メモ:トラブルシューティングについては、モニターのマニュアルを参照してください。

モニターの電源ライトを確認します — 電源ライトが消灯している場合、ボタンをしっかり押して、モニターに電源が入っているか確認します。電源ライトが点灯または点滅している場合、モニターに電力が供給されています。電源ライトが点滅する場合、キーボードのキーを押すかマウスを動かします。
モニターケーブルの接続を確認します — コネクタが曲がっていないか、ピンが壊れていないか確認します。（通常、モニターケーブルコネクタには欠けているピンがあります。）
コンセントを確認します — 電気スタンドなどの電化製品でコンセントに問題がないか確認します。
電源ケーブルを交換します — コンピュータおよびモニターの電源ケーブルを交換して、電源ケーブルに問題がないか確認します。
ビデオ延長ケーブルを確認します（使用している場合） — 使用しているビデオ延長ケーブルを取り外すことによって問題が解決する場合、ケーブルの不良です。
別のモニターを確認します — 別のモニターが利用できる場合、それをコンピュータに接続します。
診断ライトを確認します — 「診断ライト」を参照してください。

画面が見づらい場合

モニターの設定を確認します — コントラストや輝度を調整したり、モニターから磁気を除いたり、モニターの自己テストを実行する手順については、モニターのマニュアルを参照してください。
モニターからサブウーハーを遠ざけます — スピーカーシステムにサブウーハーが含まれている場合、サブウーハーがモニターから 60 cm 以上離れているか確認します。
モニターを外部電源から遠ざけます — ファン、蛍光灯、ハロゲンライト、およびその他の電化製品によって画面が「ぶれる」ことがあります。近くのデバイスの電源を切って干渉を調べます。
Windows® の画面設定を調整します Windows XP 1. **スタート** ボタンをクリックし、**コントロール パネル** をクリックして、**デスクトップの表示とテーマ** をクリックします。 2. **画面** をクリックして、**設定** タブをクリックします。 3. **画面の解像度** および **画面の色** で別の設定にしてみます。 Windows 2000 1. **スタート** ボタンをクリックし、**設定** をポイントして、**コントロール パネル** をクリックします。 2. **画面** アイコンをダブルクリックして、**設定** タブをクリックします。 3. **画面の領域** または **デスクトップ領域** で別の設定にしてみます。
Dell Diagnostics（診断）プログラム**を実行します —** いずれかのテストに失敗した場合、デルにお問い合わせください。

目次ページに戻る

目次ページに戻る

仕様

Dell™ OptiPlex™ 170L ユーザーズガイド

プロセッサ	
プロセッサタイプ	Intel® Pentium® 4 および Intel Celeron® 将来のデルサポートアップグレードに対応した設計。
L1(レベル 1)キャッシュ	8 KB または 16 KB(コンピュータの構成による)
L2(レベル 2)キャッシュ	128 KB、256 KB、512 KB、または 1 MB(コンピュータの構成に応じて)パイプラインバースト、8 ウェイセットアソシエィティブ、ライトバック SRAM

メモリ	
タイプ	333 MHz または 400 MHz の DDR SDRAM **メモ:**533 MHz FSB プロセッサで構成されている場合、DDR400 メモリは、333 MHz で動作します。 **メモ:**Pentium 4 800 MHz FSB プロセッサで構成されている場合、DDR333 メモリは、320 MHz で動作します。
メモリアーキテクチャ	デュアルチャネル DDR SDRAM
メモリコネクタ	2
メモリ容量	128 MB、256 MB、512 MB、または 1 GB 非 ECC
最小メモリ	シングルチャネルモードの場合 128 MB、デュアルチャネルモードの場合 256 MB **メモ:**サポートグラフィックに割り当てられるシステムメモリは、システムメモリのサイズやその他の要因によって 1 ～ 64 MB になります。
最大搭載メモリ	2 GB
BIOS アドレス	F0000h

コンピュータ情報	
チップセット	Intel 865-GV
データバス幅	64 ビット
アドレスバス幅	32 ビット
DMA チャネル	7
割り込みレベル	24
BIOS チップ	4 MB
システムクロック	800 MHz、533 MHz、または 400 MHz の 4 倍データ転送速度。200 MHz、133 MHz、または 100 MHz

ネットワーク	
ネットワークコントローラ	内蔵 10/100 Ethernet

ビデオ	
タイプ	内蔵 Intel Extreme2 Graphics

オーディオ	
タイプ	内蔵 AC97
ステレオ変換	16 ビット AD 変換、20 ビット DA 変換

拡張バス	
バスのタイプ	PCI

バス処理速度	33 MHz
スモールデスクトップコンピュータ	システム基板上のロープロファイルカード（カードサイズ ＝ 高さ 6.35 cm × 長さ 16.76 cm）コネクタ × 1 オプション：ライザーカード上のフルハイト PCI カード（カードサイズ ＝ 高さ 10.67 cm × 長さ 17.65 cm）コネクタ × 2
PCI コネクタ	最大 3、コンピュータの構成による（1 ー システム基板上に 1 つ、オプションのカードケージ上に 2 つ）
コネクタサイズ	120 ピン
コネクタデータ幅（最大）	32 ビット
ミニタワーコンピュータ	
PCI コネクタ	3
コネクタサイズ	120 ピン
コネクタデータ幅（最大）	32 ビット

ドライブ	
内蔵ドライブベイ	
スモールデスクトップコンピュータ	1 インチ高ハードドライブ用ベイ × 1（IDE または SATA）
ミニタワーコンピュータ	1 インチ高 IDE ハードドライブ用ベイ × 2、または IDE ハードドライブ用ベイ × 1 および SATA ハードドライブ用ベイ × 1
フロントドライブベイ	
スモールデスクトップコンピュータ	3.5 インチベイ × 1 5.25 インチベイ × 1
ミニタワーコンピュータ	3.5 インチベイ × 1 5.25 インチベイ × 2

コネクタ	
外付けコネクタ：	
シリアル	9 ピンコネクタ、16550C 互換
パラレル	双方向 25 ピンコネクタ（メス）
ビデオ	15 ピンコネクタ（メス）
ネットワークアダプタ	RJ 45 コネクタ
PS/2（キーボード / マウス）	6 ピンミニ DIN
USB	USB 2.0 準拠コネクタ × 6（正面パネルに 2 つと背面パネルに 4 つ）
オーディオ	ライン入力、ライン出力、マイク用の背面パネルコネクタ × 3、ヘッドフォン用の正面パネルコネクタ × 1
システム基板コネクタ：	
プライマリ IDE ドライブ	PCI ローカルバス上の 40 ピンコネクタ
セカンド IDE ドライブ（ミニタワーコンピュータのみ）	PCI ローカルバス上の 40 ピンコネクタ
シリアル ATA	7 ピンシリアル ATA コネクタ × 1
フロッピードライブ	34 ピンコネクタ
ファン	3 ピンコネクタ

キーの組み合わせ	
<F2> または <Ctrl><Alt><Enter>	内蔵のセットアップユーティリティを起動（起動時のみ）
<F3>	セットアップユーティリティの Boot Sequence オプションのデバイスの 1 つからではなく、PXE（リモート起動環境）によって特定されたネットワーク環境からコンピュータを自動的に起動（起動時のみ）
<F12> または <Ctrl><Alt><F8>	ユーザーが単一起動用のデバイスを入力できる 1 回きりの起動メニューを表示（起動時のみ）
<Ctrl><Alt><F10>	コンピュータ起動時に、ユーティリティパーティションを起動（インストールされている場合）
<Ctrl><Alt><D>	コンピュータ起動時に、ハードドライブ診断ユーティリティを起動
<Ctrl><Enter>	起動時にコンピュータパスワードを無効化（正しいパスワードが入力された後）

ボタンとライト	
電源ボタン	押しボタン
ハードドライブライト	緑色のライト
リンク保全ライト(内蔵ネットワークアダプタ上)	10 Mb 伝送時はライトの点灯なし、100 Mb 伝送時は緑色のライト
動作ライト(内蔵ネットワークアダプタ上)	黄色の点滅ライト
診断ライト	背面パネルにライトが 4 つ

電 源	
DC 電源装置:	
ワット数	スモールデスクトップコンピュータ:210 W ミニタワーコンピュータ:250 W
熱散逸	スモールデスクトップコンピュータ:717 BTU / 時(486 kJ / 時) ミニタワーコンピュータ:853 BTU / 時(486 kJ / 時)
電圧	スモールデスクトップコンピュータ: 固定電圧電源 — 110 V、50 / 60 Hz 手動選択および自動検出電源 — 50 / 60 Hz で 90 ～ 135 V、50 / 60 Hz で 180 ～ 265 V、50 / 60 Hz で 100 V(日本国内向けコンピュータの場合) ミニタワーコンピュータ: 定圧電源装置 — 60 Hz で 100 ～ 120 V、50 Hz で 200 ～ 240 V
バックアップバッテリー	3 V CR2032 コイン型リチウム電池

サイズと重量	
高さ × 幅 × 奥行	スモールデスクトップコンピュータ: 0.6 cm × 38.9 cm × 43.2 cm ミニタワーコンピュータ: 36.8 cm × 18.4 cm × 42.6 cm
重量	スモールデスクトップコンピュータ:9.9 kg ミニタワーコンピュータ:10.4 kg

環 境	
温度:	
動作時	10° ～ 30°C(50° ～ 86°F) **メモ:**30 °C(86°F) で、最大動作高度は 914 m です。
保管時	–40° ～ 65°C
相対湿度	20 ～ 80 %(結露しないこと)
最大震動:	
動作時	0.25 G(3 ～ 200 Hz)
保管時	2.20 Grms(10 ～ 500 Hz)
最大耐久衝撃:	
非動作時(ハーフサインパルス)	105 G、2 ミリ秒
非動作時(フェアードスクエアウェーブ)	596.9 cm / 秒の速度変化で 32 G
高度:	
動作時	–15.2 ～ 3048 m **メモ:**35 °C で、最大動作高度は 914 m です。
保管時	–15.2 ～ 10,668 m

目次ページに戻る

目次ページに戻る

品質の保証について

Dell™ OptiPlex™ 170L ユーザーズガイド

Dell Inc.(「Dell」)は、ハードウェア製品を業界標準慣習に従い、新品、またはそれと同等の部品からコンピュータを製造しています。コンピュータに関するデルの保証情報については、『製品情報ガイド』またはお使いのコンピュータに添付された個別の保証書を参照してください。

目次ページに戻る

目次ページに戻る

Microsoft® Windows® XP の特徴

Dell™ OptiPlex™ 170L ユーザーズガイド

新しいコンピュータへの情報の転送

Microsoft® Windows® XP オペレーティングシステムには、データを元の（古い）コンピュータから新しいコンピュータに転送するファイルと設定の転送ウィザードがあります。以下のデータが転送できます。

- E メール
- ツールバーの設定
- ウィンドウのサイズ
- インターネットのブックマーク

新しいコンピュータにネットワークまたはシリアル接続を介してデータを移行するか、書き込み可能 CD またはフロッピーディスクなどのリムーバブルメディアに保存します。

新しいコンピュータでファイルの転送の準備をするには、次の手順を実行します。

1. **スタート** ボタンをクリックし、**すべてのプログラム** → **アクセサリ** → **システムツール** とポイントしてから、**ファイルと設定の転送ウィザード** をクリックします。
2. **ファイルと設定の転送ウィザードの開始** 画面が表示されたら、**次へ** をクリックします。
3. **これはどちらのコンピュータですか ?** 画面で、**転送先の新しいコンピュータ** をクリックして、**次へ** をクリックします。
4. **Windows XP CD がありますか？**画面で、**Windows XP CD からウィザードを使います** をクリックして、**次へ** をクリックします。
5. **今、古いコンピュータに行ってください。** 画面が表示されたら、古いコンピュータまたはソースコンピュータに行きます。このときに、**次へ** をクリックしないでください。

古いコンピュータからデータをコピーするには、次の手順を実行します。

1. 古いコンピュータで、Windows XP の『オペレーティングシステム CD』を挿入します。
2. **Microsoft Windows XP** 画面で、**追加のタスクを実行する** をクリックします。
3. **実行する操作の選択** 画面で、**ファイルと設定を転送する** をクリックします。
4. **ファイルと設定の転送ウィザードの開始** 画面で、**次へ** をクリックします。
5. **これはどちらのコンピュータですか?** 画面で、**転送元の古いコンピュータ** を選んでから、**次へ** をクリックします。
6. **転送方法を選択してください。** 画面で、希望の転送方法をクリックします。
7. **何を転送しますか?** 画面で、転送するアイテムをクリックして、**次へ** をクリックします。

   情報がコピーされた後、**ファイルと設定の収集フェーズを処理しています...** 画面が表示されます。

8. **完了** をクリックします。

新しいコンピュータにデータを転送するには、次の手順を実行します。

1. 新しいコンピュータの **今、古いコンピュータに行ってください。** 画面で、**次へ** をクリックします。
2. **ファイルと設定はどこにありますか ?** 画面で、設定とファイルを転送する方法を選んで、**次へ** をクリックします。

   ウィザードは収集されたファイルと設定を読み取り、それらを新しいコンピュータに適用します。

設定とファイルがすべて適用されると、**ファイルと設定の転送ウィザードの完了** 画面が表示されます。

3. **完了** をクリックして、コンピュータを再起動します。

ユーザーアカウントおよびユーザーの簡易切り替え

ユーザーアカウントの追加

Microsoft Windows XP オペレーティングシステムがインストールされると、コンピュータ管理者または管理者権限のあるユーザーは、追加のユーザーアカウントを作成することができます。

1. **スタート** ボタンをクリックして、**コントロール パネル** をクリックします。
2. **コントロール パネル** ウィンドウで、**ユーザー アカウント** をクリックします。
3. **作業を選びます** で、**新しいアカウントを作成する** をクリックします。
4. **新しいアカウントに名前を付けます** で、新しいユーザーの名前を入力して、**次へ** をクリックします。
5. **アカウントの種類を選びます** で、以下のオプションのうち 1 つをクリックします。
   - **コンピュータ管理者** — すべてのコンピュータ設定を変更することができます。
   - **制限** — ご自分のパスワードなど、個人的な設定のみを変更することができます。プログラムをインストールしたりインターネットを使用することはできません。

メモ: Windows XP Home Edition と Windows XP Professional とでは、利用できる追加のオプションが異なります。また、Windows XP Professional で利用できるオプションは、コンピュータの接続先のドメインによって異なります。

6. **アカウントの作成** をクリックします。

ユーザーの簡易切り替え

メモ: ユーザーの簡易切り替えは、お使いのコンピュータで Windows XP Professional が動作していて、コンピュータがコンピュータドメインのメンバーである場合、またはお使いのコンピュータに搭載されているメモリが 128 MB 以下の場合は無効になります。

ユーザーの簡易切り替えを使うと、前のユーザーがログオフしなくても、複数のユーザーが 1 台のコンピュータにアクセスできます。

1. **スタート** ボタンをクリックして、**ログオフ** をクリックします。
2. **Windows ログオフ** 画面で、**ユーザーの切り替え** をクリックします。

ユーザーの簡易切り替えを使用する場合、前のユーザーが実行していたプログラムはバックグラウンドで使用され続けるため、コンピュータの動作が遅く感じられることがあります。また、ゲームや DVD ソフトウェアなどのマルチメディアプログラムは、ユーザーの簡易切り替えで動作しないことがあります。詳細については。Windows ヘルプとサポートセンターを参照してください。

家庭用および企業用

ネットワークアダプタへの接続

コンピュータをネットワークに接続する前に、お使いのコンピュータにネットワークアダプタが取り付けられていて、ネットワークケーブルが接続されている必要があります。

ネットワークケーブルを接続するには、次の手順を実行します。

メモ: ケーブルをカチッと所定の位置に収まるまで差し込みます。次に、ケーブルを軽く引っ張り、ケーブルの接続を確認します。

1. ネットワークケーブルをコンピュータ背面にあるネットワークアダプタコネクタに接続します。

メモ: 電話ジャックにネットワークケーブルを接続しないでください。

2. ネットワークケーブルのもう一方の端を壁のネットワークジャックなどのネットワーク接続デバイスに接続します。

ネットワークセットアップウィザード

Microsoft Windows XP オペレーティングシステムには、家庭または小企業のコンピュータ間で、ファイル、プリンタ、またはインターネット接続を共有するための手順を案内するネットワークセットアップウィザードがあります。

1. **スタート** ボタンをクリックし、**すべてのプログラム** → **アクセサリ** → **通信** とポイントしてから、**ネットワークセットアップウィザード** をクリックします。
2. **ネットワークセットアップウィザードの開始** 画面で、**次へ** をクリックします。
3. **ネットワーク作成のチェックリスト** をクリックします。

メモ: インターネットに直接接続している という接続方法を選択すると、Windows XP に設置されている内蔵ファイアウォールを使用することができます。

4. チェックリストのすべての項目に入力し、必要な準備を完了します。
5. ネットワークセットアップウィザードに戻り、画面の指示に従います。

目次ページに戻る